

全国おいしい食べきり運動
ネットワーク協議会

**食品ロス削減のための
施策バンク**

平成 29 年 12 月

食品ロス削減のための施策バンク(平成29年度版) 目次

施策番号	都道府県名	市区町村名	施策・事業名称	ページ	家庭	外食・宴会	住民啓発	トキャンペーン・イベント	食品ロス実態調査	子供への啓発・教育	協力店舗等の登録	事業者への働きかけ	消費者、住民団体との連携	食料・調理・食材使い切り・リメイク	その他
1	北海道	札幌市	2510（ニコッと）スマイル宴	1		○	○					○			
2		函館市	残さず食べよう！30・10運動	3		○	○					○			
3			食材使い切り料理教室	4	○								○		
4		江別市	えべつ15秒CM「ゴミザムライ編」	5	○	○	○								
5	青森県	八戸市	3010運動	7		○					○	○			
6	岩手県		岩手県3R推進キャラクター「エコロル」の保育園訪問事業	9	○					○					
7		一関市	残さず食べよう！30・10運動	12				○			○		○		
8	秋田県	秋田市	「もったいないアクション」の推進および「もったいないアクション協力店」のご案内	13	○	○	○				○	○			
9			「食べきりアイデアレシピ集」の作成および「食べきりアイデアカフェ」の開催	16	○		○	○						○	
10		由利本荘市	広報誌・市HPでのPR	18			○	○							
11	山形県		環境にやさしい料理レシピコンテスト	19	○		○	○						○	
12			「もったいない山形協力店」登録事業	21			○	○				○	○		
13	福島県		食品ロス削減推進事業	23	○	○	○	○		○		○	○		
14	栃木県		とちぎ食べきり15（いちご）運動	25		○		○					○		
15		栃木市	食品ロスにおける取組（市内）	27			○		○			○			
16	群馬県		ぐんまちゃんの食べきり協力店 ぐんまちゃんの3きり運動 ぐんまちゃんの30・10運動	28	○	○	○				○			○	
17	埼玉県		食品ロス削減推進事業	30	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
18		所沢市	食品ロスゼロのまち促進事業	32	○	○	○	○		○	○			○	
19		上尾市	上尾市役所発！”フードドライブ・キャンペーン”～たくさんの「もったいない」で「やさしさ」の輪に～	33	○				○						
20			上尾市職員福利厚生委員会レクリエーション部会 職員親睦事業 Let's・サルベージ・パーティー～おいしく楽しく食品ロスを減らそう～	35	○			○						○	○

施策番号	都道府県名	市区町村名	施策・事業名称	ページ	家庭	外食・宴会	住民啓発	トキャンペーン・イベント	食品ロス実態調査	子供への啓発・教育	協力店舗等の登録	事業者への働きかけ	消費者、住民団体との連携	食料使い切り・リメイ	その他
21	埼玉県	越谷市	食品ロス削減における取組	37	○		○								
22			食品ロス削減における取組（庁内）	39				○							
23			エコ・クッキング教室	40	○									○	
24		富士見市	食品ロス削減	41	○	○	○					○		○	
25	千葉県	木更津市	ちば食べきりエコスタイル	42			○				○				
26			残さず食べよう！30・10運動	44			○				○				
27		佐倉市	食べ物を大切に！30・10運動	45			○					○			
28		白井市	ごみ減量講座	46	○		○								
29	東京都	世田谷区	フードドライブ、エコなお買い物体験、30・10運動	47	○	○	○			○					
30		荒川区	荒川もつたいたい大作戦（大人向けmission）	49	○	○	○	○		○				○	
31			荒川もつたいたい大作戦（子ども向けmission）	54	○		○	○		○					
32			荒川もつたいたい大作戦（事業者向けmission）	57			○				○	○			
33	江戸川区	足立区	食品ロス削減啓発	60	○			○					○	○	
34			フードドライブ	61	○		○	○							
35			食べきりレシピトークショー	63	○		○	○						○	
36			食べきり推進店	64	○	○	○				○	○			
37	八王子市		30・10運動	66	○	○	○					○		○	
38			食品ロス啓発	68	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
39		昭島市	3010運動	70			○	○							
40			食品回収	71			○	○							
41		町田市	もつたいたいことしませんりゅう（川柳）	72	○		○						○		
42			今が食べごろ「つれてって」キャンペーン	74	○		○	○							
43		小平市	フードドライブ～食品ロスの削減～	76	○	○	○					○	○		
44		日野市	フードドライブの実施	78											○
45	神奈川県	横浜市	「3010運動」の庁内向け周知	80		○									○
46			まるごと旬野菜～使い切りレシピ～	81	○		○						○	○	
47			「食べきり協力店」の登録	83		○					○	○			

施策番号	都道府県名	市区町村名	施策・事業名称	ページ	家庭	外食・宴会	住民啓発	トキャンペーン・イベント	食品ロス実態調査	子供への啓発・教育	協力店舗等の登録	事業者への働きかけ	消費者、住民団体との連携	食料使い切り・リメイ	その他
48	神奈川県	横浜市	冷蔵庫10・30（イーオ・ミーオ）運動	85	○		○								
49		川崎市	食べきり協力店	87		○	○	○			○	○			
50			3きり運動	89	○		○	○							
51		相模原市	地域にうれしい「エコ・クッキング」	90	○		○	○						○	
52			「家DE（で）出さない！フードロス！」リーフレット発行	91			○							○	
53			食品衛生責任講習会での食品廃棄物の減量化・資源化の周知・啓発	93								○			
54			相模原市立小学校給食残さ飼料化事業	95											○
55			夏休み子ども社会見学「食べ残しの行方を追え！」	96			○			○					
56			食品ロス削減普及啓発三角柱ポップの市役所職員食堂への設置	98			○								
57		鎌倉市	食品ロスの削減	100	○	○	○	○	○			○			
58		小田原市	生ごみ堆肥化推進事業（生（いき）ごみ小田原プロジェクト）	101	○					○			○		○
59		厚木市	もったいない運動	103	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
60	新潟県	新潟市	野菜まるごとクッキング講座	105	○									○	
61		小千谷市	「小千谷のごっつお」食べきり運動	106	○	○	○	○				○			
62		妙高市	もったいない！食べ残しゼロ運動	107	○	○	○				○	○			
63		上越市	食の宝庫 上越 おいしく残さず食べきろう！20・10運動	109	○	○	○								
64		南魚沼市	南魚沼市・魚沼市・湯沢町「おいしい食べきり運動」	111			○			○	○	○			
65			食品ロスの削減	116	○	○	○								
66			おいしいふくい食べきり運動 啓発ちらし、グッズ、ホームページの作成	117	○	○	○	○		○					
67	福井県		おいしいふくい食べきり運動 「食べきり運動協力店」「食べきり家庭応援店」の登録	119	○	○					○	○			
68			おいしいふくい食べきり運動 ステッカーデザインおよびキャラクターの愛称の公募	122	○	○	○	○							
69			おいしいふくい食べきり運動 食材使い切り、アレンジ料理レシぴ募集、料理講習会	124	○									○	
70			おいしいふくい食べきり運動 福井県連合婦人会との連携	126	○	○	○		○	○			○		

施策番号	都道府県名	市区町村名	施策・事業名称	ページ	家庭	外食・宴会	住民啓発	トキャンペーン・イベント	食品ロス実態調査	子供への啓発・教育	協力店舗等の登録	事業者への働きかけ	消費者、住民団体との連携	食料使い切り・リメイ	その他
71	福井県		おいしいふくい食べきり運動 ホテルでの食べ残し実態調査とメニュー開発	128		○			○			○			
72			おいしいふくい食べきり運動 地域展開モデル事業	130	○	○	○					○	○		
73		小浜市	食品ロス削減事業	132			○								
74		大野市	忘新年会でのおいしい食べきり運動	133		○	○					○			
75		勝山市	おいしいふくい食べきり運動	134		○	○					○			
76			子どもへの消費者教育推進事業	135	○					○			○		
77		美浜町	エコクッキング講習会	136	○		○	○						○	
78	山梨県	富士川町	おいしく食べきろう！30・10運動	137		○		○							
79		富士河口湖町	第2次富士河口湖町食育推進計画	138			○			○					
80	長野県		「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」 残さず食べよう！30・10運動	139		○	○	○				○			
81			「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」 協力店の登録	141	○	○					○	○			
82			「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」 環境教育教材の制作	143	○					○					
83		長野市	フードドライブ（主催・共催分）	145	○		○	○				○			○
84			30・10運動	147	○	○	○	○				○			○
85			食品ロス削減講演会	149	○		○	○							
86			出前講座（地域等）	151			○								
87			環境学習講座（小学校、保育園）	153						○					
88		松本市	残さず食べよう！30・10運動 園児（小学生）を対象とした参加型環境教育 「残さず食べよう！」推進店・事業所認定制度 食品ロス調査 等	155	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
89	長野県	上田市	残さず食べよう！30・10運動	159		○	○								
90		軽井沢町	広報紙へ啓発記事の掲載	160			○							○	
91			飲食店への食品ロス啓発活動	161		○					○	○		○	

施策番号	都道府県名	市区町村名	施策・事業名称	ページ	家庭	外食・宴会	住民啓発	トキャンペーン・イベント	食品ロス実態調査	子供への啓発・教育	協力店舗等の登録	事業者への働きかけ	消費者、住民団体との連携	食料使い切り・リメイ	その他
92	岐阜県	岐阜市	3・3プロジェクト 3キリと3Rクッキングで生ごみを減らそう	162	○	○	○							○	
93			3・3プロジェクト 岐阜市食べキリ協力店	164		○	○				○	○			
94	静岡県		ふじのくに食べきりプロジェクト	166			○	○		○	○	○			
95			食品ロス啓発事業	169			○					○			
96		掛川市	かけがわ食べきり運動 「我が社の健康・食べきり宣言in掛川」 「我が家の健康・食べきり宣言in掛川」	170	○	○	○			○	○	○			
97		藤枝市	「減らそう！食品ロス」啓発	172			○	○		○				○	
98	愛知県	名古屋市	フードドライブ及び啓発活動	174	○			○							
99			食品ロス削減ソング「食品ロスない NAI NAI NAI」及びダンス	175	○	○	○	○		○					
100			食品ロス削減啓発ポスター	176	○	○	○	○		○		○			
101		一宮市	親子でエコ・クッキング	178	○					○				○	
102			環境かわら版への記事掲載	179	○		○							○	
103	三重県		環境フェア等イベントにおける「もったいない市」の開催	180	○		○	○				○			
104	滋賀県		食品ロス削減レシピ	182	○					○				○	
105			「三方よしフードエコ推奨店」制度	184	○	○	○				○	○			
106		近江八幡市	料理との一期一会（15・18）運動	186	○	○	○					○	○	○	
107	京都府	草津市	3010運動+（プラス）の取り組み	188	○	○	○					○	○	○	
108			京都府食品ロス削減府民会議	189											○
109			京都府「食べ残しゼロ推進店舗」	191		○					○	○			
110			実践型食育講演会「もったいない！みんなで減らそう食品ロス」	193	○		○	○						○	
111	大阪府	豊中市	食育エコクッキング事業	195	○		○			○				○	
112			豊中エコレシピコンテスト	196	○		○							○	
113			フードドライブ	197	○		○	○		○		○			
114			とよなか食品ロス・ゼロハンドブックvol.2の発行	199	○		○								
115		摂津市	絵本「きょうのきゆうしよくな～にかな」の発行	201	○		○			○					
116			「30・10（さんまるいちまる）運動」「食べきり運動」で食品ロスの削減を！！	202			○	○				○			
117			市内の多量排出事業者に食品ロスについてのアンケートを実施	203					○						
118	兵庫県	神戸市	食品ロス削減調査・事業化計画検討業務	204	○		○	○	○			○	○		○

施策番号	都道府県名	市区町村名	施策・事業名称	ページ	家庭	外食・宴会	住民啓発	トギャンペーン・イベント	食品ロス実態調査	子供への啓発・教育	協力店舗等の登録	事業者への働きかけ	消費者、住民団体との連携	食料使い切り・リメイ	その他
119	兵庫県	加古川市	加古川市おいしい食べきり運動（家庭向け啓発）	209			○								
120			加古川市おいしい食べきり運動（協力店募集）	211			○				○	○			
121	鳥取県		ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	213	○	○	○	○	○	○	○	○			
122	岡山県		おかやま30・10運動 食品ロス削減キャンペーン事業 食品ロス削減・家庭ゴミ削減促進事業	216	○	○	○	○							
123		笠岡市	食品ロス啓発 残さず食べよう3010運動 ごみ減量講座	218	○	○	○	○				○			
124	広島県	広島市	食べ残しゼロ推進協力店	219		○					○	○			
125			食品ロス削減協力店	221	○						○	○			
126			啓発チラシ「週に一度は冷蔵庫の整理・整頓」の各戸配布	223	○		○								
127			フードドライブの実施	225			○	○							
128			ごみ減らそうデーの実施	226	○		○	○	○						
129			エコッキング教室の実施	227	○		○							○	
130			生ごみリサイクル講習会	228	○		○								
131			食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま！」の実施	229				○							
132	山口県		やまぐち食べきり運動「やまぐち食べきり協力店」の登録	231							○	○			
133			J2レノファ山口の選手や地元アイドルからの食品ロス削減啓発 メッセージの放送	233	○	○	○			○					
134	徳島県		サバイバルエコツアー	234						○					
135			作って、食べて、食品ロスについて考えよう！	235						○					
136			食品ロス削減に向けたパネルの貸出し・展示	237			○								
137	香川県		食品廃棄物削減推進事業	238			○	○		○		○	○	○	
138	愛媛県		おいしい食べきり運動推進事業 愛媛県食品ロス削減推進協議会	242											○
139			おいしい食べきり運動推進事業 おいしい食べきり運動推進店モデル事業	243		○	○	○			○	○			
140			おいしい食べきり運動推進事業 食品ロス削減アイデアの募集	245	○	○								○	○
141	福岡県		食品ロス削減推進事業（福岡県食品ロス削減県民運動）	247		○	○			○	○	○			○
142		福岡市	もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動 「福岡エコ運動協力店」の登録、食べ残しゼロの広報啓発 家庭からの食品ロス削減の広報啓発	250	○	○	○	○			○	○		○	
143		大野城市	食品ロス削減に向けた取り組み	252			○		○	○	○			○	

施策番号	都道府県名	市区町村名	施策・事業名称	ページ	家庭	外食・宴会	住民啓発	ト キャンペーン・イ ベ ン	食 品 ロ ス 実 態 調 査	子 供 へ の 啓 発 ・ 教 育	協 力 店 舗 等 の 登 録	事 業 者 へ の 働 き か け	消 費 者 、 住 民 団 体 と の 連 携	食 材 使 い 切 り ・ リ メ イ ク 料 理	そ の 他
144	佐賀県		「エコクッキング教室」開催事業	253	○		○							○	
145			九州食べきり協力店事業（九州統一事業）	255		○					○	○			
146		小城市	小城市食べきり運動	257	○	○	○	○			○	○			
147	長崎県		九州食べきり協力店事業（九州統一事業）	259							○	○			
148			エコ&ヘルシーながさき推進事業	261							○	○			○
149	熊本県		くまもと食べ残しゼロキャンペーン	263				○			○				
150	大分県		E級（ECO）グルメコンテストの実施	269										○	
151		大分市	宴会食べきり！おおいた30・10運動	271		○	○					○			
152	宮崎県		みやざき食べきり宣言プロジェクト	273	○	○	○	○			○	○	○		
153		都城市	3010運動	275			○					○			
154		日向市	30・10運動	277		○	○					○			
155			燃やせるごみ・燃やせないごみ組成調査	278	○		○		○						
156	鹿児島県		食品ロス削減に向けた啓発HPの開設 「九州食べきり協力店」の登録	279	○	○	○				○	○			

食品ロス削減のための「施策バンク」 1

施策・事業名称	2510（ニコッと）スマイル宴			
自治体名	北海道 札幌市			
本件問合せ先	担当課	環境局 環境事業部 事業廃棄物課		
	電 話	011-211-2927	メー ル	jigyohaiki@city.sapporo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 27 年 12 月～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員による率先活動として、宴会時における食品ロス（食べ残し）削減の取組として開始 ・市職員を含む飲食店を利用する市民の目線から、食品ロス（食べ残し）削減を目指す。
内容	<p>『2510（ニコッと）スマイル宴』を推奨することにより、飲食店における食品ロス削減を目指す。</p> <p>推奨する取組メニューは以下の通り。</p> <p>○メニュー其の一 宴会開始後 25 分間と終了前 10 分間は、自席でニコッと（2510）、食事を楽しみましょう。</p> <p>○メニュー其の二 参加者の性別や年齢、好みなどをお店に伝え、適量を注文しましょう。</p> <p>○メニュー其の三 終了前 10 分前に、料理がたくさん残っているテーブルから、少ないテーブルへ料理を分けましょう。</p> <p>○メニュー其の四 宴会中、司会（幹事さん）が、「食べ残しのないように！」と声をかけましょう。</p> <p>○メニュー其の五（番外編） 目指すは完食ですが、食べ過ぎに注意し、ごみと身体のダイエットを心がけましょう。</p>

	<p>また、今までの活動は以下の通り。</p> <p>平成 27 年 12 月より、環境局内において先行実施</p> <p>平成 28 年 4 月より、市役所全庁で実施</p> <p>平成 28 年 7 月より、主に家庭での食品ロス削減を目的にしたパンフレット「日曜日は冷蔵庫をお片づけ。」において、市民向けの広報開始</p> <p>平成 28 年 8 月、広報ラジオ番組において市民向けに広報</p>
成果指標や目標とその確認方法	環境局内において先行実施した際には、アンケートにより成果等を確認しています。
施策のポイント	既に施策として完成している「3010 運動」を参考にさせて頂いておりますが、自席での食事時間を若干短くしています。
効果や成果	環境局内において先行実施した際のアンケートにおいては、完食率は大幅アップ、食べ残しは減少しました。
関連ホームページ	平成 28 年 12 月上旬までにホームページ公開予定

食品ロス削減のための「施策バンク」 2

施策・事業名称	残さず食べよう！30・10運動		
自治体名	北海道 函館市		
本件問合せ先	担当課	環境部 環境推進課	
	電 話	0138-56-6694	メール kankyoh-suishin@city.hakodate.hokkaido.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	<div> <div>1 住民啓発</div> <div>3 食品ロスの実態調査</div> <div>5 協力店舗等の登録</div> <div>7 消費者団体または住民団体との連携</div> <div>9 その他</div> </div>		<div> <div>2 キャンペーン・イベント</div> <div>4 子供への啓発・教育</div> <div>6 事業者への働きかけ</div> <div>8 食材使いきり、リメイク料理</div> </div>
事業実施期間	平成29年度～		

立案の背景 (ねらい)	第3次函館市一般廃棄物処理基本計画に基づく事業系一般廃棄物の減量化を促進するほか、食べ残しによる廃棄食品を生じさせない等「もったいない」という気持ちを大切にしたライフスタイルの定着を図る。
内容	<p>「残さず食べよう！30・10運動」の取り組みについて、チラシ・ポスター、ホームページを作成し広く呼びかける。</p> <p>・市民への呼びかけ・・・運動の概要について、ホームページ、ラジオ、報道依頼、各種イベント、広報誌等で呼びかけ。</p> <p>・事業所（利用側）・・・チラシの送付、食堂へのポスター掲示の依頼により周知・啓発。</p> <p>・宿泊施設（提供側）・・・宴会施設を有する一部ホテルに対し、利用者（幹事）へのチラシ配布等を依頼。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	宿泊施設に対するアンケート調査による効果や課題の把握。
施策のポイント	宴会の利用側，提供側双方に対する周知啓発を実施。
効果や成果	平成29年度より事業を実施。
関連ホームページ	http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017022200033/

食品ロス削減のための「施策バンク」 3

施策・事業名称	食材使い切り料理教室			
自治体名	北海道 函館市			
本件問合せ先	担当課	環境部環境推進課		
	電 話	0138-51-0798	メー ル	kankyoh-suishin @city.hakodate.hokkaido.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年度～			

立案の背景 (ねらい)	第3次函館市一般廃棄物処理基本計画に基づき、家庭から排出される生ごみの減量化を促進するため、各家庭における生ごみ排出抑制方策として、これまで毎日の調理の中で捨てられてしまう（調理くず）食材などを有効活用した料理教室を開催する。
内容	・家庭から排出される生ごみの減量化を促進するため、毎日の調理の中で捨てられてしまう食材などを有効活用した料理教室を開催。 (年1回11月頃)
成果指標や目標 とその確認方法	・ちょっとした工夫で無駄をなくす食材を使い切る調理をすることにより、生ごみ減量への関心を深めてもらう。 ・生ごみの減量を実感してもらうため、調理終了後調理くずの測定をしてもらう。
施策のポイント	・生ごみ（厨芥類）は「燃やせるごみ」のうち重量比で約40%を占めていることや、生ごみは水分を約80%含んでいることから、生ごみの減量化を促進することにより「燃やせるごみ」の減量化の重要なポイントとなっている。
効果や成果	料理教室の参加者からは調理終了後、調理くずを計測した結果、ちょっとした工夫で、無駄をなくしたら、生ごみの減量効果が実感できたとの声が多かった。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 4

施策・事業名称	えべつ 15 秒CM「ゴミザムライ編」		
自治体名	北海道 江別市		
本件問合せ先	担当課	廃棄物対策課	
	電 話	011-383-4211	メール seiso-haikibutsu@city.ebetsu.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理
事業実施期間	CM公開：平成29年4月～		

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス及び生ごみ減量のキーワード「使い切る、食べ切る、水を切る」の「切る」から「ゴミザムライ」のキャラクターを立案。 ・市が大学連携事業として実施している「えべつ15秒CM」を活用して大学生にCMを制作してもらい、「使い切る、食べ切る、水を切る」を、映像を使って広く市民に周知する。 ・大学と連携することで、大学生の視点から若い世代をターゲットとしつつも幅広い世代に受け入れられるCMを制作してもらう。
内容	<p>これまで江別市と北海道情報大学が連携して制作してきたえべつ15秒CMのなかでも、初のアニメーション作品となる「ゴミザムライ編」。ゴミザムライのように「食材は使い切る！ 食べ切る！ 生ゴミは水を切る！」で、みなさんも生ごみ削減にご協力を！と訴える。</p> <div>     </div>

成果指標や目標 とその確認方法	youtube にアップしていることから、閲覧回数を確認する。
施策のポイント	若い世代などに興味を持ってもえるような広報を行うことで、食品ロスの削減及び生ごみの減量につなげていく。
効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーション作品であることから、幅広い世代から興味を持ってもらえる。 ・イベントや説明会などでも繰り返し上映することができ、市民周知に活用できる。
関連ホームページ	http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gomi/41782.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 5

施策・事業名称	3010 運動			
自治体名	青森県 八戸市			
本件問合せ先	担当課	環境政策課		
	電 話	0178-43-9362（直通）	メー ル	kankyosei@city.hachinohe.aomori.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	「3010 運動」平成 29 年 4 月 1 日～ 「八戸市 3010 運動推進店認定制度」平成 29 年 8 月 1 日～			

立案の背景 (ねらい)	食品ロスを「もったいない」の気持ちで事業者と行政が協力して減らすことにより、一般廃棄物の減量を図る。
内容	<p>(1)「3010 運動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宴会等で乾杯後 30 分から 20 分、終了前 10 分から 15 分、席について料理を楽しむ 3010 運動を推進する。 ・市内の飲食店や宿泊施設等に対し、3010 運動の推進に関する呼びかけや説明等を行う。 <p>(2)「八戸市 3010 運動推進店認定制度」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸市は、3010 運動を推進する市内飲食店、宿泊施設等を 3010 運動推進店として認定し、認定店のホームページ上での紹介や認定店への啓発用のポスターやチラシの配布等を行う。 ・認定店は、啓発用のポスターの掲示やポケットティッシュ・チラシの配布、宴会の幹事さんへの 3010 運動の紹介など、各店の取り組みやすい形で 3010 運動の推進に努める。

	 <p>ポスター・チラシ</p>	 <p>ポケットティッシュ</p>
成果指標や目標とその確認方法		
施策のポイント	認定店としての活動内容や 3010 運動の時間に幅を持たせ、飲食店や宿泊施設等が 3010 運動を推進しやすいようにしている。	
効果や成果		
関連ホームページ	(1) http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/24,105658,122,163,html (2) http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/24,109886,122,163,html	

食品ロス削減のための「施策バンク」 6

施策・事業名称	岩手県 3 R 推進キャラクター『エコロル』の保育園訪問事業			
自治体名	岩手県			
本件問合せ先	担当課	環境生活部資源循環推進課		
	電 話	019-629-5367	メール	AC0003@pref.iwate.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	毎年 9 月頃 (約 1 ヶ月間)			

立案の背景 (ねらい)	<p>県内の幼稚園及び保育園を訪問し、園児が親しみ易い、岩手県3R推進キャラクター「エコロル」の着ぐるみを活用して、3R（リデュース：ごみの排出抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）についての関心への契機とするもの。</p> <p>また、子どもから大人（家族）への波及効果により、3Rの浸透を期待するもの。</p>
	<p>◇幼稚園・保育園への案内チラシ</p> 

●訪問スタッフ

当課職員2名（MC 1名、エコロル1名）

●事業の構成は次のとおり

1) 紙芝居

「みんなでおいしくいただきます～お皿ピカピカ大作戦～」

（長野県松本市製作）

2) 歌とダンス

エコロルと園児と一緒にダンスを踊る

曲は、「エコロル エコロジー」（※エコロルのイメージソング）

園には事前にダンス動画のDVDを送付する

3) 記念撮影

訪問を記念してエコロルと一緒に記念撮影をする

4) 記念品贈呈

訪問を記念してエコロルのオリジナルプチタオルを代表の園児に贈呈する（保護者へのお知らせも併せて渡す）

●保育園訪問時の様子



成果指標や目標とその確認方法	指標や目標は特に設定していないが、例年1ヶ月間で10箇所程度の保育園を訪問することとしている。
施策のポイント	<p>子どもたちにもできる3Rの取組みをわかりやすく伝えること。例えば、リデュースであれば「ごはんは好き嫌いをしないで残さず食べる」、リユースであれば「おもちゃを大事にする」というふうに具体的に伝えるようにしている。</p> <p>また、クイズ（H27・28年度実施）や紙芝居（H26年度実施）を通して園児に興味・関心を持ってもらえるようにする。</p>
効果や成果	年々事業への申込園数の割合（申込園数／案内送付園数）が増えている。
関連ホームページ	http://www.pref.iwate.jp/kankyouseisaku/recycle/003166.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 7

施策・事業名称	残さず食べよう！30・10（さんまる いちまる）運動			
自治体名	岩手県 一関市			
本件問合せ先	担当課	市民環境部 生活環境課		
	電 話	0191-21-8341	メー ル	seikan@city.ichinoseki.iwate.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民 団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成 29 年 10 月～			

立案の背景 (ねらい)	平成 28 年度に策定した、一般廃棄物減量基本計画において、一人 1 日当たりの排出量を 5 年間で 10%減を目指すこととしており、排出時点の廃棄物の減量を図るため、食品ロス対策を実施する。
内容	<p>・家庭からの食品ロス対策として、毎月 30 日は、冷蔵庫クリーンアップデー、毎月 10 日はもったいないクッキングデーとし、賞味・消費期限の近い食品の食べきり、残り物野菜等の活用の呼びかけ、料理を残さず食べることや無駄な食品を購入しないよう啓発し、廃棄物の減量を図る。</p> <p>・飲食店等からの食品ロス対策として、宴会時における食べ残しを減らすため、「残さず食べよう！30・10 運動」に賛同するモデル事業者を募集し、食べ残し削減に向けた啓発等を行う。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	この事業による指標等は設けていないが、賛同事業者に取組前後の廃棄物の排出状況等を確認、検証する。
施策のポイント	・家庭からの食品ロス対策について、上記のほか、食生活改善推進員協議会と連携し、各家庭への啓発や野菜の茎等の可食部を使った「もったいないクッキングレシピ」の考案をする予定。
効果や成果	
関連ホームページ	http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/8,99052,54,html

食品ロス削減のための「施策バンク」 8

施策・事業名称	「もったいないアクション」の推進および 「もったいないアクション協力店」のご案内		
自治体名	秋田県 秋田市		
本件問合せ先	担当課	環境都市推進課 ごみ減量推進担当	
	電 話	018-888-5708	メール ro-evcp@city.akita.akita.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	<div> <div>1 住民啓発</div> <div>3 食品ロスの実態調査</div> <div>5 協力店舗等の登録</div> <div>7 消費者団体または住民団体との連携</div> <div>9 その他</div> </div>		<div> <div>2 キャンペーン・イベント</div> <div>4 子供への啓発・教育</div> <div>6 事業者への働きかけ</div> <div>8 食材使いきり、リメイク料理</div> </div>
事業実施期間	「もったいないアクション」の推進（「食うべえタイム」のご案内） → 平成26年度～ 「もったいないアクション協力店」のご案内→ 平成28年10月～		

立案の背景 (ねらい)	飲食店等から出る食べ残しごみを削減するため、市で進める「もったいないアクション」への協力店を募り、啓発ポスターの掲示や卓上POPを設置してもらうことで、食品を提供する事業者および来店する市民の食べ残しごみ減量への関心を高め、食品ロス削減に向けた意識の啓発を図る。
----------------	---

内容

宴会場や飲食店での食べ残しを減らすため、秋田市内のホテル・飲食店等の協力を得て、ポスターの掲示や、食事や宴会時のテーブル上などにおいしく食べきることを啓発するPOPを設置し、利用者に向けて「残さずおいしく食べきる」ことを啓発している。



啓発ポスター



啓発POP（大）



啓発POP（小）

- ・宴会等の開会から30分間と閉会前の最後の10分間を「食う～べえタイム」として自分の席でお料理を楽しむ時間を設定し、出された料理は残さずおいしく食べきりましょう！という呼びかけを行っている。
- ・食べきり啓発POPをリニューアルするとともに、食べ残しを減らすための各種取組を行う「もったいないアクション協力店」を募り、市のホームページ等で紹介している。

このステッカーが目印 →
(平成28年度より実施)



- ・「もったいないアクション協力店」についての案内は、飲食業生活衛生同業組合を通して組合員に配布したほか、事業所指導の訪問の際、直接案内を配布している。

今後、秋田市の広報誌への掲載などにより幅広く協力店を増やすこととしている。

○食べ残しを減らすための取組例

1. 食べきり啓発用ポスターやPOPの設置
2. 「食う～べえタイム」POPの設置
3. 食べきれる量での料理の提供
(ごはん量の調節・小盛りメニューの設定・ハーフサイズメニューの設定)
4. 持ち帰り希望者への対応
(消費期限に配慮した持ち帰り提供・持ち帰り容器の設置)
5. 食べ残しを減らすための呼びかけ実践
(注文時の適量注文呼びかけ・協力店である旨の呼びかけ)

成果指標や目標とその確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広く協力店を増やすことを目標とする。 ・協力店数および各店の啓発 POP 等設置数を、集計表により確認する。
施策のポイント	啓発ポスターの掲示や POP の設置により、協力店を利用する市民に向けて、食べ残しやごみ減量の意識啓発を図るとともに、店舗に対し食品廃棄物および事業系一般廃棄物減量のための情報提供を行い、秋田市の事業系一般廃棄物の減量も目指す。
効果や成果	「もったいないアクション協力店」の店舗数については、平成 28 年 10 月より本格的に実施したことから、登録件数は 12 月 2 日現在で 38 件となっている。
関連ホームページ	http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/cp/tabekiri.htm http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/cp/tabekiri_kyouryokuten.htm

食品ロス削減のための「施策バンク」 9

施策・事業名称	「食べきりアイデアレシピ集」の作成および 「食べきりアイデアカフェ」の開催			
自治体名	秋田県 秋田市			
本件問合せ先	担当課	環境都市推進課 ごみ減量推進担当		
	電 話	018-888-5708	メール	ro-evcp@city.akita.akita.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	「食べきりアイデアレシピ集」の作成 → 平成27年度 「食べきりアイデアカフェ」の開催 → 平成28年度～			

立案の背景 (ねらい)	家庭から出る食べ残しごみの減量を目的に、残った料理のリメイクアイデアや食材の使いきり調理法などを市民から募集して優秀な作品によるレシピ集を作成し、啓発活動に利用することにより、生ごみ減量に対する市民の関心を高める。
内容	<p>料理のリメイク、食材使いきり、好き嫌いや苦手を克服できるなど、「全部食べることによって生ごみを減らす」ことに着目した、家庭で手軽にできるレシピやアイデアを市民から募集し、「食べきりアイデアレシピ集」を作成した。</p>    <p>↑コンパクトな折りたたみ型</p> <p>また、食べきりアイデアレシピ集の作品を交えながら、栄養を損なわず旬な食材を使い切る方法などを、あきたタニタ食堂の管理栄養士さんがお話する「食べきりアイデアカフェ」を開催し、大変好評を得た。</p> <p>食べきりアイデアカフェは、「夏の食材編」と「冬の食材編」の年</p>

	2回、開催することとしている。
成果指標や目標とその確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・食べきりアイデアレシピ集は、平成27年度に10,000部作成し、啓発活動に活用したが、平成29年度にも10,000部作成予定であり、より多くの人への食べ残しごみ減量の啓発に活用する。 ・「食べきりアイデアカフェ」は各回30名募集（年2回開催）。
施策のポイント	<p>食べきりアイデアレシピ集は、冷蔵庫などに貼って利用できるようA3折りたたみ型とした。また、市民からいただいたアイデアレシピのほか、ご近所などから大量にトマトやきゅうりなどをもらった時の使い切りアイデアを当課職員で出し合って掲載した。</p> <p>「食べきりアイデアカフェ」開催の際は、あきたタニタ食堂の管理栄養士によるレシピ集掲載の「じゃが皮きんぴら」の調理の実践、食べきりアイデアスイーツコーヒーセットの受講者への提供などにより、受講者が楽しみながら食材の使いきり方法等を学べる内容となるよう心がけた。</p>
効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・食べきりアイデアレシピ集は、28年度中に作成した10,000部全てを啓発活動で使い切る予定。 ・「食べきりアイデアカフェ」では、より詳しくアイデアレシピ集の内容を市民に伝えることができ、生ごみ減量に対する市民の関心を高めることができた。
関連ホームページ	http://www.city.akita.akita.jp/city/ev/cp/h27_tabekiriidearesipi/default.htm

食品ロス削減のための「施策バンク」 10

施策・事業名称	広報誌・市HPでのPR			
自治体名	秋田県 由利本荘市			
本件問合せ先	担当課	市民生活部 生活環境課		
	電 話	0184-24-6253	メール	kankyo@city.yurihonjo.akita.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民 団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	広報ゆりほんじょう 12月1日号、以降随時			

立案の背景 (ねらい)	忘年会・新年会シーズンに合わせ、食品ロスの削減を市民や飲食店に呼びかける。
内容	適量の注文、幹事からの声かけ、食べきりタイム、分け合い、持ち帰り等の食品ロス削減対策を紹介する。
成果指標や目標とその確認方法	初めての取組になるので、まずは食品ロスについて関心を持っていただくことを目標とします。
施策のポイント	全戸配布される広報誌と市HPに掲載することで、若年層から高齢層まで幅広くPRできる。
効果や成果	食品ロスの削減について、ある程度の効果はあると思われます。
関連ホームページ	現在調整中。

食品ロス削減のための「施策バンク」 11




施策・事業名称	環境にやさしい料理レシピコンテスト			
自治体名	山形県			
本件問合せ先	担当課	循環型社会推進課 リサイクル・環境産業担当		
	電 話	023-630-2302 (直通)	メー ル	yjunkan@pref.yamagata.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成26年度～			

立案の背景 (ねらい)	・家庭内のごみ減量につながる料理のアイデアを広く募集し、その普及により家庭系一般廃棄物の排出抑制を図る。
内容	<p>県内外の消費者からごみ減量につながる料理レシピを募集する。応募レシピのうち県事務局の書類審査を通過したレシピについて人気投票を行い、人気レシピを決定する。人気レシピはレシピ集として掲載するとともにやまがた環境展において表彰・料理の振舞いを実施する。</p> <p>○募集内容 ①主食部門 ②おかず部門 ③お菓子部門 以下の内容を全て満たすものであること (1) ごみ減量につながる料理レシピであること (2) 一般家庭で作ることができるもの (3) 既に他コンテストやインターネット上で公表されていないレシピであること</p> <p>○人気投票 応募レシピを県ホームページに掲載し、下記の投票基準に基づいて各部門ごと最も良いと思ったレシピに投票してもらう。 (1) 家庭で簡単にできること (2) ごみ減量につながること (3) おいしそうで作ってみたいくなること (4) 今まで思いつかなかった新しいアイディアであること</p>

	<div></div> <div>表彰式（やまがた環境展 2016）</div> <div>レシピ集</div>															
成果指標や目標とその確認方法																
施策のポイント	募集においては、食品関係の学科のある県内の高等学校や大学等へも応募チラシを送付し、コンテスト応募への協力を呼びかけた。															
効果や成果	<div>応募総数、投票数は以下のとおり推移</div> <table><tr><td></td><td>H26 年度</td><td>H27 年度</td><td>H28 年度</td><td>H29 年度</td></tr><tr><td>応募総数</td><td>46 点</td><td>42 点</td><td>67 点</td><td>62 点</td></tr><tr><td>投票数</td><td>131 票</td><td>81 票</td><td>110 票</td><td>161 票</td></tr></table>		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	応募総数	46 点	42 点	67 点	62 点	投票数	131 票	81 票	110 票	161 票
	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度												
応募総数	46 点	42 点	67 点	62 点												
投票数	131 票	81 票	110 票	161 票												
関連ホームページ	http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050010/Waste_Recycle_Info_TOP.html															

食品ロス削減のための「施策バンク」 12

施策・事業名称	「もったいない山形協力店」登録事業			
自治体名	山形県			
本件問合せ先	担当課	環境エネルギー部循環型社会推進課		
	電 話	023-630-3044	メー ル	yjunkan@pref.yamagata.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年5月30日～			

立案の背景 (ねらい)	「ごみゼロやまがた」の実現に向けて、事業者のごみ削減・リサイクルの取組を推進するとともに、消費者が応援する雰囲気づくりを行うことを目的とする。		
内容	<p>・食品ロス等のごみ削減に取り組む店舗を登録し、ポスター、ステッカー、小のぼり等を店舗（飲食店、宿泊施設、小売店・スーパー）に掲示してもらうとともに、県のホームページ等において広報を行う。</p> <p>○登録要件（①～⑤のうち、2つ以上に取り組むこと）</p> <p>①廃棄物の発生抑制・ごみの減量化 ②分別・リサイクルの促進 ③食品ロスの削減 ④消費者への3Rの普及・啓発 ⑤その他のごみゼロにつながる活動</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>ポスター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ステッカー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小のぼり</p> </div> </div>		

成果指標や目標 とその確認方法	今後３年間で４００事業所を予定し、平成２９年度は２００事業所を目指す。
施策のポイント	
効果や成果	平成２９年度からの事業のため現在のところは不明。今後、協力店に対するアンケート調査等により効果を確認する。
関連ホームページ	http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050010/files/recycle/gomizerozi/kyoryokuzigyoku.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 13

施策・事業名称	食品ロス削減推進事業			
自治体名	福島県			
本件問合せ先	担当課	一般廃棄物課		
	電 話	024-521-7172	メー ル	itupan@pref.fukushima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年10月～ ・ホームページの作成（平成28年10月） ・テレビ広報による県民周知（平成28年12月、平成29年4月） ・ポスターの作成・配布（平成29年6月～） ・「チャレンジふくしま ごみダイエット！」（平成29年7月1日～9月30日…取組期間）			

立案の背景 (ねらい)	食品ロス削減の取組を促すため、県民を始めとして、飲食業関連事業者等に対する普及・啓発活動を行う。
内容	<p>・年末年始や年度開始、夏休み期間など、宴会や外食が多くなる時期に合わせ、食品ロス削減の広報を定期的に行い、県民に食べ残しゼロの意識をもってもらう。</p> <p>・平成29年度は、①飲食店や旅館・ホテル向けと、②子ども向けのポスターを作成し、①は飲食店や旅館・ホテル、食堂のある施設等へ配布し、②は小学校や幼稚園、保育園等に配布して食品ロス削減を啓発した。</p> <p>・平成27年度から実施している「チャレンジふくしま ごみダイエット！」では、チャレンジするごみを減らす取組の一つに平成29年度から食品ロス削減を組み込んで実施を促した。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	未定

施策のポイント	初期の活動としては、広報媒体やポスターを活用して、県民や事業者には食品ロス削減の必要性について周知し、自発的な取組を促すことを第一としている。
効果や成果	・ 広報媒体やポスターの掲示による普及・啓発、ごみダイエツトチラシの配布により、各家庭や事業所において、食品ロスについて関心をもってもらい、削減の取組を自発的に実施してもらうことができた。
関連ホームページ	福島県生活環境部一般廃棄物課ホームページ https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16045a/

食品ロス削減のための「施策バンク」 14

施策・事業名称	とちぎ食べきり15（いちご）運動			
自治体名	栃木県			
本件問合せ先	担当課	廃棄物対策課		
	電 話	028-623-3107	メール	hai-tai@pref.tochigi.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	通年（開始日：平成28年12月1日）			

立案の背景 (ねらい)	宴会では多くの食品ロスが発生するので、県民に広く普及啓発を行い、食品ロスの発生抑制を推進する。
内容	宴会のはじめとおわりの15分間は、自分の席で料理をおいしくいただく「たべきり15（いちご）タイム」とする「とちぎ食べきり15（いちご）運動」を、県ホームページ、SNS（Facebook・Twitter）及び関係団体（消費者及び飲食店）への周知によって、県民に普及啓発を図る。

	<div data-bbox="863 154 1295 219" data-label="Text"> <p>とちぎ食べきり15運動</p> </div> <div data-bbox="541 232 1295 987" data-label="Complex-Block"> <p>宴会の はじめとおわり15分は 食べきり15タイム</p> <p>とちぎの 地酒で乾杯</p> <div> <div> <p>はじめの 15分</p> <p>はじめの 15タイム</p>  </div> <div> <p>歓談タイム</p>  </div> <div> <p>おわりの 15分</p> <p>おわりの 15タイム</p>  </div> </div> </div> <div data-bbox="544 1016 1295 1097" data-label="Text"> <p>日本では食品ロス(食べ残し等)が年 632 万トン(1.600万人分の食事に相当)発生。 特に宴会では多くの食品ロスが発生するので、開始後・終了前は料理をおいしくいただきますよう。</p> </div> <div data-bbox="544 1108 1198 1243" data-label="Text"> <p><問合せ先> 栃木県環境森林部廃棄物対策課 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20 電話:028-623-3107</p> <p>とちぎ食べきり15運動 検索 ← 詳しくは栃木県 HP へ</p> </div>
成果指標や目標とその確認方法	未設定。
施策のポイント	「もったいない」という意識を持ち、宴会参加者全員で楽しく取り組むこと。
効果や成果	効果等不明
関連ホームページ	http://www.pref.tochigi.lg.jp/d05/tabekiri15undou.html




食品ロス削減のための「施策バンク」 15

施策・事業名称	食品ロスにおける取組			
自治体名	栃木県 栃木市			
本件問合せ先	担当課	生活環境部 環境課		
	電 話	0282-21-2141	メー ル	kankyou@city.tochigi.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	通年			

立案の背景 (ねらい)	食品ロスの取り組みを自治体から開始し、市役所に職員一人一人が食品ロスに向けて取り組みをしているが、その啓発をさらに充実させるため、職員が利用する店舗等に協力要請をし、事業者にもまで広める。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・忘年会や新年会、歓送迎会が重なる時期になり、職員の取り組みとして、「全国食べきり共同キャンペーン」の「宴会五箇条」を庁内で周知し、職員が参加する宴会で取り組みを実施する。 ・職員が参加する宴会の際に事業者でも小分けやお持ち帰りのサービスを実施協力をお願いをし、通常も実施できるようであれば取り組み実施店舗のステッカー掲示とポスターの掲示をお願いする。(予定)
成果指標や目標 とその確認方法	ステッカー配布及び協力要請店舗数の把握と店舗増
施策のポイント	通年実施とする。
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 16

施策・事業名称	① ぐんまちゃんの食べきり協力店、②ぐんまちゃんの3きり運動、③ぐんまちゃんの30・10運動			
自治体名	群馬県			
本件問合せ先	担当課	環境森林部廃棄物・リサイクル課		
	電 話	027-226-2852	メール	haikirisaka@pref.gunma.lg.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年 9 月～			

立案の背景 (ねらい)	家庭、飲食店、宿泊施設及び食料品小売店から排出される生ごみ、食べ残し及び食品ロスの削減
内容	<p>① 食品ロス等の削減に取り組む店舗を登録し、ポスター、ステッカー、卓上 POP を登録店に配布し、掲示してもらう。 県の環境情報サイト（ECO ぐんま）において、登録店情報を掲示し、広報を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">ポスター ステッカー 卓上 POP</p> <p>②、③ については、各広報媒体を使用して県民に取組を呼びかける。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	① 登録店舗数 ②、③ 1人1日当たりごみの排出量、1人1日当たり生活系収集可燃ごみの排出量

施策のポイント	店舗への呼びかけは、広報によるほか、飲食店、宿泊業者が加入している同業者団体等を通じて行う。
効果や成果	成果指標の数値について、今後の推移を確認し事業に取り組む。
関連ホームページ	群馬県環境情報サイト（ECO ぐんま） https://www.ecogunma.jp/

食品ロス削減のための「施策バンク」 17

施策・事業名称	食品ロス削減推進事業			
自治体名	埼玉県			
本件問合せ先	担当課	環境部 資源循環推進課		
	電 話	048-830-3108	メー ル	a3100-02@pref.saitama.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成 27 年度～			

立案の背景 (ねらい)	家庭ごみの約3分の1を占め、県全体で年間約35～54万トン発生していると見込まれる食品ロスを始めとした食品廃棄物の削減を推進することにより、家庭系及び事業系一般廃棄物の削減を図る。
内容	<p>1 食べきりSaiTaMa大作戦の実施 次の3つの取組により食品ロスの削減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べきりスタイル (Style) 各種イベント等において、食べ物をムダなく使う生活スタイルを提案 ・食べきりタイム (Time) 県ホームページ等で、宴会の〆前15分が残った料理を食べきる声掛けを推奨し、宴会の食べ残しを削減 ・食べきりメニュー (Menu) 小盛りメニューの設定などにより食品ロス削減に取り組む飲食店等を「彩の国エコぐるめ協力店」として登録し、県ホームページで紹介 <p>2 県政出前講座等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県政出前講座 (一般県民、小学校、中学校、高等学校) 「食品ロスを減らそう！」をテーマに、県職員から食品ロスの現状や行政の取組等について説明 ・ゲストスピーカー派遣事業 大学に専門家を派遣し、食品ロスの削減に向けた講義を実施 ・親子エコ・クッキング教室 親子で料理を楽しみながら、環境とエネルギーを大切にするポイン

	<p>トを学ぶ場を提供</p> <p>3 フードバンク活動の支援</p> <p>フードバンク活動の活性化を図るため、県の信用力を活かし県内食品製造企業等とのマッチングを支援</p>
成果指標や目標とその確認方法	<p>直接的な指標や目標はないが、埼玉県環境基本計画において以下の指標を掲げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の1人1日当たりの最終処分量 47 g（平成26年度）→ 43 g（平成33年度） ※平成27年度実績：41 g ・県や市町村が行う3R講座の受講者数（年間） 6,617人（平成27年度）→ 7,000人（平成33年度） ※平成28年度実績：6,107人
施策のポイント	<p>食品ロス削減に向けた取組を広げていくためには、多くの県民や食品関連事業者がこの問題を知っていただくことが重要</p>
効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスの言葉も意味も知っている人の割合 60.4%（平成26年度）→ 72.1%（平成28年度） ・彩の国エコぐるめ協力店 162店舗
関連ホームページ	<p>http://www.pref.saitama.lg.jp/kurashi/gomi/genryoka/shyokuhin-loss/index.html</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 18

施策・事業名称	食品ロスゼロのまち促進事業			
自治体名	埼玉県 所沢市			
本件問合せ先	担当課	資源循環推進課 総務グループ		
	電 話	04-2998-9146	メー ル	a9146@city.tokorozawa.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 26 年度～			

立案の背景 (ねらい)	「もったいないの心」を大切に、食べ残しなどにより捨てられてしまう食品を減らす取り組みを展開し、食品ロスゼロのまちを目指す。
内容	<p>① 食品ロスゼロのまち協力店登録制度 食品ロス削減を実践する飲食店を「食品ロスゼロのまち協力店」として登録し、市がその店舗と取り組み内容を HP 等により広く紹介し、食品ロス削減の意思啓発を図る。</p> <p>② トコとん！クッキング 野菜の圧剥き等の過剰除去を削減するため、食材を無駄なく活用するレシピを、料理のプロに紹介してもらい、HP 等で紹介する。</p> <p>③ その他の啓発活動 ・食べきりタイムの推奨 ・啓発ポスター・ポップの作成 ・学校給食担当部署と連携した啓発活動</p>
成果指標や目標 とその確認方法	① について 協力店舗数：平成 30 年度までに 200 店舗
施策のポイント	① については、地道な営業活動が主だったか、観光担当部署のイベント説明会等でも案内をした。
効果や成果	① については、平成 29 年 8 月末現在では 219 店舗登録している。
関連 ホームページ	http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/gomi/losszero/shokuhinnrosuzero/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 19

施策・事業名称	上尾市役所発！“フードドライブ・キャンペーン” ～たくさんの「もったいない」で「やさしさ」の輪に～ Produced By “AGECO Style”			
自治体名	埼玉県 上尾市			
本件問合せ先	担当課	環境経済部環境政策課		
	電 話	048-775-6925（直通）	メー ル	s251000@city.ageo.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	<div>家庭</div>		外食・宴会	
	1 住民啓発		<div>2 キャンペーン・イベント</div>	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	<div>9 その他</div>			
事業実施期間	平成28年11月7日～18日			

立案の背景 (ねらい)	<p>「第2次上尾市環境基本計画（改訂版）」の策定を機に、本市で行う環境の取組を「AGECO（AGEO×ECO の造語で「あげこ」と読む）」とブランド化することで、市民への浸透力を高め、効果的に実行していく方針を立てました。市民に「私たちができること」の実践を求める前に、まずは市役所が一事業者として、「CO₂削減」や「ごみの削減」に努めるべく率先垂範しようと、今回の「フードドライブ」の実施となりました。</p> <p>市役所という事業体で働く職員を対象に、家庭で食べずに余っている食品を回収し、「くらしサポート相談窓口（生活支援課）」を通じて市内の生活困窮者に配布することで、「もったいない」から始まったキモチが市内全域に「やさしさ」として広がっていけばと考えました。</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内通信「AGECO Style」において、「食品ロス」をテーマに特集を組み、実際の「食品ロス削減」の手段として「フードドライブ」の実施を周知する。 ・ 11月7日～18日まで、家庭で食べずに余っている食品を環境政策課で回収する。 ・ 対象食品としては、常温保存が可能なもの（保存食品、乾物、缶詰・瓶詰、調味料、飲料、嗜好品、菓子）、未開封なもの、賞味期限が2018年2月1日以降のものとする。 ・ 11月21日にくらしサポート相談窓口（生活支援課）で、生活困窮者世帯の家族構成に合わせて仕分作業をする。

	<p>・ 1 1 月 2 2 日より 1 2 月初旬にかけて、生活困窮者世帯に配布する。</p>
<p>成果指標や目標とその確認方法</p>	<p>成果指標：[回収食品点数（点）][回収食品量（g）] [配布世帯数（世帯）][配布人数（人）] 回収した食品の点数および重さを量り、食品ロス削減量を測定する。 また、配布世帯数および人数で達成状況を把握する。</p>
<p>施策のポイント</p>	<p>「CO₂削減」「ごみの削減」という環境側面だけでなく、「生活困窮者の自立支援」という福祉側面もあわせ持つ、一事業者として地域に貢献する取組となっています。</p> <p>また、「もったいない」からはじまった個々のキモチが、この活動に協力することで「やさしさ」をお届けすることになる。いずれは、受け取った相手から感謝のキモチを込めた「やさしさ（＝ありがとう）」がフィードバックされたり、あるいはさらに困っている方を助ける「やさしさ」として届けられたりと、地域にたくさんの「やさしさ」の輪が広がればと地域コミュニティの醸成という視点にもつながる取組となっています。</p>
<p>効果や成果</p>	<p>環境側面から見ると、「食品ロスの削減」を意識づけるという意味では、実際に食品をお持ちいただいた方、庁内通信「AGECO Style」を見ている方の反応から、一定の成果を得られたと考えています。</p> <p>＜成果指標＞ [回収食品点数（点）]：4 1 4 点 [回収食品量（g）]：1 7 7, 6 6 2 g ※[配布世帯数（世帯）][配布人数（人）]は現時点で未集計</p>
<p>関連ホームページ</p>	

食品ロス削減のための「施策バンク」 20


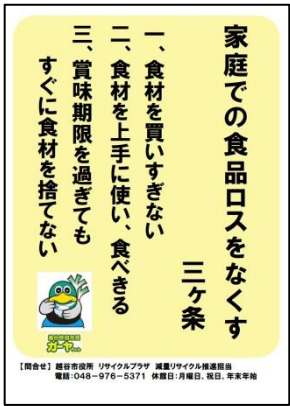
施策・事業名称	上尾市職員福利厚生委員会レクリエーション部会 職員親睦事業 Let's ♥ サルベージ・パーティ ～おいしく楽しく食品ロスを減らそう～			
自治体名	埼玉県 上尾市			
本件問合せ先	担当課	環境経済部環境政策課		
	電 話	048-775-6925（直通）	メー ル	s251000@city.ageo.lg.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年11月25日			

立案の背景 (ねらい)	<p>庁内で「食品ロスの削減」について啓発を始めたのと同時期に、職員課による職員向け福利厚生事業として「サルベージ・パーティ」の企画が立ち上がりました。</p> <p>「食品ロスの削減」を図る手段となることもあり、庁内通信「AGECO Style」で「サルベージ・パーティ」のPRも行い、美味しく楽しく取り組めるものとしておススメしました。企画当日には、前段で集まった参加者に、食品ロス削減のために家庭で身近でできる取組をご紹介します。</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食べごろギリギリの野菜、海外土産の調味料、買い過ぎた加工品などの家庭で使いきれない食材を事前に持ち寄る ・庁舎に隣接する飲食店「もぐもぐ」の渡辺シェフにより、持ち寄った食材からメニューを考案し、美味しい料理に変身してもらう ・同時に、きゅうりやかまぼこの切り方や簡単な煮物の作り方等、調理の小技巧を教えて頂く調理実習もあり ・できあがった料理は、次から次へとテーブルに並べられ、新たに变身した料理を味わいつつ、参加者と交流を楽しむことができる
成果指標や目標 とその確認方法	<p>成果指標：[回収食品点数 (点)] [参加人数 (人)] [満足度]</p> <p>回収した食品の点数をカウントする。 また、事業の効果を測定するため、参加人数やアンケートによる満足度を集計する。</p>

<p>施策のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「食品ロスの削減」だけでなく「食育」「交流」にもつながる一石二鳥の取組です。 ・料理のプロから調理の小技を目の前で教えて頂けます。 ・「捨てない（整理力）」「目でも味わう（盛り付け力）」「食べきる（調理力）」といったキッチン力のアップにつながります。 ・美味しいだけでなく、自分持ち寄った食材が他の食材とあわせて変身するというゲーム性のある取組です。
<p>効果や成果</p>	<p><成果指標></p> <p>[回収食品点数（点）]：64点</p> <p>[参加人数（人）]：28人</p> <p>[満足度]：87.5%</p> <p style="text-align: right;">（アンケートで「とても楽しかった」と回答した人の割合）</p> <p>アンケートの意見より、「サルベージ・パーティ」は食品ロスを削減するための手段として、大変有効であることが検証できました。</p>
<p>関連ホームページ</p>	

食品ロス削減のための「施策バンク」 2 1

施策・事業名称	食品ロス削減における取組			
自治体名	埼玉県 越谷市			
本件問合せ先	担当課	環境経済部 リサイクルプラザ 減量リサイクル推進担当		
	電 話	048-976-5731	メー ル	10085200@city.koshigaya.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	2016年12月～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の食品ロスを削減するため、食品ロスの現状に関心を持ってもらう。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の食品ロスを削減するため、自治会回覧やリサイクルプラザの施設見学や出前講座時に下記のチラシを配布し、食品ロスに関心を持ってもらい、意識の啓発を図る。 また、市のホームページに食品ロスの項目を設け掲載している。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>表面</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>裏面</p> </div> </div>
成果指標や目標 とその確認方法	<ul style="list-style-type: none"> 未設定

施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスに少しでも興味を持ってもらうため、印象に残るよう三か条にした。 ・家庭でも食品ロス削減に取り組めることがあることを知ってもらう。
効果や成果	平成28年度啓発チラシ配布枚数 自治会回覧・・・9667枚 施設見学・・・・・・36枚
関連ホームページ	http://www.city.koshigaya.saitama.jp/kurashi/kankyo/risaikuru/kosigaya-syokuhinloss.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 2 2

施策・事業名称	食品ロス削減における取組（庁内）			
自治体名	埼玉県 越谷市			
本件問合せ先	担当課	環境経済部 リサイクルプラザ 減量リサイクル推進担当		
	電 話	048-976-5371	メール	10085200@city.koshigaya.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	各年度の歓送迎会や納涼会、忘年会、新年会シーズン			

立案の背景 (ねらい)	食品ロス削減に取り組むにあたり、まずは庁内の職員から実践してもらうように啓発活動を実施する。
内容	歓送迎会や納涼会、忘年会、新年会の時期に市役所の職員を対象に、お開き前の15分間を「食べきりタイム」として食べきり時間の啓発を幹事が呼びかけるように庁内メールで啓発している。
成果指標や目標 とその確認方法	未設定
施策のポイント	庁内メールにて声掛けの例文を掲載している。
効果や成果	成果指標や目標は未設定のため、効果や成果は不明。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 23

施策・事業名称	エコ・クッキング教室			
自治体名	埼玉県 越谷市			
本件問合せ先	担当課	環境経済部 リサイクルプラザ 減量リサイクル推進担当		
	電 話	048-976-5371	メー ル	10085200@city.koshigaya.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年9月29日 予定			

立案の背景 (ねらい)	・家庭での食品ロス削減を目的に「食材を使いきり」「残りものをアレンジ」した料理教室を体験してもらう。
内容	・市内にある料理教室の協力を仰ぎ、食材を残さず使いきる、残りものをアレンジした料理を作る。
成果指標や目標 とその確認方法	・開催後にアンケートを行い、アンケートの意見を参考にして今後 に活かしていく。
施策のポイント	・料理で食品ロス削減に取り組めることを体験してもらう。
効果や成果	・アンケートの意見をもとに今後の開催や成果を検討する。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 24

施策・事業名称	食品ロス削減			
自治体名	埼玉県 富士見市			
本件問合せ先	担当課	環境課 資源リサイクル係		
	電 話	049－251－2711	メール	kankyo@city.fujimi.saitama.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	各年度の年末年始・暑気払い・歓送迎会			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・忘年会や新年会での食べ残しを減らすため、幹事の方に食べきりタイムを呼びかけてもらい、食品ロス削減を図る。 ・商工会や商店会連合会に向けて、事業系ごみの減量を呼びかけるチラシを配布し、食品廃棄物の排出抑制を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報や HP に忘年会や新年会などの宴会において、お開き前の 15 分間を「食べきりタイム」として料理を残さず食べきるよう幹事が呼びかけてくださいなど、食品ロス削減をお願いしている。 ・食べ残しを削減するために食べきりサイズ（小盛り・ハーフサイズ）の商品提供や食品等の量り売り、ばら売りを呼びかける
成果指標や目標 とその確認方法	・統計等は取っていないため、具体的な効果や成果は不明
施策のポイント	・宴会開始・終了時の声掛けの例文を掲載している。
効果や成果	・統計等は取っていないため、具体的な効果や成果は不明
関連ホームページ	http://www.city.fujimi.saitama.jp/20kurashi/04shumai/recycling/2016-1209-1537-51.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 25

施策・事業名称	ちば食べきりエコスタイル			
自治体名	千葉県			
本件問合せ先	担当課	環境生活部循環型社会推進課		
	電 話	043-223-4144	メー ル	e-haiki@mz.pref.chiba.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	「ちば食べきりエコスタイル」平成21年度～ 「ちば食べきりエコスタイル登録制度」平成22年12月～			

立案の背景 (ねらい)	<p>・家庭での食事の際や、レストランや宴会での食事の際に「食べきり」をすすめていくことで、食べ物がごみになる量をできるだけ減らしていく。</p>
内容	<p>食べ残しを削減する取組を実践する事業者をちば食べきりエコスタイル協力事業者として登録し、ポスター、ステッカーを掲示してもらい、県ホームページで広報を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>ポスター (A3)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>登録証ステッカー</p>  <p>PRステッカー</p> </div> </div>

	<p>1 登録要件（次のいずれかに該当）</p> <p>（１）小盛り、ハーフサイズの設定など、利用者の要望に沿った量での提供</p> <p>（２）食べ残した料理について、利用者から持ち帰りの要望があった場合の状況に応じた対応</p> <p>（３）宴会等における食べきりの呼びかけなどの実施</p> <p>（４）ポスター等の掲示による、食べ残し削減に向けた啓発活動の実施</p> <p>（５）食料品の量り売り、ばら売りなどの実施</p> <p>（６）利用者に対する食べきりの促進に関する情報提供</p> <p>（７）その他、食べきりの促進へつながる取組として県が認めるもの</p>							
成果指標や目標とその確認方法	登録店舗数について、各年度で前年度以上の増加を目指している。							
施策のポイント	店舗への呼びかけは県職員が地元の飲食店を１店舗ずつ訪問して実施							
効果や成果	年度	22	23	24	25	26	27	28
	登録数	42	200	206	207	209	216	230
関連ホームページ	http://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/3r/ceeco/index.html							

食品ロス削減のための「施策バンク」 26

施策・事業名称	残さず食べよう！３０・１０（さんまる・いちまる）運動			
自治体名	千葉県 木更津市			
本件問合せ先	担当課	環境部まち美化推進課		
	電 話	0438-36-1133	メール	clean@city.kisarazu.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成２８年１２月２日～			

立案の背景 (ねらい)	「食品ロス削減」に向けて、宴会やレストランなど食事の際に、30・10運動の取組みを進める。 市職員が率先して30・10運動を行い食品ロス削減に取り組む。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページや、広報で市民へPRを啓発する。 ・食品ロス削減をPRするチラシを作成して、商工会議所を通して飲食店等へ配布する。 ・庁内掲示板に宴会等の時期に30・10運動について掲載する。
成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	宴会等での食べ残しが多いと考えられることから、宴会等が多く行われる時期（忘年会、新年会など）に啓発を行う。
効果や成果	
関連ホームページ	http://www.city.kisarazu.lg.jp/12,56107,16,106/html

食品ロス削減のための「施策バンク」 27

施策・事業名称	食べ物を大切に！３０・１０運動			
自治体名	千葉県 佐倉市			
本件問合せ先	担当課	廃棄物対策課		
	電 話	043-484-6149	メール	haikibutsu@city.sakura.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成２８年６月より			

立案の背景 (ねらい)	宴会や料理の食べ残しを減らすため、ホームページやチラシ配布による啓発を行う。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市ホームページによる呼びかけ ・消費者庁作成のチラシ「今日から実践！食品ロス削減」を商工会議所を通じ事業者へ配布するよう依頼
成果指標や目標 とその確認方法	チラシ2,000枚を配布
施策のポイント	食べ物を大切に！という呼びかけにより、昔ながらの「もったいない」精神の再発見を促す。
効果や成果	住民や事業者への周知・啓発
関連ホームページ	http://www.city.sakura.lg.jp/0000015299.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 28

施策・事業名称	ごみ減量講座			
自治体名	千葉県 白井市			
本件問合せ先	担当課	環境建設部 環境課 きれいなまちづくり班		
	電 話	047-492-1111(代)	メー ル	kankyou@city.shiroi.chiba.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民 団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	随時（自治会、団体等から申込みが有り次第）			

立案の背景 (ねらい)	ごみ減量化施策の一環として、講座の中で、「食品ロス問題」について触れている。 買い過ぎないこと、食べきること、賞味期限等について話し、日頃の生活から、ごみ減量化につなげることを狙いとする。
内容	排出量の特に多い「燃やすごみの減量」や、「資源物の分別徹底」を中心に、クイズを交えながら 1 時間程度で講座を開催している。
成果指標や目標 とその確認方法	平成 30 年度までに、家庭系原単位（一人が 1 日あたりに出すごみの量）が、480 g になることを目標とする。 白井市から印西クリーンセンターへ搬入したごみ量から、原単位を算出して、達成か否かを確認する。
施策のポイント	講座形式で、クイズ等を交えながら、楽しみつつ学習できるようにしている。「スーパーで必要以上に買い過ぎない」、「残さず食べきる」など、その日から始められる内容を伝えている。
効果や成果	平成 26 年度 家庭系原単位 501.7 g 平成 27 年度 " 497.3 g (△4.4 g)
関連ホームページ	http://www.city.shiroi.chiba.jp/kurashi/gomi/g01/1472452066064.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 29

施策・事業名称	フードドライブ、エコなお買い物体験、３０・１０運動			
自治体名	東京都 世田谷区			
本件問合せ先	担当課	清掃・リサイクル部事業課		
	電 話	03-5432-2929	メール	SEA02241@mb.city.setagaya.tokyo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	フードドライブ（H26～）エコなお買い物体験（H28～） ３０・１０運動（H29～）			

立案の背景 (ねらい)	フードドライブ：フードドライブをきっかけに食品ロスのもったいない現状を住民に訴え、ごみ減量に対する意識醸成を行う。
	エコなお買い物体験：年少期から環境に配慮した商品の購入意識を醸成し、家庭への波及効果も見込む。
	30・10運動：事業系廃棄物における食品ロスである飲食店での食べ残しを削減する。
内容	フードドライブ：区内で実施するイベントにおいてフードドライブのブースを展開し、未使用食品等を回収している。平成29年度からは、区内2箇所の普及啓発施設において会館時における常時受付を開始、フードドライブ受付窓口を拡大した。回収した未使用食品は、フードバンクや区内の社会福祉協議会を通じて福祉団体が活用している。
	エコなお買い物体験：小学生を対象にごみや食品ロスの発生抑制を意識した商品選びを身近なスーパーで実際にお買い物をしながら学ぶ 30・10運動：全所属向けに文書による通知、庁内職員向け広報誌で取り組み方法の周知を行った。
成果指標や目標 とその確認方法	フードドライブ：家庭における未利用食品廃棄をなくすことが目的のため、回収量の目標は設定していない。
	エコなお買い物体験：実施後に児童へのアンケートを実施し、食品ロスやごみの減量についての理解度を測っている。

施策のポイント	フードドライブ：未利用食品を回収することが主眼ではなく、食品ロスを削減することが目的。フードドライブの認知度をあげることで食品ロスのもったいないをPRし、ごみ減量につなげている。
	エコなお買い物体験：学校の授業として実施。参加団体や大学と協力して児童に環境に優しいお買い物について分かりやすい内容を検討した。また、学生をファシリテーターとして各班に配置することで児童一人ひとりに商品の選び方を伝え、ワークショップでの発言の機会を均等に設けた。
効果や成果	フードドライブ：未使用食品の回収量について増加はないが、区民のフードドライブに関する認知度は上がっている。
	エコなお買い物体験：実施後の児童に対するアンケートで自身の買い物時に実践したいという回答が多数あった。
関連ホームページ	フードドライブ http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/101/113/261/d00151399.html
	エコなお買い物体験 http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/101/113/263/264/d00149735.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 30

施策・事業名称	荒川もったいない大作戦（大人向け mission） ・リーフレットの作成及び配布 ・フードドライブの実施 ・3010運動の普及 ・もったいないレシピの募集及び周知 ・イベントでの普及活動 他			
自治体名	東京都 荒川区			
本件問合せ先	担当課	環境清掃部清掃リサイクル課		
	電 話	03 (5692) 6690	メール	seiso-recycle@city.arakawa.tokyo.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成 26 年度から拡充して実施			

立案の背景 (ねらい)	平成 26 年度の荒川区ごみ排出原単位等実態調査（5 年ごとに調査する）では、可燃ごみの約半分を未利用食品を含む生ごみが占めていたため、水切りに加え日本古来の「もったいない」の精神を活かした「食べ切り」「使い切り」「計画買い」といった食品ロス削減の取り組みを展開し、事業者の協力を得て、排出抑制と環境意識の向上を目指す。	
内容	<p>1 食品ロス削減リーフレット「荒川もったいない大作戦～地球と家計に優しい食品ロス削減～」の作成及び配布</p> <p>子育て世代の主婦・主夫層をターゲットに、A4 判全 4 ページのリーフレットを作成し、イベント配布のほか図書館や児童厚生事業を実施するふれあい館等で配布している。</p> <div data-bbox="1053 1619 1276 1926" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">▲リーフレット表紙</p> <p>2 フードドライブの実施</p>	

使われずに賞味期限を迎えた食品が未使用のまま捨てられることを防ぐため、平成 27 年度の試行を経て 28 年度からフリーマーケットなどのイベント等でフードドライブを実施。

集まった食品は、荒川区社会福祉協会を通し、区内にある「子どもの居場所・子ども食堂」を始めとする福祉関係団体等など提供される。

なお、平成 29 年 10 月から常設窓口を 3 か所開設する。

今後は、実施マニュアルや必要な器材を貸出し、他課が主催するイベント等での開催を支援し、更なる機会の拡大を目指す。



▲集まった食品例



▲開催時の様子

3 3010の普及

宴会では、開始後 30 分、終了前 10 分は自席で料理を楽しむよう声掛けするなどの宴会五箇条により食べきりを区広報誌及びホームページ等で啓発。

家庭では、毎月 30 日は 10 分間、自宅の食材をチェックし、賞味期限切れ等により手つかず食品の廃棄を未然に防止。



4 もったいないレシピの募集及び周知

余った食材を有効に使えるレシピや工夫を募集する。応募されたレシピは、順次区広報誌、ホームページ及びリーフレットで周知する。



▲レシピを紹介したリーフレット

5 イベントでの普及活動

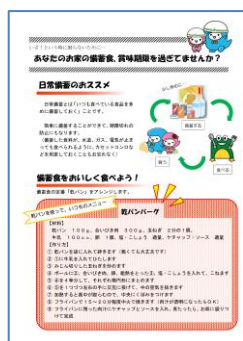
(1) 環境・清掃フェア、エコフェスタ
& リサイクルフェスタなどで紙芝
居上演、食品ロス関連動画 DVD 上
映、スタンプラリーの実施。

(2) 一時避難所開設訓練で日常備蓄と
備蓄食アレンジレシピの普及活動
を実施。

(3) 楽しく防災について学べるイベン
ト「あら BOSAI」で、区の備蓄食
をアレンジし試食として提供。



▲環境・清掃フェアの様子



▲日常備蓄と備蓄食アレンジレシピのちらし



▲あら BOSAI で提供した備蓄食スイーツ

成果指標や
目標
とその確認
方法

- 1 毎年実施する組成調査での可燃ごみにおける厨芥ごみの混入割合
- 2 イベントへの出展回数（実績目標）

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
13 回	14 回	15 回	16 回

施策のポイ
ント

- 1 区民、事業者、区が協力し、食品ロス削減の気運醸成のため、あらゆる切り口から「もったいない事業」に取り組む。

効果や成果

- 1 可燃ごみにおける厨芥ごみの混入割合

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
34.8%	34.2%	30.0%	—

- 2 フードドライブの実施（平成 29 年度は 9 月現在）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
40 品	323 品	317 品
—	88.9kg	127kg

3 もったいないレシピ及びアイデア応募件数(平成 29 年度は 9 月現在)
 応募者数 6 人 レシピ及び工夫 105 件

4 イベントへの出展

年 度	月 日	イベント名	出展方法
平成 27 年度	1 月 20 日	ごみ減量講演会・もったいない「エコクッキング」食品ロスを減らしましょう	講演会 フードドライブ
	2 月 28 日	もったいないバザール	DVD 上映 パネル展示 フードドライブ
平成 28 年度	6 月 19 日	平成 28 年度「環境・清掃フェアあらかわ」	スタンプラリー 紙芝居上演 パネル展示 フードドライブ
	10 月 2 日	荒川フリーマーケット(あらかわ遊園スポーツハウス前)	フードドライブ
	10～11 月の 5 回	地域(南千住・荒川・町屋・尾久・日暮里)子どもまつり	ポスター掲示 ちらし配布
	10 月 22 日	秋のエコフェスタ	DVD 上映 パネル展示 フードドライブ
	10 月 30 日	荒川フリーマーケット(荒川区役所前)	フードドライブ
	3 月 4 日	あら BOSAI	備蓄食スイーツの試食
	3 月 5 日	荒川フリーマーケット(荒川区役所前)	フードドライブ
	3 月 5 日	春のエコフェスタ	フードドライブ
	4 月 29 日	川の手あらかわまつり	フードドライブ
平成 29 年度	5 月 21 日	環境・清掃フェア	もったいない鬼ごっこ スタンプラリー パネル展示 フードドライブ
	6 月 4 日	荒川フリーマーケット(荒川区役所前)	フードドライブ
	10 月 1 日	荒川フリーマーケット(あらかわ遊園スポーツハウス前)	フードドライブ
	10～11 月の 5 回	地域(南千住・荒川・町屋・尾久・日暮里)子どもまつり	ポスター掲示 ちらし配布
	10 月 21 日	リサイクルフェスタ	パネル展示 フードドライブ 水切り制作のワークショップ

<p>関 連 ホ ー ム ペ ー ジ</p>	<p>1 食品ロス削減リーフレット「荒川もったいない大作戦～地球と家計に優しい食品ロス削減～」 https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/ri-huretto28.html</p> <p>2 フードドライブの実施 https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/hu-dodoraibu1/index.html</p> <p>3 3010運動の普及 https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/oisikutabeyou.html</p> <p>4 もったいないレシピの募集及び周知 https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/mottainai-resipi.html https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/mottainairesipi/index.html</p> <p>5 その他啓発ページ https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/mottainai.html https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/mottainaidaisakusen.html</p>
--	---

食品ロス削減のための「施策バンク」 3 1

施策・事業名称	荒川もったいない大作戦（子ども向け mission） ・もったいない鬼ごっこの普及 ・小学生向けパンフレットの作成及び配布 ・未就学児向け紙芝居の配布 他			
自治体名	東京都 荒川区			
本件問合せ先	担当課	環境清掃部清掃リサイクル課		
	電 話	03 (5692) 6690	メール	seiso-recycle@city.arakawa.tokyo.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 26 年度から拡充して実施			

立案の背景 (ねらい)	「もったいない」を合言葉に、紙芝居やパンフレットを活用して未就学児や小学生にアプローチし、子どもたちが学んできたことを家庭で保護者と話し合うことで問題意識を共有するきっかけとする。		
内容	<p>1 もったいない鬼ごっこの普及</p> <p>鬼ごっこを通して食品ロスが発生する原因を体験し、食べ物への感謝の気持ちを育むことを目的とした「もったいない鬼ごっこ」を、23区で初めて区主催事業として環境・清掃フェアで実施。今後は学童クラブやふれあい館、ひろば館等年4回程度実施する。</p> <p>また、学童クラブ等の職員を対象に指導者研修会を開催し、育成した職員が実施するイベントへ教材を貸し出して自主な開催を支援する。</p> <p>※もったいない鬼ごっこは、平成 27 年度東京都「持続可能な資源利用」に向</p>		



▲ 鬼ごっこ教材



けたモデル事業採択事業者であるフードロス・チャレンジ・プロジェクトが開発。鬼ごっこ教材の提供も受けた。



▲鬼ごっこの様子

2 小学生向けパンフレットの作成及び配布

- (1) 小学生への啓発として、平成 26 年度に A 4 判全 4 ページのリーフレットを作成し、区内全小学生へ配布した。
- (2) 平成 28 年度に教育委員会と連携して、授業等で活用できる低・高学年別の小学生向けの書き込み式ワークブックを作成し、環境学習等で活用する。低・高学年用ともに A 4 判全 8 ページ。



▲平成 26 年度作成リーフレット表紙



▲平成 28 年度作成ワークブック表紙

3 保育園・幼稚園向け紙芝居の配付

平成 28 年度に長野県松本市が消費者庁の補助金を活用して作成した紙芝居「みんなでおいしくいただきます！～お皿ピカピカ大作戦！！～」に荒川区シンボルキャラクター「あら坊」、その妹「あらみい」、荒川区リサイクルキャラクター「りっくる」を登場させて作成し、区内の幼稚園・保育園に配付した。各園で実施している食育等とあわせて、食べ物の大切さについて学習する。



▲紙芝居表紙



▲紙芝居 11 ページ目

成果指標 や目標 とその確 認方法	1 小学校へパンフレット使用に関するアンケートの実施 2 幼稚園・保育園へ紙芝居使用に関するアンケートの実施 3 もったいない鬼ごっこ開催回数（目標） 平成 29 年度 5 回				
施策のポ イント	1 特に環境問題については、小さいうちからの教育やしつけが効果的である と考えられているので、子ども達へ啓発することによって、子ども達を通し その保護者にまで浸透することが期待できる。家庭で問題意識を共有するき っかけとする。				
効果や成 果	1 もったいない鬼ごっこ開催				
	年 度	月 日	イベント名等	参加 人数	出展方法
	平 成 29 年 度	5 月 21 日	環境・清掃フェア	17 人	自主開催
		7 月 4 日	体験・指導研修会	13 人	教材を開発したフードロ ス・チャレンジ・プロジェク トを構成する団体「NPO法 人ハンガー・フリー・ワール ド」から講師を派遣し開催
		7 月 26 日	荒川山吹ふれあい 館デイキャンプ	26 人	デイキャンプでの催しの一 つとして、開催
		8 月 18 日	東日暮里ふれあい 館おとまり会	25 人	おとまり会での催しの一つ として、体験・指導研修会受 講生による開催
		11 月 7 日 (予定)	第九峡田小学校に こにこすくーる	定員 40 人	自主開催
		11 月 15 日 (予定)	峡田小学校にこに こすくーる	定員 40 人	自主開催
※にこにこすくーるは、放課後子ども教室					
関 連 ホ ー ム ペ ー ジ	1 もったいない鬼ごっこの普及 https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/mottainaionigokko.ht ml 2 小学生向けパンフレットの作成及び配布 <a href="https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/syokuhinlose-leaflet.h
tml">https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/syokuhinlose-leaflet.h tml (平成 28 年度作成ワークブックのページは準備中) 3 保育園・幼稚園向け紙芝居の配付 https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/kamisibai.html				

食品ロス削減のための「施策バンク」 3 2

施策・事業名称	荒川もったいない大作戦（事業者向け mission） ・あら！もったいない協力店の募集及びその周知 ・区役所地下食堂「さくら」との連携 ・区職員への啓発 他			
自治体名	東京都 荒川区			
本件問合せ先	担当課	環境清掃部清掃リサイクル課		
	電 話	03（5692）6690	メール	seiso-recycle@city.arakawa.tokyo.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年度 7 月 4 日募集開始			

立案の 背景 （ねら い）	事業系の食品ロスのうち、食品流通の川下へ至るほど分別が困難なため、たい肥化・飼料化等再生利用の実施率は低下する。最川下である飲食店では、再生利用の他食材の調達方法等の自主努力でのある程度の削減は見込まれるが、コストの増加や廃棄時の手間も増えるため、消費者の食べきりが最も効果があると考えられる。店側からの呼びかけ等により、消費者及び事業者自身の意識改革を促し、料理を残さず食べきることによって食品ロス削減効果が期待できる。
内容	1 あら！もったいない協力店の募集及びその周知

平成 28 年度から外食での食べ残しを減らすため、宴会時のコース料理食べ切りの声掛け、小盛りやハーフサイズメニューの提供等に取り組んでいただける飲食店などを募集し、協力店として認定。その取り組みを区民へ周知する。

さらに平成 29 年度から募集対象を小売業にも拡大する。量り売り、ばら売りなど販売方法の見直しにより、家庭での食品ロスの削減に寄与するとともに、一方で見切り品（賞味期限等間近の商品）の利用など消費者の意識改革を促すことにより、事業系食品ロス削減の効果も期待できる。



▲ポスター&ステッカー（飲食店）



▲協力店

2 区役所地下食堂「さくら」との連携

あら！もったいない協力店の第 1 号店として、ポスターやポップの掲示、小盛り対応、宴会時に食べきりの呼びかけ等事業当初から連携して取り組む。

また、店舗の利用は食券購入方式で、昼時は非常に込み合っているため、「小盛りを頼みにくい」との声があったことに応え、平成 29 年 7 月から試験的に券売機等に『小盛り札』を設置し、そのキックオフキャンペーンとして、1 週間荒川区リサイクルキャラクターである「りっくる」と一緒に札の使用方法を案内した。



←さくら店舗内



▲キックオフキャンペーンの様子



▲ポスターとポップ



▲小盛り札



▲小盛り札の利用者

3 区職員への啓発

歓送迎会や忘年会などの時期に区職員へ宴会時の食べきりなどの呼びかけを実施。



▲宴会イメージ

成果指標や目標とその確認方法

1 あら！もったいない協力店登録数（目標）

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
120 店	170 店	210 店	250 店

施策のポイント

1 区民、事業者、区が協力し、食品ロス削減の気運醸成のため、あらゆる切り口から「もったいない事業」に取り組む。

効果や成果

1 あら！もったいない協力店登録数
76店舗（平成29年9月末日現在）

関連ホームページ

・あら！もったいない協力店募集中
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/aramottainai.html>
 1
 ・「あら！もったいない協力店」のご紹介
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/gomi/mottainai/kyoryokuten/index.html>

食品ロス削減のための「施策バンク」 33

施策・事業名称	食品ロス削減啓発			
自治体名	東京都 足立区			
本件問合せ先	担当課	環境部ごみ減量推進課		
	電 話	03-3880-5027	メール	kankyo-gomigen@city.adachi.tokyo.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成28年度～			

立案の背景 (ねらい)	区民に対して「食品ロス」の実情を周知するとともに、その削減の方策について啓発していくことで食品ロスを削減させる。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区公式HPや公式フェイスブック、公式ツイッター等による情報発信。 ・区主催のイベントにおけるフードドライブの実施。 ・区民団体等によるフードドライブ実施支援。 ・区広報紙での周知、啓発。(10月、12月) ・サルベージ・パーティの開催。(平成30年1月予定) 			
成果指標や目標とその確認方法	区民の食品ロスに対する意識の醸成が目標であるが、具体的な指標の設定やその確認については困難と考える。			
施策のポイント	啓発を主としているため、いかに区民に情報を行き届かせるかがポイントと考える。			
効果や成果	平成28年度フードドライブ実施結果			
	開催回数 4回	受付件数合計 194件	個数合計 1,282個	重さ合計 313.31kg
関連ホームページ	http://www.city.adachi.tokyo.jp/gomi/shokuhinnrosu.html			

食品ロス削減のための「施策バンク」 34

施策・事業名称	フードドライブ			
自治体名	東京都 江戸川区			
本件問合せ先	担当課	環境部清掃課ごみ減量係		
	電 話	03-5662-1689	メール	seisou@city.edogawa.tokyo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	環境フェア：平成 28 年 6 月 4 日（土） 区民まつり：平成 28 年 10 月 9 日（日） 事業開始年度：平成 27 年度			

立案の背景 (ねらい)	・燃やすごみ約 123 千トンの約半分を占める生ごみのうち、未利用食品が約 2,500 トンにのぼると推計しているが、これら未利用食品の削減と有効利用を目的に実施。
内容	<p>家庭で余っている未利用食品を区イベント（環境フェア、区民まつり）で集め、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン（所在地：東京都台東区）を通じて福祉施設等へ提供した。</p> <p>○集めた食品</p> <p>缶詰（肉、魚、野菜、果物など）、インスタント・レトルト食品（冷凍・冷蔵食品は除く）、乾物（パスタなど）、嗜好品（お茶、インスタントコーヒーなど）、飲料（アルコール類は除く）、調味料（砂糖、ソース、醤油など）</p> <p>○食品の条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 未開封で包装や外装が破損していないもの 2. 賞味期限まで 1 か月以上あるもの 3. びん詰ではないもの
成果指標や目標とその確認方法	持込者数、点数（品目別）、重量（品目別）を成果指標とする。

施策のポイント	「フードドライブ」「フードバンク」という言葉自体を知らない方もいるため、まずは言葉の意味や取組内容を理解してもらうことが重要と考えます。		
効果や成果	実施結果		
		27 年度	28 年度
	実 施 回 数	2 回	2 回
	持 込 者 数	120 名	111 名
	点 数	996 点	1,090 点
	重 量	255kg	314kg
関連ホームページ	http://www.city.edogawa.tokyo.jp/gomi_recycle/tabekirisuisin		



食品ロス削減のための「施策バンク」 35

施策・事業名称	食べきりレシポトークショー			
自治体名	東京都 江戸川区			
本件問合せ先	担当課	環境部清掃課ごみ減量係		
	電 話	03-5662-1689	メー ル	seisou@city.edogawa.tokyo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年 11 月 6 日			

立案の背景 (ねらい)	何気なく捨てていた食材や余りもの食材を活用した調理方法の紹介や食品ロスにまつわる映画上映により、食品ロスの現状を理解し普段の生活で実践してもらう契機とする。
内容	<p>当事業は第 1 部と第 2 部と分けて実施。</p> <p>第 1 部として、料理研究家による余りのもの食材等を活用した料理方法の紹介などをテーマとした講演会（約 60 分）を行った。</p> <p>第 2 部は、第 1 部の参加者から抽選で 30 名の方に、料理研究家による料理講習会（約 120 分）を実施した。そして抽選に漏れた方には、食品ロスをテーマにした映画「もったいない」（約 90 分）を鑑賞していただいた。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	参加者数を成果指標とする。
施策のポイント	講演会、料理講習会、映画鑑賞を同時に行うことで、食品ロスの現状や削減への取組み方などを効果的に学ぶことができると考える。
効果や成果	参加者数：130 名
関連ホームページ	http://www.city.edogawa.tokyo.jp/gomi_recycle/tabekirisuisin

食品ロス削減のための「施策バンク」 36

施策・事業名称	食べきり推進店			
自治体名	東京都 江戸川区			
本件問合せ先	担当課	環境部清掃課ごみ減量係		
	電 話	03-5662-1689	メー ル	seisou@city.edogawa.tokyo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年 4 月から			


立案の背景 (ねらい)	食べ残しの削減等に取り組む店舗（飲食店、食品小売店等）を「食べきり推進店」として登録し、区ホームページ等で広く紹介することで、事業者・区民・区が一体となって食品ロス削減に向けた運動を展開する。		
内容	<p>推進店に登録いただいた店舗には、ポスター、ステッカーを配付し店内に掲示をお願いします。</p> <p>また各店舗の食品ロス削減への取組等を区ホームページで区民に紹介する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(ポスター)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(ステッカー)</p> </div> </div> <p>登録要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフサイズや小盛りメニューの導入 ・お客様の要望に応じて、ご飯や麺などの量の調整 ・ばら売り・量り売りの導入 ・閉店や賞味期限間近などによる値引販売 ・フードバンクへの食品提供 ・食品ロス削減につながる声掛けやポスターなどの掲示 など 		

成果指標や目標 とその確認方法	当事業は、平成 28 年度から開始し、平成 32 年度までに 200 店舗 の登録を目標とする。										
施策のポイント	多くの店舗に登録してもらうため、区内商店会組合や食品衛生協 会を通じて参加を呼びかけた。 同時に、職員が個別に店舗を訪問し、丁寧に説明することで登録 店舗数を増やしている。										
効果や成果	登録店舗数 <table border="1"> <tr> <td></td><td>28 年度</td></tr> <tr> <td>飲食店</td><td>60</td></tr> <tr> <td>小売店</td><td>76</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>1</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>137</td></tr> </table> ※登録店舗数は 28 年 11 月 1 日時点		28 年度	飲食店	60	小売店	76	その他	1	合 計	137
	28 年度										
飲食店	60										
小売店	76										
その他	1										
合 計	137										
関連ホームページ	http://www.city.edogawa.tokyo.jp/gomi_recycle/tabekirisuisin										

食品ロス削減のための「施策バンク」 37

施策・事業名称	30・10運動			
自治体名	東京都 江戸川区			
本件問合せ先	担当課	環境部清掃課ごみ減量係		
	電 話	03-5662-1689	メー ル	seisou@city.edogawa.tokyo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年 4 月から			

立案の背景 (ねらい)	宴会での食べ残しや家庭からの食品ロスを減らすため区民や事業者に対し、区ホームページやポスター等での啓発活動を行い食品ロス削減、ごみ減量削減を図っていく。
内容	<p><u>①宴会版「30・10 運動」</u></p> <p>宴会での食べ残しによる食品ロスを削減するために、宴会開始後 30 分間と終了前 10 分間は、自席で料理を楽しむことに集中しようとする運動のこと。</p> <p><u>②家庭版「30・10 運動」</u></p> <p>毎月 30 日と 10 日を家庭での食品ロスを削減するために、冷蔵庫内の食品を整理したり、食材を無駄なく使って料理しようとする運動のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30 日：「冷蔵庫クリーンアップデー」 冷蔵庫内にある食品を整理し、賞味期限や消費期限の近い食材等を使いきる日とする。 ・10 日：「もったいないクッキングデー」 今まで捨てていた野菜の茎や皮などの活用を意識した調理をする日とする。 <p>【周知・推進方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食べきりレシピ」の紹介 毎月 10 日に「もったいないクッキングデー」向けレシピ、30 日に「冷蔵庫クリーンアップデー」向けレシピをホームページで紹介

	<p>していく。同時に、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会を通じ、クックパッド「消費者庁のページ」へも掲載していく。</p> <p>●「冷蔵庫クリーンアップデー」向けレシピ</p> <p>内容：最後まで使いきれずに捨ててしまいがちな食材を活用したレシピ（冷蔵庫内以外の食材でも可とする）</p> <p>食材例：余ってしまった調味料、買い込んだ缶詰、使いきれない乾物等を活用したレシピ</p> <p>●「もったいないクッキングデー」向けレシピ</p> <p>内容：野菜の皮など普段何気なく捨ててしまいがちな食材を活用したレシピ</p> <p>食材例：にんじんの皮、きゃべつの芯、だし昆布、魚の骨等を活用したレシピ</p>
	 <p>ポスター、クリアファイル、卓上 POP、コースター 30・10 運動マニュアル</p>
成果指標や目標とその確認方法	<p>【成果指標】</p> <p>ポスター等配布先数、食べきりレシピアクセス数。</p> <p>【目標】</p> <p>特には設定していないが、イベント等でアンケート調査を実施し、課題や問題点等の把握を行っている。</p>
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知を目的にポスター、クリアファイル、卓上 POP、コースター、30・10 運動マニュアルを作成。 ・毎月 10 日と 30 日に区ホームページで料理研究家監修の元、食べきりレシピを紹介し家庭からの食品ロス削減を図っている。
効果や成果	<p>周知が主な事業なので効果や成果は見えにくい。</p>
関連ホームページ	<p>http://www.city.edogawa.tokyo.jp/gomi_recycle/tabekirisuisin</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 38

施策・事業名称	食品ロス啓発			
自治体名	東京都 八王子市			
本件問合せ先	担当課	資源循環部ごみ減量対策課		
	電 話	042-620-7256	メー ル	b480100@city.hachioji.tokyo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民 団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	ダンボールコンポスト普及事業 平成 25 年度～ 広報による市民周知 平成 28 年 10 月～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に「食品ロス」とは何かを知ってもらう。 ・市民への実態調査を行い、今後の施策を検討する。 ・飲食店をとおして、市民に完食を呼びかける。 			
内容	<p>①広報特集号で「食品ロス」を掲載</p>  <p>②イベント会場での啓発活動 アンケート調査</p>  <p>③東京造形大学で食品ロスの授業を実施</p>  <p>④学生発案のポスター・ステッカーを作成し、飲食店と協働で利用者に食べきりを呼びかけ。</p>  <p>平成 29 年 6 月時点で、協力店舗は 100 店舗以上となった。</p> <p>※東京造形大学の学生がデザイン</p>			

成果指標や目標とその確認方法	<p>平成 28 年 10 月に広報特集号での市民周知を図り、その後 11 月のイベントにて意識調査を行った。参加型の意識調査により、市民の意識を確認することができた。</p> <p>今後はごみ量の数値測定の協力をしてくれる、民間事業者を募り、啓発効果の検証を行うことを目標とする。</p>
施策のポイント	<p>イベント会場での啓発は、市から一方的に発信するだけでなく、広く市民の意見も取り入れる機会となると考えている。</p>
効果や成果	<p>目標値の設定も含めて今後検討する。</p>
関連ホームページ	<p>http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/5842/tokushugo.html</p> <p>http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/gomi/shinotorikumi/namagomigenryou_shigenka/index.html</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 39

施策・事業名称	3 0 1 0 運動			
自治体名	東京都 昭島市			
本件問合せ先	担当課	環境部ごみ対策課		
	電 話	042-546-5300	メール	gomitaisaku@city.akishima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年度より実施			

立案の背景 (ねらい)	宴会や外食時での食べ残し削減及び食品ロス削減意識の啓発を行い、可燃ごみの減量につなげる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減について市民の関心を高めるため、ポスター及びチラシを作成し、商工会を通じて市内の飲食店等に掲示依頼を行った。(平成29年度) ・3010運動についてHPに掲載し市民への周知を図るため、HPから宴会五箇条のチラシおよび、3010運動普及啓発用三角柱POPにリンクできるようにした。 ・市職員に対し、率先して3010運動に取り組むよう周知した。
成果指標や目標とその確認方法	
施策のポイント	
効果や成果	啓発を始めたばかりのため、効果や成果については現在のところ不明。
関連ホームページ	http://www.city.akishima.lg.jp/s071/20170213161753.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 40

施策・事業名称	食品回収			
自治体名	東京都 昭島市			
本件問合せ先	担当課	環境部ごみ対策課		
	電 話	042-546-5300	メール	gomitaisaku@city.akishima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年度より実施			

立案の背景 (ねらい)	食品ロスの削減と有効利用を目的として実施する。
内容	<p>市のイベントのほか、8月・1月を除く第2日曜日に開催しているフリーマーケットと同時開催で食品回収を実施する。</p> <p>家庭で余っている食品を回収し、市内の子ども食堂へ提供し有効利用していただく。</p>
成果指標や目標とその確認方法	持込点数及び重量を成果指標とする。
施策のポイント	
効果や成果	今年度から開始した事業であるため、効果や成果については現在のところ不明。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 4 1

施策・事業名称	もったいないことしませんりゅう（川柳）		
自治体名	東京都 町田市		
本件問合せ先	担当課	環境資源部 3R 推進課	
	電 話	042-797-0530	メール kshigen050_02@city.machida.tokyo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理
事業実施期間	2016年3月～6月		

立案の背景 (ねらい)	市民から食品ロス防止につながる川柳（5・7・5調）を募集し、公共施設での展示や情報紙・ホームページ等を活用して生ごみの発生抑制のための広報・PR活動に使用する。
内容	<p>市民や市民団体から食品ロス防止につながる川柳を募集し、公共施設や公共交通機関などに掲示・展開し、生ごみの発生抑制のための広報・PR活動を行う。</p> <div>   </div> <div>   </div>

	
成果指標や目標 とその確認方法	<p>川柳の応募作品数</p> <p>入選した川柳の展示回数</p>
施策のポイント	<p>食品ロス防止につながる川柳の「募集・展示」という形式の事業を展開することで、多くの市民が参加をする仕組みとなることから、ごみ減量意識の普及が図りやすい。</p>
効果や成果	<p>川柳応募作品数 439 作品</p> <p>展示および展開状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境月間PRイベント（市庁舎1階） ・もったいないことしませんりゅう展（生涯学習センター） ・町田市民バス「まちっこ」2系統の車内広告掲示 ・食品ロス削減啓発ポスターへの川柳の使用 ・新聞、フリーペーパー、情報誌などへの掲載（6回）
関連ホームページ	<p>http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyoushokuhin-loss.html</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 4 2

施策・事業名称	今が食べごろ「つれてって」キャンペーン			
自治体名	東京都 町田市			
本件問合せ先	担当課	環境資源部 3 R 推進課		
	電 話	042-797-0530	メー ル	kshigen050_02@city.machida.tokyo.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	2016年10月3日～19日（5カ所、5日間実施）			

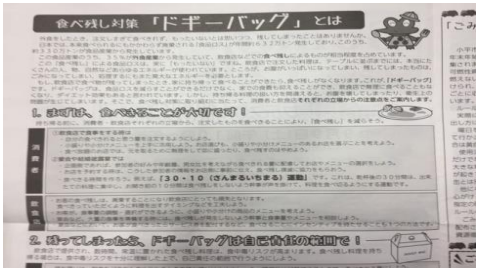
立案の背景 (ねらい)	買い物シーンにおける食品ロス削減行動の呼びかけを通じて、食品ロス発生抑制のための行動を啓発する。		
内容	<p>食品スーパーで賞味期限間近となって値下げされた商品に「つれてって」シールを職員が添付し、そのシールが添付された商品を購入された方に景品（「エコバック」「水切り袋」など）を進呈。また、同時時間帯の来店者には、食品ロスに関するチラシを配布し、食品ロスが発生しないための行動についての啓発を行った。</p> <div data-bbox="529 1402 855 1832" data-label="Image"> </div> <p>お店でのディスプレイ</p> <div data-bbox="979 1402 1305 1832" data-label="Image"> </div> <p>景品との交換風景</p> <div data-bbox="577 1890 836 2056" data-label="Image"> </div> <p>商品張付け用シール</p>		

成果指標や目標 とその確認方法	キャンペーン参加者数（景品と交換した人数） 啓発チラシ配布枚数
施策のポイント	家庭での食品ロス発生要因の入り口である買い物場面でのキャンペーンを行うことで啓発の効果を高めることができる。
効果や成果	キャンペーン参加者数（景品交換人数） 373名 啓発チラシ配布枚数 約2000枚 お客様の反応も悪くなく、キャンペーンに関心を持たれる方や食品ロスに関しての説明に耳を傾けていただける方が多かった。
関連ホームページ	http://www.city.machida.tokyo.jp/kurashi/kankyou/gomi/genryou/gimigenryourecycle/ecobag.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 43

施策・事業名称	フードドライブ ～食品ロスの削減～			
自治体名	東京都 小平市			
本件問合せ先	担当課	環境部資源循環課		
	電 話	042-346-9535	メール	shigenjunkan@city.kodaira.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	フードドライブ 平成 27 年 3 月～ 広報による市民周知			

立案の背景 (ねらい)	・市民、事業者に食品ロスについて実態を知ってもらい、「もったいない」の気持ちを持ってもらう。		
内容	<p>①フードドライブの実施 イベント等において、年に6回、日時と場所を予め定め行う拠点回収として実施している。</p>  <p>②ごみ・リサイクル情報誌「ごみらいふ」を新聞折込で配布、HP、市民課デジタルサイネージ等での啓発</p>  <p>③啓発看板、パッカー車用マスクでの啓発</p> 		

	<p>④ごみ・リサイクル情報誌「ごみらいふ」（新聞折込）で、食べ残し対策「ドギーバッグ」と題して、市民、事業者に対し、啓発を行った。</p> 
成果指標や目標とその確認方法	<p>ごみの組成分析において、燃えるごみの中に混入している「未利用食品」について、その割合の変化に注視している。なお、平成 25 度は 5.4%であったが、平成 28 年度は 1.4%であった。</p>
施策のポイント	<p>フードドライブは、市から一方的に啓発を行うのではなく、市民に食品を持ち込んでいただくことにより、参加していただく中で意識を高めてもらえればと考えている。</p>
効果や成果	<p>他の指標について今後研究していく。</p>
関連ホームページ	<p> http://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/043/043020.html http://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/000/000150.html http://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/041/041876.html </p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 4 4

施策・事業名称	フードドライブの実施			
自治体名	東京都 日野市			
本件問合せ先	担当課	ごみゼロ推進課		
	電 話	042-581-0444	メー ル	gomizero@city.hino.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年 7 月 15 日 (土)			

立案の背景 (ねらい)	廃棄物減量等推進員に対し、食品ロスに対する意識を高めてもらうため
内容	<p>廃棄物減量等推進員に行っている研修会において、食品ロス対策に効果的なフードドライブを実施した。また、フードドライブを実施するだけでなく、フードバンクの重要性及び必要性を認識してもらうため、NPO 法人フードバンク TAMA による講演を行った。</p> <div data-bbox="762 1400 1153 1989"> <p>ごみゼロ推進員研修会</p> <p>フードドライブへのご協力をお願いします</p> <p>開催日時：7/15(土) 10:00-11:30</p> <p>開催会場：ひの煉瓦ホール・小ホール</p> <p>ご家庭で余っている食品をお持ちください</p> <div> <p>・お米（白米・玄米・アルファ米）</p> <p>・パスタ、麦類などの乾麺、お菓子類</p> <p>・缶詰・レトルト食品・インスタント食品</p> <p>・のり・お茶漬け・ふりかけ</p> <p>・調味料（醤油・食用油・味噌など）</p> <p>※消費（賞味）期限：本年9月以降</p> <p>※箱が開いていても袋に入っていれば可</p> </div> <div> <p>右記の食品は引き取りできません</p> <p>・消費（賞味）期限が明記されていない食品</p> <p>・消費（賞味）期限が本年8月までの食品</p> <p>・冷凍食品</p> <p>・開封されているもの</p> <p>・生鮮食品（生肉・魚介類・生野菜）</p> <p>・アルコール（みりん、料理酒は除く）</p> </div> <p>フードドライブとは ご家庭で余っている食品を持ち寄っていただき、必要としている児童養護施設等に寄付する無償活動のことです。</p> <div> <p>主催及びお問い合わせ先</p> <p>主催：日野市</p> <p>協賛：NPO 法人フードバンク TAMA</p> <p>***** お問い合わせ先 *****</p> <p>電話：042-581-0444</p> <p>Mail:gomizero@city.hino.lg.jp</p> </div> </div>

成果指標や目標 とその確認方法	今後も定期的に、フードドライブを行っていく
施策のポイント	一般廃棄物の適正処理及びごみの減量のため市の施策への協力を行っている廃棄物減量等推進員に対し実施したこと
効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・回収量 27kg ・回収品目 米、乾麺、海苔等
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 45

施策・事業名称	「3010運動」の庁内向け周知			
自治体名	神奈川県			
本件問合せ先	担当課	環境農政局環境部資源循環推進課		
	電 話	045-210-4156	メー ル	haiki-kouiki.4154-6@pref.kanagawa.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年 12 月～29 年 1 月			

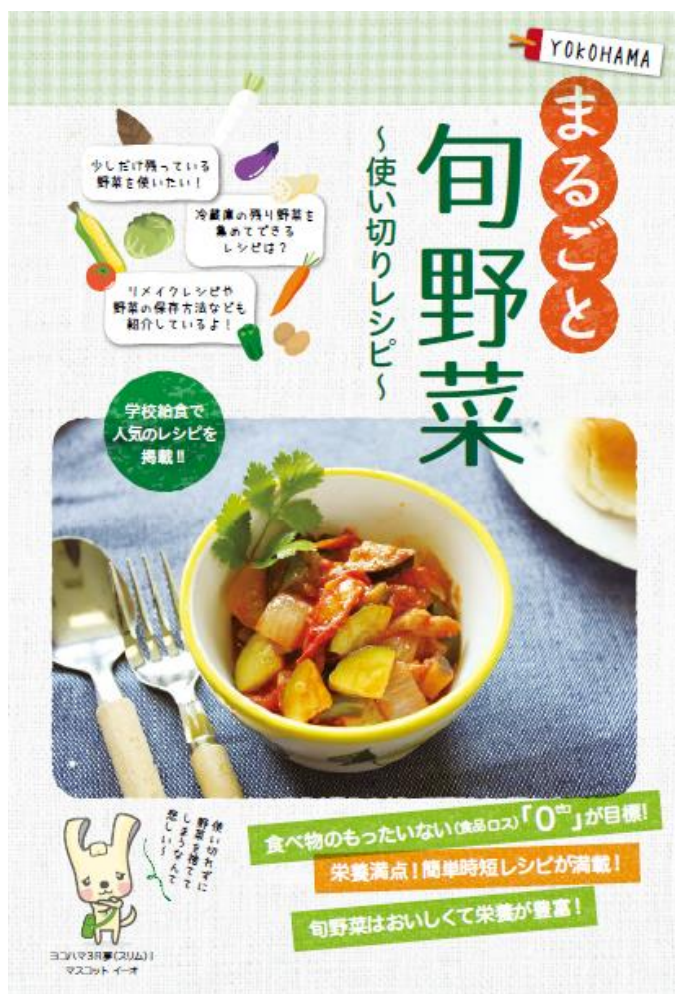
立案の背景 (ねらい)	宴会シーズン（12 月～1 月）に向けて、食品廃棄物等の削減の促進の取組の一環として、職員に対し宴会時に出された料理の食べきを周知した。
内容	宴会時の食べきり（30・10 運動※）に関すること ※ 開始 30 分と終了 10 分前は席に着いて料理を楽しむ
成果指標や目標 とその確認方法	期間終了後、実施状況調査により、宴会時における「3010 運動」の実施について実態を確認した。
施策のポイント	「3010 運動」について知ってもらい、まずは庁内から食品ロス削減を実施する。
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 46

施策・事業名称	まるごと旬野菜～使い切りレシピ～			
自治体名	神奈川県 横浜市			
本件問合せ先	担当課	資源循環局総務部 3 R 推進課		
	電 話	045-671-3593	メー ル	sj-3rsuishin@city.yokohama.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年 9 月～			

立案の背景 (ねらい)	食品ロス削減のため、食材の使い切りをコンセプトにしたレシピを作成。季節ごと、旬の食材ごとにレシピ、アレンジ方法、保存方法、市民目線の一工夫の掲載に加え、容器包装の技術や賞味期限・消費期限の違い、世界の食糧事情など、コラムなどの情報も充実させている。また、レシピの選定にあたっては学校給食の献立を提供している栄養士等と調整し、子どもたちの人気メニューなど、子育て中の家庭に興味を持っていただけるような内容とした。
内容	1 制作者等 制作：ヨコハマ R（リデュース）委員会 協力：公益社団法人 日本包装技術協会 横浜市資源リサイクル事業協同組合 公益財団法人 よこはま学校食育財団 食品ロス削減推進の会 発行：横浜市資源循環局 3 R 推進課 2 媒体等 印刷物（WEB 上でのダウンロード、「クックパッド 横浜市公式キッチン」） 3 配布場所 啓発イベント会場、区役所、その他関連事業者・団体を通じてクッキング教室などで配布

4 成果物



【A5 冊子版 12 頁】

春：キャベツ、夏：じゃがいも、秋：きのこ類・ごぼう、
冬：だいこんを季節ごとに見開き 1 頁ずつ掲載

成果指標や目標
とその確認方法

【目標】

- ・配布用に作成した 30,000 部の配布
- ・続編の作成

【確認方法】

- ・続編の作成については、レシピを受取った方の声やクックパッドへのアクセス数・「つくれぽ」の投稿数などを参考に検討予定。

施策のポイント

- ・子育て世代をターゲットに、市内の子育て支援施設やイベント会場等において配布している。
- ・「旬の野菜」「学校給食」などの多様なキーワードがあるため、「食品ロス削減」とは違う視点でも広がりが期待できる（地産地消、食育など）。

効果や成果

配布実績（平成 28 年 10 月～11 月末）：約 15,000 部

関連ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-shimin/foodloss/tsukaikiri.html>

食品ロス削減のための「施策バンク」 47

施策・事業名称	「食べきり協力店」の登録			
自治体名	神奈川県 横浜市			
本件問合せ先	担当課	資源循環局事業系対策部一般廃棄物対策課		
	電 話	045-671-3818（直通）	メー ル	sj-ippai@city.yokohama.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成 25 年度～（平成 24 年度はモデル地区で実施）			

立案の背景 (ねらい)	事業所から排出される食べ残し等による生ごみの削減を推進するため、食べ残し等の削減に取り組む飲食店や宿泊施設等を「食べきり協力店」として登録するとともに、その取組を広く紹介する事で、食べきりの推進に向けた意識啓発を図る。
内容	<p>1 対象事業者 横浜市内で営業する飲食店、宿泊施設等とする。</p> <p>2 登録の要件 次に示す取組項目を、1つ以上実践する店舗を食べきり協力店として登録する。</p> <p>(1) 小盛りメニュー等の導入 (2) 持ち帰り希望者への対応 (3) 食べ残しを減らすための呼びかけ実践 (4) ポスター等の掲示による、食べ残し削減に向けた啓発活動の実施 (5) 上記以外の食べ残しを減らすための工夫</p> <p>3 取組内容 (1) 協力店は、3で選択した取組を積極的に実践し、生ごみの発生抑制に努める。 (2) 協力店は、交付されたステッカー等を店舗に掲示し、来店者へこの取組について、積極的にPRし周知を図る。 (3) 協力店は、横浜市内で実施する取組に関する各調査へ協力するものとする。</p>

成果指標や目標とその確認方法	成果指標、目標の設定はしていないが、定期的に登録店舗を対象としたアンケート調査を実施し、課題や問題点等の現状把握を行っている。																																	
施策のポイント	店舗への呼びかけを、「食品衛生講習会」など、飲食店が多く集まる機会に実施している。また、本市職員による地元飲食店への戸別訪問を実施している。併せて、市民の皆様にも関心を持っていただくため、イベント等で「食べきり協力店」の啓発事業を実施している。																																	
効果や成果	食べきり協力店登録状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>24 年度</th><th>25 年度</th><th>26 年度</th><th>27 年度</th><th>28 年度 (11 月末)</th><th>累計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飲食店</td><td>100</td><td>320</td><td>153</td><td>106</td><td>36</td><td>715</td></tr> <tr> <td>宿泊施設</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>7</td></tr> <tr> <td>計</td><td>104</td><td>321</td><td>154</td><td>107</td><td>36</td><td>722</td></tr> </tbody> </table> ※24 年度は、関内地区をモデル地域として実施（募集期間：H24.6 月～7 月）							24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度 (11 月末)	累計	飲食店	100	320	153	106	36	715	宿泊施設	4	1	1	1	0	7	計	104	321	154	107	36	722
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度 (11 月末)	累計																												
飲食店	100	320	153	106	36	715																												
宿泊施設	4	1	1	1	0	7																												
計	104	321	154	107	36	722																												
関連ホームページ	http://tabekiri.city.yokohama.lg.jp/index.asp																																	

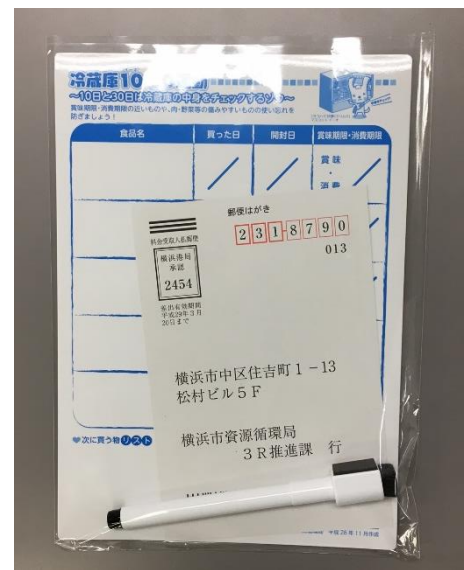
食品ロス削減のための「施策バンク」 48

施策・事業名称	冷蔵庫 ^{イーオ} 10・30運動 ^{ミーオ}			
自治体名	神奈川県 横浜市			
本件問合せ先	担当課	資源循環局総務部 3 R 推進課		
	電 話	045-671-3593	メー ル	sj-3rsuishin@city.yokohama.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成 27 年 9 月～			

立案の背景 (ねらい)	食品ロス削減のため、賞味期限・消費期限の近いものや、肉・野菜等の傷みやすいものの使い忘れを防ぐために、毎月 10 日と 30 日に冷蔵庫の中身を確認する習慣を付けてもらう。
内容	<p>横浜市の家庭から出される食品ロスの現状を伝えるとともに、これを減らすための取組を呼びかけています。</p> <p>1 広報用のチラシやマグネットの作成・配布</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="513 1373 949 1982"> <p>(A4 チラシ表面)</p> </div> <div data-bbox="983 1373 1428 1982"> <p>(A4 チラシ裏面)</p> </div> </div>



2 冷蔵庫貼付用マグネットシートの作成・配布及びモニタリング調査（実施中）



成果指標や目標とその確認方法

- 【目標】
- ・「10日と30日に冷蔵庫をチェックする」ということの習慣化。
- 【指標】
- ・モニタリング調査はがきを配布し、実態調査を実施。
(平成28年度内に3000枚配布予定)

施策のポイント

- ・段階的な事業の広がりを念頭に、
①平成27年度：事業の周知を目的にチラシとマグネット（ピンク）を作成
②平成28年度：具体的な行動に結びつけるため、書き込み式のマグネット（ブルー）を作成
- ・子どもからの波及を目的に、親しみやすいネーミングとしている。

効果や成果


モニタリング調査はがき配布による実態調査
→調査結果は、平成28年度末に確定予定。

関連ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-shimin/foodloss/reizouko1030.html>

食品ロス削減のための「施策バンク」 49

施策・事業名称	「食べきり協力店」			
自治体名	神奈川県 川崎市			
本件問合せ先	担当課	川崎市環境局減量推進課		
	電 話	044-200-3436	メール	30genryo@city..kawasaki.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成28年4月～			

立案の背景 (ねらい)	食べきれないサイズの小盛メニューなどの提供や、「おいしく残さず食べることを」利用者に呼びかける等、食べ残しを減らす取組を実施している店舗を「食べきり協力店」として登録し、食品ロス削減に向けた普及啓発を図る。
内容	<p>1. 登録対象事業者 川崎市内の飲食店や小売店等、食べ残しを減らす取組を実施している事業者</p> <p>2. 登録要件：(1) 小盛メニュー等の導入 (2) 食べきりポスターの掲示 (3) 食べ残しを減らすような呼び掛けの実践 (4) 宴会時等での食べ残しを減らすための工夫 (5) 上記以外の食べ残しを減らすための工夫</p> <p>3. 周知方法 ①本市のホームページにおいて、お店の所在地やお問合せ先を紹介 ②店頭表示できるステッカーを市から交付</p> <div style="text-align: right;">  <p>ステッカー</p> </div>

	<p>4. キャンペーン・イベントについて</p> <p>イベント時に、「食べきり協力店」でご飯を食べきった写真を市職員へ提示してもらおうと、エコグッズを市から配布する取組を実施した。</p> <p>○平成29年7月</p> <p>川崎市内の商店街と連携し、上記の取組を実施。</p> <p>○平成29年9月</p> <p>川崎市内の大規模商業施設と連携し、上記の取組を実施。</p>
--	--

成果指標や目標とその確認方法	食品ロスを削減することを目的として取組を実施しているが、具体的な確認方法については検討中。
施策のポイント	飲食店自身に食品ロスを削減していただくのは勿論のことであるが、飲食店を利用した市民の方々に、食べものを捨てることは「もったいない」と思っていていただく、意識醸成を図ることも目的としている。
効果や成果	平成28年4月から開始した取組であるが、今年6月に新たに「食べきり協力店」の要領を制定し、手続きの簡略化等を図った結果、96店舗の飲食店等に協力いただいている。
関連ホームページ	http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000082602.html (川崎市では食べきり協力店を募集しています！！)

食品ロス削減のための「施策バンク」 50

施策・事業名称	「3きり運動」			
自治体名	神奈川県 川崎市			
本件問合せ先	担当課	川崎市環境局減量推進課		
	電 話	044-200-3436	メー ル	30genryo@city..kawasaki.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年4月～			

立案の背景 (ねらい)	「使いきり」「食べきり」「水きり」の「3きり」の取組を紹介したリーフレットを、様々なイベントを通じて配布し、普及啓発を図っていく。		
内容	<p>○主な配布イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高津区食育キャンペーン ・各区管理運営協議会・講演緑地愛護会合同連絡会 ・夏休み環境教室 ・わがまち花と緑のコンクール表彰式 など <p>3きりリーフレット</p>		
成果指標や目標 とその確認方法	食品ロスを削減することを目的として取組を実施しているが、具体的な確認方法については検討中。		
施策のポイント	廃棄物行政のみならず、公園緑地や食育など、関連イベントでも配布し、様々な取組と連携している。		
効果や成果	関連するイベントであることから、手に取ったり興味を持たれる市民の割合が多く見込める。		
関連ホームページ	http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/24-1-23-2-3-9-0-0-0-0.html (チャレンジ 生ごみダイエット)		



食品ロス削減のための「施策バンク」 5 1

施策・事業名称	地球に美味しい「エコ・クッキング」			
自治体名	神奈川県 川崎市			
本件問合せ先	担当課	川崎市環境局減量推進課		
	電 話	044-200-3436	メー ル	30genryo@city..kawasaki.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1	住民啓発	2	キャンペーン・イベント
	3	食品ロスの実態調査	4	子供への啓発・教育
	5	協力店舗等の登録	6	事業者への働きかけ
	7	消費者団体または住民団 体との連携	8	食材使いきり、リメイク料理
	9	その他		
事業実施期間	平成17年11月～			

立案の背景 (ねらい)	生活の中で環境への配慮を行う「環境市民」の育成を図るため、「食」を通じ、「身近な題材で、体験的に環境の大切さを楽しく考える」というコンセプトのもと、買い物から料理、片づけにいたるまでの一連の流れを通して、食品ロスに関する事など環境に配慮した食生活の大切さを学ぶことを目的としている。
内容	東京ガス株式会社と締結した協定に基づき、市内学校PTAを対象に10校程度開催している。 「使いきり」「食べきり」「水きり」の「3きり」の手法や、水やガスを効率的に使う手法などについて学ぶ。
成果指標や目標 とその確認方法	平成28年度に実施した講座の後のアンケートでは、「エコ・クッキングを続けたい(できることは続けたい含む)」と回答した人が98.2%と、普及啓発の効果が見て取れる。
施策のポイント	エコ・クッキングについてノウハウを蓄積している東京ガス株式会社と連携して実施しており、効果的な普及啓発を実施している。
効果や成果	平成28年度に実施した講座の後のアンケートでは、「エコ・クッキングを続けたい(できることは続けたい含む)」と回答した人が98.2%と、普及啓発の効果が見て取れる。
関連ホームページ	http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-3-3-2-1-2-1-0-0-0.html (地球に美味しい「エコ・クッキング」)

食品ロス削減のための「施策バンク」 5 2


施策・事業名称	「家DE(で)出さない！フードロス」リーフレット発行			
自治体名	神奈川県 相模原市			
本件問合せ先	担当課	資源循環推進課		
	電 話	042-769-8334	メール	shigenjunkan@city.saga mihara.kanagawa.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体 との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年3月～			

立案の背景 (ねらい)	市民に対してフードロスの現状を周知するとともに、家庭でできるフードロス対策を提案することを通じ、その減量化を図ること
内容	<p>○市内の保育園及び幼稚園並びに市内大手スーパーなどへの配架 ○出前講座等の市民とのコミュニケーションの場において配布</p> <p>【リーフレット掲載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内及び市内におけるフードロスの現状並びにフードロスを削減するための日常生活上のポイント ・市教育委員会学校保健課の協力のもと、給食メニューの再現レシピとして「スパゲティミートソース」と「ナムル」を掲載するとともに、フードロスを減らす工夫としてそれぞれのリメイクレシピ（スパゲティミートソース→ポテトのミートソースグラタン、ナムル→ナムル de チヂミ）を掲載 

成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	食材の「使い切り」や「食べ切り」に加え、親子が家庭で気軽に行えるフードロス対策として提案するものである点
効果や成果	報道機関への情報提供を通じて記事に掲載されるなど、フードロスについて広く周知されるきっかけとなった。
関連ホームページ	http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/recycle/katei/021025.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 53

施策・事業名称	食品衛生責任者講習会での食品廃棄物の減量化・資源化の周知・啓発			
自治体名	神奈川県 相模原市			
本件問合せ先	担当課	廃棄物指導課		
	電 話	042-769-8358（直通）	メー ル	haikibutu@city.sagamihara.kanagawa.jp
分野 （当てはまるものすべてに○を付けてください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 26 年.～			

立案の背景 （ねらい）	清掃工場に持ち込まれる事業系廃棄物の約 45%（平成 19 年度事業系一般廃棄物の組成分析調査より）を食品廃棄物が占めていることから、飲食店等の食品関連事業者に対し、食品廃棄物の減量化・資源化に向けた意識向上を図ることを目的とした事業。
内容	<p>食品衛生責任者講習会の中で、市内で新規に開業する事業者に対し、パンフレットを配布するとともに、食品リサイクル法の主旨及び食品廃棄物の減量化・資源化に向けた取り組みのポイント等を紹介する。</p>  <p>『食品衛生責任者講習会』の中で、市内で新規に開業する事業者に対し、パンフレットを配布するとともに、食品リサイクル法の主旨及び食品廃棄物の減量化・資源化に向けた取り組みのポイント等を紹介する。</p> <p>食品廃棄物の減量化と資源化の重要性を伝える内容。</p>

成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	簡潔に食品廃棄物の適正な処理方法及び減量化・資源化のポイントを伝える点。
効果や成果	平成２６年度、平成２７年度とも各１２回の説明会に出席し、延べ４２６者の新規開業事業者に対し、本パンフレットを使用して啓発を行った。
関連ホームページ	<p><パンフレット> http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/recycle/jigyokei/13569/ <食品衛生責任者講習会> http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/shokuhin/001018.html</p>


食品ロス削減のための「施策バンク」 5 4

施策・事業名称	相模原市立小学校給食残さ飼料化事業			
自治体名	神奈川県 相模原市			
本件問合せ先	担当課	学校保健課		
	電 話	042-769-8283（直通）	メール	gakkohoken@city.sagamihara.kanagawa.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1	住民啓発	2	キャンペーン・イベント
	3	食品ロスの実態調査	4	子供への啓発・教育
	5	協力店舗等の登録	6	事業者への働きかけ
	7	消費者団体または住民団 体との連携	8	食材使いきり、リメイク料理
	9	その他		
事業実施期間	平成19年度～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物削減による地域社会への貢献 ・循環型社会の推進 ・子どもたちへの環境に対する関心の向上、教育的な働きかけの機会として
内容	<p>給食調理場を設置している市立小学校17校及び学校給食センター1施設から排出される給食残さ（調理時に出るごみ及び食べ残し）について、市内のエコフィード（＝食品残さ等を利用して製造された飼料）事業者のもとでリキッド発酵飼料化するもの。</p> <p>各給食調理場（施設）へは、委託業者が専用の冷蔵車によって給食残さの回収を行い、回収された給食残さを元に処理施設において飼料を製造する。製造された飼料は、委託業者が契約する養豚事業者のもとへ届けられ、飼料によって育てられた豚はブランド豚として、小売店等において販売されている。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・処理実績について、毎月委託業者より報告。
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・給食残さを飼料として再利用できること。 ・一般廃棄物として排出した場合の処理費と比較して、現状では安く処理ができること。
効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・過去3か年の実績 <p>平成27年度 71,920kg 平成26年度 63,042kg 平成25年度 71,704kg</p>
関連ホームページ	<p>株式会社 日本フードエコロジーセンター http://www.japan-fec.co.jp/</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 5 5

施策・事業名称	夏休み子ども社会見学「食べ残しの行方を追え！」		
自治体名	神奈川県 相模原市		
本件問合せ先	担当課	資源循環推進課	
	電 話	042-769-8334	メール shigenjunkan@city.saga mihara.kanagawa.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 住民啓発 <input type="checkbox"/> 3 食品ロスの実態調査 <input type="checkbox"/> 5 協力店舗等の登録 <input type="checkbox"/> 7 消費者団体または住民団体との連携 <input type="checkbox"/> 9 その他		<input type="checkbox"/> 2 キャンペーン・イベント <input checked="" type="checkbox"/> 4 子供への啓発・教育 <input type="checkbox"/> 6 事業者への働きかけ <input type="checkbox"/> 8 食材使いきり、リメイク料理
事業実施期間	平成28年8月26日		

立案の背景 (ねらい)	夏休み期間中の小学生を対象に、ごみの減量化・資源化にかかる事業を複数実施（4Rキッズスクール）。本事業はその一環で、食品廃棄物処理工程を親子で見学することを通してごみの減量化・資源化を身近に感じ、家庭で取り組むきっかけとすることをねらったもの。
内容	<p>○食品廃棄物を利用した発酵飼料（エコフィード）を製造している事業者を見学し、その工程を学ぶ。</p> <p>○同事業者では、一部の市立小学校及び給食センターから排出される給食残さの飼料化を行っている。</p> <p>○製造された飼料は委託業者が契約する養豚事業者のもとへ届けられ、発酵飼料で育てられた豚はブランド豚として小売店で販売されている。</p> 
成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	家庭や学校から出る食品残さをテーマとして親子で処理工程を見学することで、フードロスについて身近に感じてもらうとともに、ごみの減量化・資源化について考えるきっかけを作ることができる。

効果や成果	参加者アンケートの結果では、「食べ残しの量が膨大であることを知り少しでも減らしてゆきたいと感じた旨の回答が多く寄せられており、市民の食品残さに対する意識の醸成に繋がった。
関連ホームページ	http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kids/032244.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 56

施策・事業名称	食品ロス削減普及啓発三角柱ポップの市役所職員食堂への設置			
自治体名	神奈川県 相模原市			
本件問合せ先	担当課	資源循環推進課		
	電 話	042-769-8334	メール	shigenjunkan@city.sagamihara.kanagawa.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成30年3月30日（金）まで（延長あり）			

立案の背景 (ねらい)	普及啓発を目的とした広報媒体の効果的な設置場所として、食品ロスに繋がるの最も深い「食堂」に着目し、利用する市民及び市職員の食品ロスに対する意識を醸成していくことをねらった。
内容	<p>本市のごみ減量キャラクター「分別戦隊シゲンジャー銀河」を用いた三角柱ポップを市役所職員食堂（来庁者も利用可能）に設置</p> <div>    </div>

	
成果指標や目標とその確認方法	未設定
施策のポイント	食事をしながら目にする場所に設置したことで、より一層関心を持って見ていただくことができる。
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 57

施策・事業名称	食品ロスの削減			
自治体名	神奈川県 鎌倉市			
本件問合せ先	担当課	ごみ減量対策課		
	電 話	0467-61-3396	メール	gomi@city.kamakura.kanagawa.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成 26 年度～			

立案の背景 (ねらい)	平成 28 年度からの第 3 次一般廃棄物処理基本計画の策定に向けて、平成 26 年度から、生ごみ減量の課題となっている食品ロスの削減に関する調査やイベントを実施し、今後の施策の参考としました。
内容	<p>①家庭における食品ロスの実態を把握するため、例年行っている家庭系燃やすごみ質組成調査の中で、未開封の厨芥類残渣を 5 項目に分けて調査を実施。</p> <p>②市民アンケート調査において、食品ロスに関する意識調査を実施。</p> <p>③食品ロスに関するワークショップを実施し、市民、事業者とともに、食品ロスを減らすためのアイデアを話し合った。</p> <p>④①、②、③の結果を元に、市民への啓発パンフレット「もうムダにしない！食材の便利帳」を作成し、自治・町内会の説明会等で配布。</p> <p>⑤③の結果を元に、飲食店への啓発ポスター「Mottainai spirit in Kamakura」を作成し、飲食店の説明会等で配布。</p>
成果指標や目標とその確認方法	数値指標は特に設定していません。
施策のポイント	アンケート調査やワークショップを開催する中で出たアイデアとして、食材の便利帳の中に食材の適量や野菜等の保存方法などについて記載するとともに、飲食店向けのポスターでは、飲食業組合の方々の意見を聞きながら、英語も入れて作成しました。
効果や成果	具体的な成果は不明。
関連ホームページ	http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gomi/shokuhinloss.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 58

施策・事業名称	生ごみ堆肥化推進事業（「生（いき）ごみ小田原プロジェクト」）		
自治体名	神奈川県 小田原市		
本件問合せ先	担当課	環境政策課	
	電 話	0465－33－1471	メール kansei@city.odawara.kanagawa.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理
事業実施期間	平成 22 年度から事業開始、今後も継続予定		

立案の背景 （ねらい）	「生（いき）ごみ小田原プロジェクト」として、生ごみの堆肥化を推進し、燃せるごみの減量と「食」に対する意識づけを図る。
内容	<p>「生（いき）ごみ小田原プロジェクト」は、段ボールコンポストの初期セットを市内の希望のあった世帯に無料で配布し、さらに登録してから1年間は基材を3回（初期セットを含む）無料で配布、それ以降は1個300円で販売している。</p> <p>この取り組みは、市民団体「生（いき）ごみクラブ」と基材を作製する障がい者作業施設「第3ありんこホーム」と市の三者協力で成り立っている。生ごみクラブの協力のもと、生ごみ堆肥化に取り組む人の集いの場として定期的に市内各地域でサロンを行い、生ごみ堆肥化に関する情報交換や困りごと相談などの場として多くの人を集めている。また、生ごみ堆肥化の新規参加者をより増やすため、市内店舗の店頭での段ボールコンポストの実演も実施している。</p> <p>一方、市内の小学校では、生ごみを堆肥にし、できた堆肥を学校農園などで使用して野菜などを育て、採れた食材を調理するなど、学校教育の場でも生ごみ堆肥化を通して資源循環を体験している。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	事業への参加登録世帯数を指標とし、市内8,000世帯の登録を目標としている。平成29年8月31日現在の参加登録世帯数は、5,371世帯となっている。

<p>施策のポイント</p>	<p>生ごみの堆肥化を進めることで、燃せるごみの減量と、市民の「食」とごみに対する関心が高まることにつながると考えている。</p> <p>また、学校で生ごみ堆肥化に取り組むことで、子どもたちの食べ物を大切にする心を養う「食育」に活かすことができる。</p>
<p>効果や成果</p>	<p>計算上の効果として、1世帯が1日に投入可能な生ごみは500グラムとすると、現在の生ごみ堆肥化推進事業への参加登録者数約5,000世帯×500g×365日＝912トン／年に相当する。</p> <p>成果としては、参加者の意識の向上につながっている。事業への参加者を対象にアンケートを行い、「堆肥化に取り組むようになってから変わったこと」について質問したところ、14.3%の人が「食に対する意識が変わり、食べ残しが減った」と回答した。また、「子どもの食べ物の好き嫌いが減った」との記述もあった。</p>
<p>関連ホームページ</p>	<p>http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/refuse/jigyoku/</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 59

施策・事業名称	もったいない運動		
自治体名	神奈川県 厚木市		
本件問合せ先	担当課	環境政策課	
	電 話	046-225-2749	メール 3100@city.atsugi.kanagawa.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他		
事業実施期間	継続		

立案の背景 (ねらい)	市内で年間約 6,000 トン発生していると推測される食品ロスの削減や、可燃ごみへの混入率が高い紙資源とプラスチック製容器包装の適正排出を推進することを目的として「もったいない」をキーワードに各種取組を展開しています。
内容	<p>1 食品ロスの削減</p> <p>(1)家庭から出された可燃ごみの内容物検査を実施し、手つかずの食品の種類や排出量等を市民に周知し、食品の計画的な購入と消費を啓発しています。</p> <p>(2)厚木市ごみ対策協議会と協力して、エコクッキングの体験講座（大人向け・親子向け）や食品リサイクル施設の見学会を実施しています。</p> <p>(3)環境フェア会場内で、食品ロスに係るパネル展示やアンケート調査を実施しました。（平成 27 年度(隔年開催)）</p> <p>(4)環境フェアで市内の事業者に協力を依頼し、フードドライブを実施していただきました。（平成 27 年度(隔年開催)）</p> <p>2 3010 運動の実施</p> <p>(1)市内の飲食店や旅館などに協力を依頼し、登録店舗に 3010 運動を周知するための従業員用缶バッジ、ポスター、ガイドブックを配布し、協力店から市民に 3010 運動への参加を促していただいています。</p> <p>(2)駅前等に設置している大型ディスプレイに、市内大学生が作成した 3010 運動の映像を流し、3010 運動を周知します。（平成 29 年 2 月予定）</p>

	<p>3 資源の適正分別に係る啓発</p> <p>(1)家庭から出された燃えるごみの内容物検査を実施し、可燃ごみに混入している紙資源やプラスチック製容器包装の種類や排出量等を市民に周知し、正しい分別を周知しています。</p> <p>(2)厚木市ごみ対策協議会と協力して、紙資源やプラスチック製容器包装の中間処理施設及び資源化施設の見学会を実施しています。</p> <p>(3)紙資源の中間処理業者と連携して、紙類の正しい分別方法について講習会を実施しています。</p>
成果指標や目標とその確認方法	家庭から排出された可燃ごみの内容物を検査することにより、問題点や課題を把握し、効果的な啓発や周知を実施することを心掛けています。
施策のポイント	多くの市民や事業者に、食品ロスについて関心をもっていただくことが、食品ロスの削減の第一歩となることから、広報等による啓発、アンケート調査の実施、市民団体や事業者との連携、飲食店や旅館等の連携など、様々な角度から多くの団体や事業者とともに、「もったいない運動」に取り組み、市全体の意識を高揚させていくことが大切であると考えています。
効果や成果	<p>環境フェアには、9,000 人の来場者がありました。</p> <p>施設見学会や体験学習講座には、定員を超える応募がありました。</p> <p>3010 運動は、開始から間もないことから、協力店の拡大を図ります。</p>
関連ホームページ	http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/shiminbenri/environment/kankyoku/kannkyoukyouiku/kankyoutuushinn/d035289.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 60

施策・事業名称	野菜まるごとクッキング講座			
自治体名	新潟県 新潟市			
本件問合せ先	担当課	環境部廃棄物政策課		
	電 話	025-226-1391	メール	haisei@city.niigata.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	年2回程度開催			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ減量の意識啓発施策として実施。 家庭から出る生ごみを減らすため、食材を無駄なく使いきるレシピを紹介し、実際に調理をしてもらうことで楽しみながら理解を深めてもらう。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回程度開催しています。 ・市報や情報紙「サイチョプレス」で開催案内を行い、参加者を募集します。
成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 6 1

施策・事業名称	「小千谷のごつつお」食べきり運動			
自治体名	新潟県 小千谷市			
本件問合せ先	担当課	市民生活課		
	電 話	0258-83-3509	メー ル	shimin-ke@city.ojiya.niigata.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民 団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成22年度～			

立案の背景 (ねらい)	<p>食べきれずに残してしまう飲食店での料理を自己責任において持ち帰ることで、生ごみの排出量抑制につなげる。</p> <p>また、料理を食べきること、それを作るのに要した大量のエネルギーを無駄にしないこと、生産と調理に関わった多くの人たちへの感謝の意味も込めて実施する。</p>
内容	<p>持ち帰りのことを考慮し、気温が低く、また宴席の多い忘・新年会シーズンに強調して以下の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店連合会の鮮魚会席組合及び旅館組合加盟店の協力を得て、 <ul style="list-style-type: none"> ①運動を周知するポスターの店内への掲示 ②希望者に折詰容器の提供 ③食べきれずに残した料理の持ち帰りができることの積極的な声掛け（持ち帰った後のトラブル（食中毒等）は自己責任であることを伝えること、持ち帰りに不向きなものの提供は断ること） ・市の広報紙やホームページ等で事業の趣旨、宴会時の留意点と併せて、家庭でできる取組も周知し、意識啓発を図る。
成果指標や目標 とその確認方法	設定なし
施策のポイント	同業者の団体を通じて事業のPRを実施
効果や成果	統計等を取っていないため具体的な成果は不明だが、食品ロスについて関心を持ち、実践するきっかけとして一定の効果を期待している。
関連ホームページ	http://www.city.ojiya.niigata.jp/soshiki/shimin/tabekiriundo.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 6 2


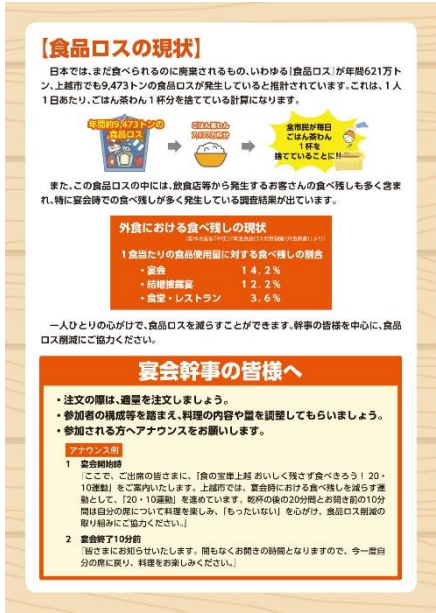
施策・事業名称	もったいない！食べ残しゼロ運動			
自治体名	新潟県 妙高市			
本件問合せ先	担当課	環境生活課 リサイクル係		
	電 話	0255-74-0031（直通）	メール	kankyoseikatuka@city.myoko.lg.jp（行政用）
分野 （当てはまるものすべてに○を付けてください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成26年度～			

立案の背景 （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者に向けて、食べ残しをすることは「もったいない！」という意識の高揚を図り、家庭内や外食での食べ残しを減らすことについて意識啓発を行う。 ・食べ残しを減らす取組みを実践する飲食店や宿泊施設等を募集し、この取組内容を消費者にPRして食べ残し（生ごみ）の減量につなげる。
内容	1 市民向け「もったいない！食べ残しゼロ運動」 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙や市ホームページ、妙高チャンネル（ケーブルテレビ）等で事業の趣旨・内容等を広く周知し、意識啓発を図る。 [啓発内容] <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス ・賞味期限と消費期限の正しい理解 ・食材を買いすぎない、食事は作り過ぎない、残さない ・外食の注文時には小盛りの対応が可能か聞く ・食べられない食材が入っているときは、その食材を抜くことができるか聞く ・食べ残した料理を持ち帰ることができるか聞く ・宴会時、料理を食べる時間をつくる（乾杯後、閉会前の声かけ） 2 飲食店等の「もったいない！食べ残しゼロ運動」 <ul style="list-style-type: none"> ・運動に協力いただける店舗を登録し、ポスター、テーブルトッ

	<p>プ、シール等の啓発物品を掲示等してもらうとともに、広報紙や市ホームページで広報を行う。</p> <p>[登録要件（次のいずれかに協力）]</p> <p>①ご飯など小盛りの対応ができる</p> <p>②苦手食材を取り除くことができる</p> <p>③食べ残しの持ち帰り容器を提供できる</p> <p>④予約時にお客様の男女比、好み等に合わせ適量の材料提供ができる</p> <p>⑤宴会幹事さんへ「宴会進行例」の情報提供</p> <p>⑥地元の食材を使った料理の提供</p> <p>⑦その他独自の食べ残しゼロの取組</p>						
成果指標や目標とその確認方法	<p>・登録店舗数の目標を定め、達成状況を確認した。</p>						
施策のポイント	<p>・飲食店組合、商工会、観光協会等を通じて事業のPRを実施。</p>						
効果や成果	<table><tr><td>年度</td><td>H 2 6</td><td>H 2 7</td></tr><tr><td>協力店</td><td>5 5</td><td>5 6</td></tr></table>	年度	H 2 6	H 2 7	協力店	5 5	5 6
年度	H 2 6	H 2 7					
協力店	5 5	5 6					
関連ホームページ	<p>http://www.city.myoko.niigata.jp/trashrecycle/1072.html</p>						

食品ロス削減のための「施策バンク」 63

施策・事業名称	食の宝庫 上越 おいしく 残さず食べきろう！20・10 運動			
自治体名	新潟県 上越市			
本件問合せ先	担当課	農林水産部農村振興課		
	電 話	025-526-5111	メー ル	syoku-iku@city.joetsu.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年度～			

立案の背景 (ねらい)	<p>近年、大きな社会問題となっている「食品ロス」の削減に向け、食育の取組の一環として、外食における食べ残しの割合が一番多い宴会に焦点を当て、市民への啓発を図るもの。</p>
内容	<p>・市民啓発用リーフレット、ポスターの作成</p> <p>・上越市が認定している「地産地消推進の店」の飲食店や市内事業所にリーフレット、ポスターを配布し、宴会幹事さんを中心とした呼びかけの実施</p> <p>・市広報、ホームページ、報道機関を通じた「20・10 運動」の市民周知</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<p>成果指標や目標 とその確認方法</p>	<p>【成果指標】 第3次上越市食育推進計画の指標として設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民の割合 (現状 H28 : 70.5% → H33 : 80%) <p>【確認方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽出市民アンケート結果による
<p>施策のポイント</p>	<p>市民の意識の高まりから食品ロス削減を目指すもの。</p>
<p>効果や成果</p>	<p>リーフレット、ポスターは平成29年度に作成したため、数値としての成果は出ていない。</p>
<p>関連ホームページ</p>	<p>上越市ホームページ http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/syoku-iku/syokuno-houkoj.html </p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 6 4

施策・事業名称	南魚沼市・魚沼市・湯沢町「おいしい食べきり運動」			
自治体名	新潟県 南魚沼市			
本件問合せ先	担当課	廃棄物対策課	電 話	025-782-0339
	メール	haikibutsu@city.minamiuonuma.lg.jp		
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年 10 月 1 日更新			

立案の背景 (ねらい)	<p>ごみ減量化推進事業のひとつとして、2市1町で構成する魚沼地域定住自立圏（魚沼市・南魚沼市・湯沢町）の地域全体で生ごみ削減に取り組むもの。</p>
内容	<p>○対象 小売店、飲食店、宿泊施設等の食材または飲食を提供する者及び小中学校、一般家庭等</p> <p>○実施内容 啓発用品（チラシ、コースター）を作成し、関係者に配布する。市報に掲載して地域全体に周知する。</p> <p>○具体的な働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家では、適量調理でいつも完食。 ・学校では、給食は毎日残さずしっかり食べる。 ・食堂・レストランでは、食べられる分だけ注文する。 ・宴会では、開始後15分間、閉会前10分間は自分の席で料理を楽しむ。 ・小売店の方は、使い切り食材の販売を実施する。 ・飲食店の方は、小盛サイズメニューを提供する。
成果指標や目標とその確認方法	<p>平成28年度は、飲食店・宿泊施設の協力を得て、宴会時の食べ残しゼロ運動を実施。協力店数は2市1町で43件。</p> <p>平成29年度の目標100件。年度末にアンケート調査を実施。協力店、小中学校など状況把握を行う。</p>

施策のポイント	飲食店・宿泊施設に限らず、小売店、小中学校、一般家庭など、地域全体での取組に拡大する。特に小中学生に働きかけ、家庭への波及効果をねらう。
効果や成果	地域全体で食品ロス削減に取り組むことで、生ごみを削減し、ゴミ減量化の推進を図る。
関連ホームページ	http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp

おいしい食べきり運動

魚沼地域定住自立圏(魚沼市・南魚沼市・湯沢町)

もったいない！

- お家では、適量調理でいつも完食。
- 学校では、給食は毎日残さずしっかり食べる。



たべものにもったいないを、もうたのいちゃい。

ろすのん
食品ロス削減運動の
シンボルマーク

- 食堂・レストランでは、食べられる分だけ注文する。
- 宴会では、開始後 15 分間、閉会前 10 分間は自分の席で料理を楽しむ。

のこさず
たべよう！

9 cm × 9 cm

おいしい食べきり運動

魚沼地域定住自立圏(魚沼市・南魚沼市・湯沢町)

もったいない！

日本は食料の約6割を海外に依存している一方で、食品ロスが年間約632万トンも発生していて、世界食糧援助量320万トンの約2倍となっています。(平成25年度推計)



たべものの
もったいないを
もういちど考えて
みるのん！

ろすのん
食品ロス削減運動の
シンボルマーク

南魚沼市・魚沼市・湯沢町では「おいしい食べきり運動」を実施しています。ひとりひとり、できることから、食品ロス削減に取り組んで、ごみの減量化にご協力ください。

**のこさず
たべよう！**

ひとりひとりが、できること。



お家では、適量調理でいつも完食。



学校では、給食は毎日残さずしっかり食べる。



食堂・レストランでは、食べられる分だけ注文する。



宴会では、**開始後15分間、閉会前10分間**は自分の席で料理を楽しむ。



小売店の方は、使い切り食材の販売(少量販売・ばら売り)を実施する。



飲食店の方は、小盛サイズメニューを提供する。

> 幹事さんをお願い <

おいしい食べきり運動

魚沼地域定住自立圏(南魚沼市・魚沼市・湯沢町)

たべものに、**もったいないを**、もういちど。

南魚沼市・魚沼市・湯沢町では「おいしい食べきり運動」に取り組んでいます。



■宴会時には・・・

- ① 開始から15分間は、自分の席で料理を楽しみましょう。
- ② 料理がたくさん残ったら、食べられる人にすすめましょう。
- ③ 閉会前の10分間は、席に戻って料理を食べきりましょう。

ろすのん
食品ロス削減運動のシンボルマーク

★幹事さんから一言呼びかけてください！



①乾杯の後に……

南魚沼市では、「おいしい食べきり運動」に取り組んでいます。まずは、お席で、料理をゆっくりと味わいましょう。



②宴会の途中で……

お料理がたくさん残って、食べきれない方は、食べられる方にすすめてください。



③閉会10分前に……

そろそろお開きの時間が近づいてきました。お席に戻って、せっかくのお料理を食べきってから、お開きにしましょう。

食品ロス削減のための「施策バンク」 65

施策・事業名称	食品ロスの削減			
自治体名	石川県			
本件問合せ先	担当課	廃棄物対策課		
	電 話	076-225-1471	メール	jyunkan@pref.ishikawa.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント		
	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育		
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ		
	7 消費者団体または住民団 体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理		
	9 その他			
事業実施期間	平成28年度～			

立案の背景 (ねらい)	食品ロス削減のため、様々な手段により、広く県民に普及啓発を図る。
内容	<p>【平成28年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘新年会シーズンに、市町や関係団体への啓発チラシ配布により、「宴会五箇条」や「30・10運動」の実践を呼び掛け。 ・ラジオ番組を活用し、家庭での食品ロス削減の取組方法を紹介するとともに、「30・10運動」の実践を呼び掛け。 <p>【上記の他、平成29年度に新たに実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビスポットCMを活用し、料理の食べきりについて呼び掛け。 ・食育月間（6月）にあわせて、県庁内の展示コーナーで食品ロスのクイズパネルを展示し、来庁者への啓発を実施。（健康福祉部と連携して実施） ・啓発用の法被とのぼりを制作し、「いしかわ環境フェア」（来場者約2万7千人）で「30・10運動」の実践を呼び掛け。加えて、専用ブースを設けて、食品ロスに関するクイズを実施。正解者には啓発グッズを配布。（農林水産部と連携して実施）
成果指標や目標 とその確認方法	具体的には定めていないが、1人1日当たりのごみ排出量削減を目指す。
施策のポイント	廃棄物対策だけでなく、食育や食品リサイクル法などの観点も踏まえ、関係部局と連携して取り組んでいる。
効果や成果	1人1日当たりのごみ排出量は、年々緩やかに減少している。
関連ホームページ	http://www.pref.ishikawa.lg.jp/haitai/syokuhinloss/syokuloss.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 66

施策・事業名称	おいしいふくい食べきり運動 啓発ちらし、グッズ、ホームページの作成			
自治体名	福井県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課		
	電 話	0776-20-0317	メール	junkan@pref.fukui.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	啓発ちらし、グッズ 平成18年度～ ホームページ 平成24年度			

立案の背景 (ねらい)	・「おいしいふくい食べきり運動」を子供から大人までのすべての年代に対し啓発するために、ちらしやグッズ、ホームページを作成した。
内容	<p>1 ちらし（一般用、児童用） (1) 一般用 県民が「おいしいふくい食べきり運動」に取り組んでもらえるよう、家庭、外食時、宴会時の3つのシーンに分けて、具体的な行動内容を記載したちらしを作成し、飲食店、食品販売店、地域イベント等で配布 (2) 児童用 食育等の授業に併せて「おいしいふくい食べきり運動」を知ってもらえるよう、小学校に配布 「食べきる」ことや食べ物の大切さ、食事を楽しむことを中心に記載</p> <p>2 「おいしいふくい食べきり運動」専用ホームページ（H24年度） 県民が身近に感じ、親しみやすい運動となるよう、食べきり運動キャラクター「のっこさん」を用いてホームページ全面リニューアルした。協力店、応援店の詳しい食べきりサービス情報やお店の地図情報を載せ、地域別ジャンル別で店舗が検索可能</p> <p>3 グッズ (1) 協力店、応援店向け ポスター、卓上広告塔、ステッカー、メニュー用シール、</p>

	<p>持ち帰り希望カード</p> <p>(2) 県民向け</p> <p>冷蔵庫用マグネット、缶バッジ、クリアフォルダ、食べきり運動のうた DVD、食べきり絵本、給食食べきり用シール、スタンプ</p> <p>(3) 啓発活動用</p> <p>パネル、のぼり、たすき、ジャンパー、プラカード</p>					
成果指標や目標とその確認方法	県内の食のイベント時にアンケートを行い、「おいしいふくい食べきり運動」の県民の認知度を確認					
施策のポイント	食べきり運動キャラクター「のっこさん」を使用し、イメージカラーのオレンジで統一感を持たせている。					
効果や成果	子供たちには「のっこさん」とともに「おいしいふくい食べきり運動」を覚えてもらえるようになった。					
	「おいしいふくい食べきり運動」の認知度は年々上昇している。					
	年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	認知度	40%	51%	56%	66%	71%
関連ホームページ	http://info.pref.fukui.lg.jp/junkan/tabekiri/					

食品ロス削減のための「施策バンク」 6 7

施策・事業名称	おいしいふくい食べきり運動 「食べきり運動協力店」「食べきり家庭応援店」の登録			
自治体名	福井県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課 リサイクル運動推進グループ		
	電 話	0776-20-0317（直通）	メー ル	junkan@pref.fukui.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	「食べきり運動協力店」平成18年8月～ 「食べきり家庭応援店」平成23年度～ 「おいしいふくい食べきりの日」平成27年度～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会や外食時の食べ残しを減らすため、飲食店から住民へ声かけを行ってもらう。 ・家庭での食品ロスを減らすため、食品小売店から住民へ声かけを行ってもらう。 ・住民が「おいしいふくい食べきり運動」を知る機会を増やす。
内容	<p>1 店舗の登録</p> <p>運動に協力いただける店舗を登録し、ポスター、卓上広告塔、ステッカー、メニュー用シールを掲示してもらうとともに、県の専用ホームページ、ちらしで広報を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <p>ステッカー</p> <p>広告塔</p> </div> <p>(1) 登録要件 (次のいずれかに協力)</p> <p>ア「食べきり運動協力店」…飲食店、料理店、ホテル等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハーフサイズや小盛り等をメニューに設定 ・注文時に、お客様の年齢構成、男女構成等を聞き、適量

	<div>の料理提供</div> <div><div><div>・お持ち帰りができる料理メニューの設定</div><div>・お客様からご希望があった場合に、お持ち帰りパック等を提供</div><div>・地元食材を使った料理の提供</div><div>・その他、独自の食べきりサービス</div></div></div> <div>イ「食べきり家庭応援店」…食品販売店等</div> <div><div><div>・「食材使い切りレシピ」や「残りものアレンジレシピ」等を紹介するコーナーの設置</div><div>・生鮮食品の「食べ頃」表示</div><div>・少量パック、ばら売り、量り売りなどの充実</div><div>・地産池消コーナーの設置</div><div>・閉店間際の割引販売</div><div>・その他、独自の食品ロス削減の取組み</div></div></div> <div>2 「食べきりの日」の啓発活動（平成27年度～）</div> <div>協力店、応援店に登録している店舗に対し、「おいしいふくい食べきり運動」の啓発活動を重点的に行う「食べきりの日」の設定を依頼し、下記の取組みに協力が得られた店舗が実施</div> <div><div><div>(1) 飲食店（61店舗）</div><div>「食べきりの日」に注文したものをすべて食べきった人にサービスを実施</div><div>【サービス例】</div><div>1 ドリンクサービス、割引券、粗品プレゼントなど</div></div><div><div>(2) 食品販売店（71店舗）</div><div>「食べきりの日」に食べきり運動を啓発</div><div>【啓発活動例】</div><div><div>・1個、グラム単位での販売などの食べきり食材コーナー設置</div><div>・食べきりレシピの設置 など</div></div></div></div>																																				
成果指標や目標とその確認方法	平成23年度から平成26年度まで、登録店舗数に年度ごとの目標を定め、達成状況を確認した。																																				
施策のポイント	店舗への呼びかけは、食品衛生講習会など飲食店が多く集まる機会に実施するとともに、福井県連合婦人会の「食べきり運動推進員」が地元の飲食店を1店舗ずつ訪問して依頼																																				
効果や成果	<div>登録店舗数は以下のとおり増加</div> <table><tr><td>年度</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td></tr><tr><td>協力店</td><td>392</td><td>455</td><td>516</td><td>503</td><td>601</td></tr><tr><td>応援店</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>年度</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr><tr><td>協力店</td><td>694</td><td>832</td><td>940</td><td>1,008</td><td>1,058</td></tr><tr><td>応援店</td><td>85</td><td>126</td><td>150</td><td>161</td><td>161</td></tr></table>	年度	18	19	20	21	22	協力店	392	455	516	503	601	応援店	—	—	—	—	—	年度	23	24	25	26	27	協力店	694	832	940	1,008	1,058	応援店	85	126	150	161	161
年度	18	19	20	21	22																																
協力店	392	455	516	503	601																																
応援店	—	—	—	—	—																																
年度	23	24	25	26	27																																
協力店	694	832	940	1,008	1,058																																
応援店	85	126	150	161	161																																

	年度	28	
	協力店	1,075	
	応援店	164	
関連ホームページ	http://info.pref.fukui.lg.jp/junkan/tabekiri/040_shop_search/map.php		

食品ロス削減のための「施策バンク」 68

施策・事業名称	おいしいふくい食べきり運動 ステッカーデザインおよびキャラクターの愛称の公募			
自治体名	福井県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課 リサイクル運動推進グループ		
	電 話	0776-20-0317 (直通)	メール	junkan@pref.fukui.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	ステッカーデザインの公募 平成23年度 キャラクター愛称の公募 平成24年度			

立案の背景 (ねらい)	<p>・「おいしいふくい食べきり運動」の県民への認知度を高め、運動への積極的な参加を促す。</p> <p>・「食べきり運動協力店」や「食べきり家庭店」の目印となるステッカーを作成し、県民に周知する。</p>
内容	<p>1 ステッカーデザイン公募</p> <p>「食べきり運動協力店」や「食べきり家庭応援店」であることがすぐに分かるようなステッカーのデザインを県民から募集</p> <p>募集期間：平成23年8月16日～9月28日</p> <p>応募資格：県内に在住または通勤・通学者</p> <p>選考方法：審査会において、応募作品の中から最優秀作品を選考 最優秀作品1作品 (10万円相当商品券)</p> <p>2 キャラクター愛称公募</p> <p>県民から募集したステッカーデザインのキャラクターを「食べきり運動キャラクター」とし、その愛称を県民から募集</p> <p>募集期間：平成24年8月6日～9月21日</p> <p>応募資格：県内に在住または通勤・通学者</p> <p>選考方法：審査会において、応募作品の中から決定</p> <p>採用作品の応募者は、1万円相当の副賞を添えて表彰 複数の方から同一の内容で応募があった作品が採用された場合は、抽選により受賞者を1名に決定</p>

成果指標や目標とその確認方法	県内の食のイベント時にアンケートを行い、「おいしいふくい食べきり運動」の県民の認知度を確認
施策のポイント	<p>「おいしいふくい食べきり運動」を県民に広く知ってもらい、愛着のある親しみやすいキャラクターにするため、公募を実施</p> <div data-bbox="493 398 758 660" data-label="Image"> </div> <p>【デザインのポイント】 太陽をモチーフにし、元気で明るいイメージ。楽しくみんなで食事し、すべての料理を食べきって満足してほしいという願いが込められている。</p> <p>【愛称「のっこさん」のポイント】 福井弁風で「残さない」という意味と、キャラクターの太陽 SUN（さん）を組み合わせた。</p>
効果や成果	<p>ステッカーデザインの応募総数 77点 愛称の応募総数 143点</p> <p>「食べきり運動協力店」や「食べきり家庭応援店」に配布するステッカーのみならず、「おいしいふくい食べきり運動」の啓発物にはすべて、「のっこさん」を使用している。</p> <p>また、保育園での啓発活動時には「のっこさん」を用いた、寸劇や紙芝居、読み聞かせ用絵本を使用しており、「おいしい食べきり運動」専属キャラクターとして定着した。</p>
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 69

施策・事業名称	おいしいふくい食べきり運動 食材使い切り、アレンジ料理レシピ募集、料理講習会			
自治体名	福井県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課		
	電 話	0776-20-0317	メール	junkan@pref.fukui.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	<input type="checkbox"/> 家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		<input checked="" type="checkbox"/> 8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	レシピ募集 平成24年度～ 料理講習会 平成25年度			

立案の背景 (ねらい)	日頃から県民のみなさんが、調理くずを減らし、食材を使い切るための実践例や、翌日のアレンジ料理のアイデアをレシピとして紹介し、家庭からの食品ロス削減を図る。
内容	<p>1 食材使い切り、アレンジ料理レシピ募集 食品ロス削減に役立つレシピを県民から募集し、ホームページに掲載</p> <p>(1) 募集内容</p> <p>【食材使い切りレシピ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ調理くずを出さない調理方法 ・野菜等の食材を使い切る調理方法 <p>【アレンジレシピ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ残してしまった料理を新たな食材としてアレンジし、別の料理として活用する方法 <p>(2) 募集期間 常時</p> <p>2 食材使い切り料理講習会 県内で活躍する料理人等から食材使い切りレシピを集め、料理講習会を開催</p> <p>(1) 開催場所 県内7カ所 公民館等の調理実習室</p> <p>(2) 募集人数 各回20名</p> <p>(3) 講師 県生活衛生同業組合加盟の飲食店等のシェフ</p> <p>(4) 実施内容 食材使い切り、余り料理のアレンジでありなが</p>

	<div>ら、おいしく見た目にも華やかでおいしい料理の作り方を実践</div> <div>(5) 参加費 無料</div> <div>(6) その他 講習会で実践した食材使い切りレシピは A6 版レシピちらしとしてスーパーやイベント等で配布しているほか、県のホームページでも紹介 また、レシピサイト「クックパット」の消費者庁のページでも紹介（平成 27 年 2 月から）</div>												
成果指標や目標とその確認方法	<div>2 食材使い切り料理講習会</div> <div>定員を上回る応募があり、152 名が参加</div> <div>参加時および参加後一カ月を経過した時期の 2 回、参加者にアンケートを実施</div>												
施策のポイント	<div>食材使い切り料理でありながら、見た目にも華やかで家族が食べたくなるような、おしゃれな料理を提案し、県民に実践を促す。</div>												
効果や成果	<div>「おいしいふくい食べきり運動」の認知度は年々上昇している。</div> <table><tr><td>年度</td><td>H24 年度</td><td>H25 年度</td><td>H26 年度</td><td>H27 年度</td><td>H28 年度</td></tr><tr><td>認知度</td><td>40%</td><td>51%</td><td>56%</td><td>66%</td><td>71%</td></tr></table>	年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	認知度	40%	51%	56%	66%	71%
年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度								
認知度	40%	51%	56%	66%	71%								
関連ホームページ	<div>http://info.pref.fukui.lg.jp/junkan/tabekiri/060_recipe/</div>												

食品ロス削減のための「施策バンク」 70

施策・事業名称	おいしいふくい食べきり運動 福井県連合婦人会との連携			
自治体名	福井県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課		
	電 話	0776-20-0317	メール	junkan@pref.fukui.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成25年度～			

立案の背景 (ねらい)	行政だけでは行き届かなかった県民一人ひとりへの「おいしいふくい食べきり運動」への声かけを、県内全域に会員がおり、最大の消費者団体である福井県連合婦人会と共動で行う。
内容	<p>福井県連合婦人会に対して、「おいしいふくい食べきり運動」の啓発委託を行い、下記の事業を実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 婦人会会員の中から「食べきり運動推進員」を選出 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 約120名 ・食品ロスの現状や県の新たな取組みについて学習会開催(年2回) 2 地域イベント等でアンケート、グッズ配布、パネル展示を実施し、啓発 3 保育園での食べきり運動学習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・年間50園で食べきり寸劇、紙芝居、食べきり運動のダンスなどを実施 ・ちらし、アンケートを家に持ち帰ってもらい、家族にも啓発 4 食品ロス削減実践モニター調査を実施 <p>食べきり運動の実践や生ごみの水切りの徹底で、どれくらい生ごみが減らせるのかを測定し、結果を婦人会会報等で周知</p> 5 食べきり運動協力店への登録や食べきりサービスの実施依頼 6 商工会議所や企業等を訪問し、宴会時の食べきり実践を依頼 7 全国地域婦人団体連絡協議会等で食べきり運動を全国に発信

成果指標や目標 とその確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・平成２３年度から平成２６年度まで 食べきり運動協力店の増加数 ・平成２７年度から 県内の食のイベント時にアンケートを行い、「おいしいふくい食べきり運動」の県民の認知度を確認 					
施策のポイント	<p>行政だけでは、地域の隅々まで「おいしいふくい食べきり運動」の働きかけを行うことが困難であったため、県内に約 8000 人の会員がいる福井県連合婦人会に組織として、県と共働で取り組んでもらうこととした。</p> <p>各地域の保育園訪問やイベントでの啓発を継続的に行うことができ、かつ、県連合婦人会のみなさんも自発的に活動をしてくれており、運動の認知度が高まった。</p>					
効果や成果	「おいしいふくい食べきり運動」の認知度は年々上昇している。					
	年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	認知度	40%	51%	56%	66%	71%
関連ホームページ						

食品ロス削減のための「施策バンク」 7 1

施策・事業名称	おいしいふくい食べきり運動 ホテルでの食べ残し実態調査とメニュー開発			
自治体名	福井県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課		
	電 話	0776-20-0317	メール	junkan@pref.fukui.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成26年度			

立案の背景 (ねらい)	団体を対象としたホテルでのパーティや宴会での食べ残しを削減するため、食べ残しの現状と課題の分析、食べ残しを減らす「のっこさんメニュー」の公表を行う。
内容	<p>1 ワークショップ開催（3回） (1) 参加者 5ホテルの支配人等、循環社会推進課職員 (2) 内 容 【1回目】ホテルでの食べ残しの現状と食品ロス削減のために実施している工夫について情報交換 【2回目】食べ残し実態調査結果から、食べ残しを減らすためのポイントを整理 【3回目】食べ残しを減らすためのポイントを実践し、再度食べ残し実態調査を実施、その結果を基に「のっこさんメニュー」を考案</p> <p>2 食べ残し実態調査の実施 ホテルの宴会時の食べ残し量とその内容について、食べ残しを減らすためのポイント実践前と、実践後の2回に分けて調査を実施 (1) 実施回数 【実践前】7月～9月に5つのホテルの14の宴会を調査 【実践後】11月～2月に4つのホテルの9の宴会を調査 (2) 調査内容 ・宴会のグループ構成（男女比、年齢、宴会の形式、人数）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・食材全体量 ・食べ残し量 ・どのようなものの食べ残しが多いか <p>(3) 調査結果考察</p> <p>【実践前】残りやすいもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯もの、酢の物、魚類 ・後半に配膳されるもの ・付け合わせの野菜、添え物、刺身のツマ <p>【実践後】工夫した点</p> <p>①料理の構成 ステーキなどの量のあるものを前半に出す</p> <p>②料理の見せ方 大皿で華やかさを出し、個々に取り分け</p> <p>③料理の出し方 会話が中心となるパーティでは一人当たりの量を少なめにした</p> <p>④客の嗜好 締め料理をお客さんとともに決めた (ご飯もの、めん類、量など)</p> <p>⑤食べやすさ 立食では巻きずしやサンドイッチなど手にとりやすいものを入れた</p> <p>⑥注文の取り方、勧め方 接待のための宴会であると、見た目の豪華さと量が求められることが多い</p> <p>3 「のっこさん」メニューの公表</p> <p>ホテルに宴会やパーティの予約をするときには、次の6つのポイントにより、ホテルとよく相談して、みなさんの「のっこさん」メニューを注文するようにお勧めしている。</p> <p>「のっこさん」メニューのポイント</p> <p>① 料理の構成 ② 料理の見せ方 ③ 料理の出し方 ④ お客様の嗜好 ⑤ 食べやすさ ⑥ 注文の取り方、勧め方</p>
成果指標や目標とその確認方法	県内の食のイベント時にアンケートを行い、「おいしいふくい食べきり運動」の県民の認知度を確認
施策のポイント	宴会での食べ残しの実態を調査し、その結果に基づき、各ホテルが具体的な食べきりのためのメニューの工夫を実施
効果や成果	宴会幹事とホテルとのメニューの打合せ時に、ホテル側が「おいしいふくい食べきり運動」に協力している旨を話し、お客様と話し合っ食べ残しが少ないメニューとしている。
関連ホームページ	http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/junkan/tabekiri/tabekirihotel.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 7 2

施策・事業名称	おいしいふくい食べきり運動 地域展開モデル事業			
自治体名	福井県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課		
	電 話	0776-20-0317	メール	junkan@pref.fukui.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成24年度～平成25年度			

立案の背景 (ねらい)	モデル地域を設定し、食べきり運動協力店や食べきり家庭応援店、学校や女性団体等による地域に根差した活動を展開する。		
内容	各市町の担当課が中心となって、婦人会、住民団体、NPO 法人、商工会議所、食品販売店等の代表者による「食べきり運動推進協議会」を立ち上げ、各団体での食品ロス削減のための取組みの情報交換、地域でのキャンペーンを企画・実施した。		
	○福井県あわら市		
	年月日	内容	
	H24 3.26	あわら市食べきり運動推進協議会設立	
	5.29	第2回協議会 事業計画、情報交換	
	6.23	婦人会 食べきり運動勉強会	
	7.9	第3回協議会 子供向けイベントの実施計画	
	8.10	子供向けイベント 食材使い切り料理教室開催 芦原温泉女将の会が「食べきりサービス」実施	
	9.20	婦人会、JA 女性部、エコ市民団体 勉強会の開催	
	10.4	第4回協議会 キャンペーンの実施計画	
	10 月中	学校給食食べきりチャレンジの実施	
	11～12 月	市民文化祭、商工フェスタ、環境展での PR	
	H25 2.7	第5回協議会 各団体の取組報告	

	○福井県鯖江市	
	年月日	内容
	H25 2.21	鯖江市食べきり運動推進協議会設立
	5.8	第2回協議会 事業計画、情報交換
	6～7月	環境フェア、食のイベントでのちらし配布、ブース設置
	8.23	第3回協議会 取組み状況報告、今後の展開
	10～11月	食と健康・福祉フェア、地区文化祭でのブース設置
	H26 1.21	第4回協議会 取組み情報報告 食べきり紙芝居の作成
成果指標や目標とその確認方法	県内の食のイベント時にアンケートを行い、「おいしいふくい食べきり運動」の県民の認知度を確認	
施策のポイント	地域での「おいしい食べきり運動」の中心となって活動する団体に協議会会員になってもらい、団体がそれぞれの取組みを実施することで、当該地域全体での食べきり運動が活発になる。	
効果や成果	芦原温泉女将の会は、あわら市食べきり運動推進協議会での各旅館での食べ残し削減の取組みや各旅館から排出された蟹がらを堆肥として利用しトマトを栽培する“あわら蟹がらプロジェクト”等の取組みが認められ、3R推進協議会会長賞を受賞した。	
関連ホームページ		

食品ロス削減のための「施策バンク」 73

施策・事業名称	食品ロス削減事業			
自治体名	福井県 小浜市			
本件問合せ先	担当課	環境衛生課		
	電 話	0770-64-6016	メー ル	kankyoueisei@city.obama.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
事業実施期間	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			

立案の背景 (ねらい)	食品ロスをなくすことで、ごみの減量及び市民のごみ減量に対する意識の向上を目的とする。
内容	・広報及びホームページに食べきり運動についての情報の掲載。 ・広報1月号(12月25日発行)に新年会5か条を掲載予定
成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 74

施策・事業名称	忘新年会でのおいしい食べきり運動			
自治体名	福井県 大野市			
本件問合せ先	担当課	民生環境部市民生活課 くらし環境グループ		
	電 話	0779-64-4831 (直通)	メール	simin@city.fukui-ono.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1	住民啓発	2	キャンペーン・イベント
	3	食品ロスの実態調査	4	子供への啓発・教育
	5	協力店舗等の登録	6	事業者への働きかけ
	7	消費者団体または住民団体との連携	8	食材使いきり、リメイク料理
	9	その他		
事業実施期間	平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月			

立案の背景 (ねらい)	・忘新年会における食べ残しを減らすため、飲食店・事業所・市職員に対して周知活動を行う。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の宴会を行うことができる飲食店を訪問し、啓発チラシの掲示や利用客への声かけを依頼する。 ・大野商工会議所に会員への周知を依頼し、会報誌「C C I n e w s」へ啓発チラシを折り込んでもらう。 ・市職員に対し、宴会時に食べ残しをしないという意識づけを行うため、庁内ネットワークを通じて活動の周知を行う。(幹事向けの声かけ例などを例示)
成果指標や目標 とその確認方法	・忘新年会シーズン後に、飲食店から食べ残しが減ったかどうか、聞き取り調査を行う。
施策のポイント	飲食店への訪問については、目に付くところにチラシを掲示していただくよう依頼し、利用客への声かけも願います。
効果や成果	
関連ホームページ	https://www.city.ono.fukui.jp/kurashi/kankyo-sumai/gomi-recycle/tabekiri.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 75

施策・事業名称	おいしいふくい食べきり運動			
自治体名	福井県 勝山市			
本件問合せ先	担当課	市民生活部市民課生活環境グループ		
	電 話	0779-88-8104	メール	kankyou@city.katsumaya.lg.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成28年度～			

立案の背景 (ねらい)	「おいしいふくい食べきり運動」の市民への周知。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元高校生ボランティア部と量販店でチラシの配布。 ・広報及びホームページに食べきり運動についての記事を掲載。 ・勝山商工会議所に食べきり運動について協力要請。
成果指標や目標とその確認方法	<p>勝山市食育推進計画に基づき、食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしている市民の割合を90%目標値に活動する。</p> <p>勝山市食育推進会議の中で取り組みの進捗状況の確認、評価を行う。</p>
施策のポイント	食品ロス削減に対する市民の意識を向上させる。
効果や成果	平成28年8月実施の食育アンケート調査より食べ残しや食品の廃棄を減らす努力をしている市民の割合が76%から82%に増加しており、食品ロス削減に対する市民の意識は向上している。
関連ホームページ	http://www.city.katsuyama.fukui.jp/

食品ロス削減のための「施策バンク」 76

施策・事業名称	子どもへの消費者教育推進事業			
自治体名	福井県 勝山市			
本件問合せ先	担当課	市民生活部市民課市民相談室消費者センター		
	電 話	0779－88－8103	メー ル	soudan@city.katsuyama.lg.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成23年度～			

立案の背景 (ねらい)	子ども（幼児、児童等）への食品ロス削減等を含む啓発。
内容	<p>・パネルシアター「エコレンジャー登場」の上演による啓発。 （ゼンブタベルンヤザー、ミズトメルンヤザー、マイバッグモツンヤザーの3人揃ったエコレンジャーが、カンキョウハカイダーを追い出す内容のパネルシアターを独自製作し、上演を行う。）</p> <p>・小学生や中学生、高校生の考えを取り入れた「エコかるた」を作成し、かるた遊びを通した啓発。 （かるた例「ごはんつぶ 一つも残さず ごちそうさん」 「食べ残し 食べ物たちが 泣いている」等）</p>
成果指標や目標とその確認方法	全児童センター等への訪問
施策のポイント	食品ロス削減等に係る幼児期からの消費者教育
効果や成果	好き嫌いによる食べ残しをしないことや食べ物を粗末にしないことなど、意識の向上につながっている。
関連ホームページ	http://www.city.katsuyama.fukui.jp

食品ロス削減のための「施策バンク」 77

施策・事業名称	エコクッキング講習会			
自治体名	福井県 美浜町			
本件問合せ先	担当課	住民環境課		
	電 話	0770-32-6703	メール	
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	H21 年度～（不定期開催）			

立案の背景 (ねらい)	ごみを減らすために一番効果的な『ごみを出さない』ことについて学ぶ場を設けるため。
内容	『美浜環境パートナーシップ会議・もったいないグループ』が『捨てない 残さない もったいない』をモットーに、家庭にある材料で食材を使い切り、ごみを出さないというエコクッキングを学ぶためにエコクッキング講習を実施。
成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	食材を新たに買うことはせずに、参加者自身の家庭にある材料を使って調理する。
効果や成果	普段捨てる部分を生かすことが出来るレシピを学ぶことが出来、参加者の食べきりへの意識を変えることが出来る。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 78

施策・事業名称	おいしく食べきろう！30・10(さんまるいちまる)運動！			
自治体名	山梨県 富士川町			
本件問合せ先	担当課	町民生活課 生活環境担当		
	電 話	0556-22-7209	メー ル	
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年 11 月～			

立案の背景 (ねらい)	・宴会や外食時における食べ残しを減らす為、住民へ声掛けし、周知していく。
内容	<p>以前頂いたチラシを富士川町用にし、各事業所に配布し、掲示等してもらう。 また、町広報誌、町HPに掲載。</p> 
成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	
効果や成果	
関連ホームページ	http://www.town.fujikawa.yamanashi.jp/life/gomi_kankyo/3010unndoudesu.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 79

施策・事業名称	第2次富士河口湖町食育推進計画			
自治体名	山梨県 富士河口湖町			
本件問合せ先	担当課	環境課		
	電 話	0555-72-3169	メール	kankyou@town.fujikawaguchiko.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年4月1日 ～ 平成33年3月31日			

立案の背景 (ねらい)	健康や生ゴミなど、食に関する幅広い問題を改善するための計画です。その一環として食品ロス削減を取り上げています。
内容	<div>①町内保育園へ食品ロス削減に関する紙芝居を配布する</div> <div>②HPにて歓送迎会での「30・10運動」促進を啓発する。</div> <div>③食育関連イベントにて、ブースを設け食品ロスに関する説明を行い、来場者へ周知を行う。</div>
成果指標や目標とその確認方法	<div>①すべての保育園に配布する。</div> <div>②HP閲覧数を確認する。町民×5%を目標とする。</div>
施策のポイント	興味を持って聞いてもらいにくいと思いますので、紙芝居など積極的に聞いてもらえる内容にします。
効果や成果	
関連ホームページ	http://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/ka/info.php?if_id=4063&ka_id=16 (富士河口湖町公式HP内)

食品ロス削減のための「施策バンク」 80


施策・事業名称	「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」 残さず食べよう！30・10運動			
自治体名	長野県			
本件問合せ先	担当課	環境部 資源循環推進課 資源化推進係		
	電 話	026-235-7181(直通)	メール	junkan@pref.nagano.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	「宴会たべきりキャンペーン」 平成23年7月～ 「残さず食べよう！30・10運動」へ改称 平成28年10月21日～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの排出抑制、食品ロス削減 ・宴会や宿泊施設での食べ残しが多いことから、それに対する対策として宴会でのたべきりを呼び掛け
内容	<p>・平成23年7月から、宴会において料理の食べ残しを出さないよう呼びかける「宴会たべきりキャンペーン」として、年間を通し、呼びかけ例を掲載した幹事向けのチラシ（たべきり応援幹事心得）を作成し、市町村や協力店と連携し啓発を行ってきた。</p> <p>重点周知期間は、夏7～9月、冬12～1月。</p> <p>・平成28年10月からは、松本市が平成23年5月から実施してきた運動の名称が分かり易く、県内外に浸透しつつあることから、キャンペーンの名称を「残さず食べよう！30・10運動」と変更し、引き続き、チラシ等により年間を通し啓発を行う。</p> <p>なお、宴会の多くなる期間（夏7～9月、冬12～1月）を「宴会たべきりキャンペーン」として、引き続き、重点的な周知に取り組む。</p> <p>1 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般県民 ・「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」協力店 ・飲食店・宿泊施設事業者、経済団体等 <p>2 広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力店を中心に、飲食店等にチラシを配置、呼び掛け ・市町村広報誌への掲載 ・街頭啓発 ・職員への呼び掛け

成果指標や目標 とその確認方法	・特になし
施策のポイント	<p>・協力店募集は、（一社）長野県食品衛生協会や旅館・ホテル組合会など、飲食店等が多く加盟している団体を通じて行っているほか、市町村と連携し、募集の際には、食品ロス削減の周知も含めて広く啓発を行っている。</p> <p>・松本市で実施している「残さず食べよう！推進店」登録制度とも連携を図っている。</p>
効果や成果	・市町村広報誌、経済団体の会員向け冊子、飲食店を掲載するフリーペーパーなどに、呼び掛けのチラシを広く掲載いただけるようになり、事業は県内に浸透しつつある。
関連ホームページ	http://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/kenminundo/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 8 1

施策・事業名称	「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」 協力店の登録			
自治体名	長野県			
本件問合せ先	担当課	環境部 資源循環推進課 資源化推進係		
	電 話	026-235-7181(直通)	メール	junkan@pref.nagano.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	「食べ残しを減らそう県民運動」協力店募集 平成 22 年 6 月～ 「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」へ改称し、 協力店登録対象の範囲拡大 平成 28 年 2 月～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの排出抑制 ・宴会や宿泊施設での食べ残しが多いことから、それに対する対策として「協力店」制度を創設し、飲食店や宿泊施設での取り組みを広げ、協力店を通して啓発 ・家庭での食品ロスを減らすため、協力店に小売店を追加し、食品ロスを出さない取り組みを拡大
内容	<p>食品ロス削減の取り組みに御協力いただける店舗を登録し、それぞれの取り組みについて県公式ホームページに掲載するとともに、協力店ステッカーやポスターを店舗のわかりやすいところへ掲示していただく。</p> <div style="text-align: center;">  <p>協力店ステッカー</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 対象事業者 <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店・宿泊業（平成22年 6 月 1 日から） ・各種商品小売業又は飲食料品小売業（平成28年 2 月 1 日から） 登録要件 <ul style="list-style-type: none"> ・協力店は取組項目を 1 つ以上実践し、ステッカー等を掲示し来店者へ啓発を行う。

	<p>【協力店取組項目の例】</p> <div><p>飲食店・宿泊業</p><p>「小盛メニュー等の導入」、「持ち帰り希望者への対応」、 「食品ロスを減らすための呼びかけ実践」、「前記以外の食品ロス削減につながる取組」等</p></div> <div><p>各種商品小売業又は飲食料品小売業</p><p>「ばら売り、量り売り等による食料品の提供」「割引販売による消費期限間近な食料品の提供」「食品ロスを減らすための呼びかけ実践」、「前記以外の食品ロス削減につながる取組」等</p></div> <p>3 協力店との連携</p> <ul style="list-style-type: none">・協力店ステッカーなどを、協力店のチラシ等に掲載し、県の事業に協力していることをPRできるようにした。・飲食店・宿泊施設には、年2回（6月、11月）の宴会が多くなるシーズン前に、たべきりを呼び掛けていただくよう、啓発チラシを送付している。																																																		
成果指標や目標とその確認方法	<ul style="list-style-type: none">・長野県廃棄物処理計画第3期（平成23年度から平成27年度）及び第4期（平成28年度から平成32年度）において、登録店舗数を目標に設定し、計画年度終了後に確認。																																																		
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none">・協力店募集は、（一社）長野県食品衛生協会や旅館・ホテル組合会など、飲食店等が多く加盟している団体を通じて行っているほか、市町村と連携し、募集の際には、食品ロス削減の周知も含めて広く啓発を行っている。・松本市で実施している「残さず食べよう！推進店」登録制度とも連携を図っている。																																																		
効果や成果	<p>登録店舗数は以下のとおり増加</p> <table><tr><th>年度</th><th>21</th><th>22</th><th>23</th><th>24</th><th>25</th><th>26</th><th>27</th><th>28</th><th>29.8月</th></tr><tr><td>登録数</td><td>12</td><td>148</td><td>252</td><td>273</td><td>279</td><td>289</td><td>440</td><td>617</td><td>672</td></tr><tr><td>（内訳）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>飲食・宿泊</td><td>12</td><td>148</td><td>252</td><td>273</td><td>279</td><td>289</td><td>405</td><td>521</td><td>576</td></tr><tr><td>小売店</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>35</td><td>96</td><td>96</td></tr></table> <p>*平成21年度は、県内一部地域を対象都市モデル事業実施 *平成28年2月から、小売業を協力店登録対象とした。</p>	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29.8月	登録数	12	148	252	273	279	289	440	617	672	（内訳）										飲食・宿泊	12	148	252	273	279	289	405	521	576	小売店	-	-	-	-	-	-	35	96	96
年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29.8月																																										
登録数	12	148	252	273	279	289	440	617	672																																										
（内訳）																																																			
飲食・宿泊	12	148	252	273	279	289	405	521	576																																										
小売店	-	-	-	-	-	-	35	96	96																																										
関連ホームページ	<p>http://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/kenminundo/index.html</p>																																																		

食品ロス削減のための「施策バンク」 82



施策・事業名称	「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」 環境教育教材の制作			
自治体名	長野県			
本件問合せ先	担当課	環境部 資源循環推進課 資源化推進係		
	電 話	026-235-7181(直通)	メール	junkan@pref.nagano.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	4 子供への啓発・教育	
	3 食品ロスの実態調査		6 事業者への働きかけ	
	5 協力店舗等の登録		8 食材使いきり、リメイク料理	
	7 消費者団体または住民団体との連携			
	9 その他			
事業実施期間	平成 27 年度 「きゅうしょくだいすき」(小学校低学年用・電子紙芝居) 平成 28 年度 「食品ロスってなに？」(小学校高学年用・パワーポイント)			

立案の背景 (ねらい)	身近な食への大切さを通じ、年少期から食品ロスを通じたごみ問題に関心を寄せてもらい、ごみを身近な問題として捉え、ごみ減量の行動へと繋げる。
内容	<p>【平成 27 年度「きゅうしょくだいすき」】(映像時間 2 分 30 秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年用 ・制作意図 小学校 1・2 年生を対象に、身近な給食を題材として「食への感謝」「食の大切さ」「食べ残しはもったいない」の気持ちを育んでもらうために制作 ・制作協力者 清泉女学院大学人間学部現代コミュニケーションコース 山貝ゼミ 山貝征典専任講師、学生 5 名 長野県学校保健会 栄養教諭・学校栄養職員部会 ・長野県内全小学校、特別支援学校等へ配付 <p>【平成 28 年度「食品ロスってなに？」】(パワーポイント 12 枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年用 ・制作意図 長野県のごみ排出量の現状、食品ロス、食の循環と 3R への理解を促す

	<ul style="list-style-type: none"> ・制作協力者 長野県松本市環境部、 長野県教育委員会事務局 教学指導課、保健厚生課 ・イラスト：岡学園トータルデザインアカデミー ・長野県内全小学校、特別支援学校等へ配付
成果指標や目標 とその確認方法	特になし
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校校長会等に制作について説明。 ・教育委員会等、実際に活用いただく現場の教員の意見を取り入れ制作。 ・環境教育に実績のある松本市にも制作に協力いただいた。
効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・活用については、今後、働きかけていく。
関連ホームページ	http://www.pref.nagano.lg.jp/haikibut/kurashi/recycling/shigen/kenminundo/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 83


施策・事業名称	フードドライブ（主催・共催分）			
自治体名	長野県 長野市			
本件問合せ先	担当課	環境部生活環境課		
	電 話	026-224-5035	メール	seikatukankyo@city.nagano.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他（NPO との連携）			
事業実施期間	不定期開催（市主催イベント、NPO 主催事業）			

立案の背景 (ねらい)	食品廃棄物の減量と食料を必要としている人への支援の二つの目的があり、この活動を行う団体を市が積極的に支援しています。		
内容	<p>【H28 年度実績】</p> <p>主催または共催した「フードドライブ」年間 10 回、1,331.5 kg（庁内職員対象、NPO 共催、市主催イベント）</p> <p>【H29 年度予定】</p> <p>「フードドライブ」年間 5 回程度予定（信州こども食堂・ライオンズクラブ等共催、市主催イベント）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
成果指標や目標とその確認方法	<p>【成果指標】 寄贈個数、重量</p> <p>【確認方法】 集計</p>		

施策のポイント	「信州こども食堂ネットワーク協議会」、「NPO 法人フードバンク信州」、「長野中央ライオンズクラブ」等との相互協力により実施している。
効果や成果	環境部局と福祉系 NPO が相互協力することで、「食品廃棄物の減量」と「福祉の充実」という互いの異なる目的の達成に向けて、長所を生かして役割分担し、互いに成果を得ることができる。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 84

施策・事業名称	30・10運動			
自治体名	長野県 長野市			
本件問合せ先	担当課	環境部生活環境課		
	電 話	026-224-5035	メール	seikatukankyo@city.nagano.lg.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他(商工会議所との協力)			
事業実施期間	宴会シーズン始まり時期 (7月、12月)			

立案の背景 (ねらい)	「30・10運動」を広く市民へ呼びかけるため、街頭啓発を行っています。
内容	<p>【H28 年度実績】</p> <p>■街頭啓発 1 回</p> <p>■市作成啓発情報紙掲載全戸配布 1 回 (2 月)</p> <p>【H29 年度実績・予定】</p> <p>■街頭啓発 2 回 (7 月、12 月)</p> <p>J R 長野駅前で実施。長野市、長野県、長野商工会議所による共催。</p> <p>のぼり旗、チラシ・ポケットティッシュ配布</p> 
成果指標や目標 とその確認方法	<p>【成果指標】 設定していない。</p> <p>【確認方法】 設定していない。</p>

施策のポイント	「長野県」、「長野商工会議所」との共催により実施している。
効果や成果	街頭啓発の効果測定が課題。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 85

施策・事業名称	食品ロス削減講演会			
自治体名	長野県 長野市			
本件問合せ先	担当課	環境部生活環境課		
	電 話	026-224-5035	メール	seikatukankyo@city.nagano.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	H29 年 6 月			

立案の背景 (ねらい)	「食品ロス削減」を広く市民へ呼びかけるため、講演会を行っています。
内容	<p>【H29 年度実績】 日時：平成 29 年 6 月 22 日（木）10:00～12:00 場所：長野市吉田公民館 主催：長野市 企画運営(受託者)：NPO法人みどりの市民 演題：「食べ物を無駄（ロス）にしていますか？」 講師：井出留美 氏 参加者：市民約 100 名</p> 

成果指標や目標 とその確認方法	<p>【成果指標】設定していない。</p> <p>【確認方法】設定していない。</p>
施策のポイント	食品ロスに関する多くの知識を有する講師を招聘して講演を行い、広く市民に現状を知ってもらい、意識啓発を図った。
効果や成果	事前に多くの団体、個人へ開催案内をしたことが功を奏し、確保した会場は満席であった。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 86

施策・事業名称	出前講座（地域等）			
自治体名	長野県 長野市			
本件問合せ先	担当課	環境部生活環境課		
	電 話	026-224-5035	メール	seikatukankyo@city.nagano.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	随時			

立案の背景 (ねらい)	<p>広く市民へ「食品ロス削減」「ごみ減量」を呼びかける啓発事業として出前講座を行っています。</p>
内容	<p>【H29 年度実績】</p> <p>1 日時 平成 29 年 9 月 9 日（土） 午前 10 時 00 分～11 時 30 分</p> <p>2 場所 川中島公民館</p> <p>3 参加者 川中島地区の住民、住民自治協議会環境部会役員 90 名</p> <p>4 内容 講座「食品ロス削減と生ごみ減量に向けて」</p> 

成果指標や目標 とその確認方法	【成果指標】設定していない。 【確認方法】設定していない。
施策のポイント	市民に市内のごみ処理量の現状と食品ロスを知ってもらい、家庭で できる生ごみ減量の方法を説明した。
効果や成果	会場アンケート結果では、「わかりやすかった、理解できた」の旨の 回答が多かった。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 87

施策・事業名称	環境学習講座（小学校、保育園）			
自治体名	長野県 長野市			
本件問合せ先	担当課	環境部生活環境課		
	電 話	026-224-5035	メール	seikatukankyo@city.nagano.lg.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	随時			

立案の背景 (ねらい)	子どもへの環境教育の一環として環境学習講座を行っています。
内容	<p>■保育園児向け環境教育メニュー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>食べ残しを無くそう♪</p> <p>長野県（環境部資源循環推進課）が「食べ残しを減らそう～e-プロジェクト～」で作成した啓発用教材（DVD・ppt）を使って理解を深めます。</p>  <p>DVD：低学年向け、ppt：高学年向け【10～40分】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>ごみを減らそう！</p> <p>ごみとは何か？ごみの分別は？リサイクルとは？等、長野市が作成した「ごみを減らす「技」あります」（ppt）を使って理解を深めます。分別クイズもご用意しています。</p>  <p>分別クイズの難易度の調整も可能です。【15～35分】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p>ごみ収集車の仕組み</p> <p>長野市委託清掃事業協働組合のオレンジバックカーを見て、車両の仕組みや動き及び役割を知ってもらいます。運転席乗車体験等も可能です。</p>  <p>実際にごみを巻き込む実演も可能です。【30分】</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>生ごみ堆肥を活用しよう</p> <p>長野市生ごみ減量アドバイザーが演じるパネルシアターで、生ごみの堆肥化といのちの循環を学びます。段ボール箱を使った生ごみの堆肥化の実践も可能です。</p>  <p>生ごみが花や野菜を育てる堆肥に！【10～50分】</p> </div> </div>

	<p>【H29 年度実績】</p> <p>1 日時 平成 29 年 8 月 29 日（火）午前 9 時 20 分～10 時 30 分</p> <p>2 場所 綿内小学校</p> <p>3 参加者 4 年生 32 人、担任 2 名、計 34 名</p> <p>4 内容 ○廃棄物収集運搬車両の仕組み見学・試乗 ○パワーポイント「ごみの分別と減量・リサイクル」</p>
成果指標や目標 とその確認方法	<p>【成果指標】設定していない。</p> <p>【確認方法】設定していない。</p>
施策のポイント	<p>依頼元の小学校、保育園の要望により、内容、時間などを柔軟に対応している。長野市環境学習イメージキャラクター「えこねこ」の着ぐるみも P R している。</p>
効果や成果	<p>実施した小学校、保育園からは好評で、絵日記を本課へ送っていただいた保育園もある。</p>
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 88

施策・事業名称	残さず食べよう！30・10（さんまるいちまる）運動 園児（小学生）を対象とした参加型環境教育 「残さず食べよう！」推進店・事業所認定制度 食品ロス調査等		
自治体名	長野県 松本市		
本件問合せ先	担当課	環境政策課 環境政策担当	
	電 話	0263-34-3268（直通）	メール s-kankyo@city.matsumoto.nagano.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他（フードドライブへの協力）		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理
事業実施期間	「残さず食べよう！30・10運動」 平成23年5月～ 園児を対象とした参加型環境教育 平成24年度～ 食品ロス調査 平成25年度 家庭版「30・10運動」 平成26年度～ 小学生を対象とした環境教育 平成27年度～ （平成27年度は環境省「学校給食の実施に伴い発生する廃棄物の3R促進モデル事業」に採択されモデル的に実施） 「残さず食べよう！」推進店・事業所認定制度 平成28年7月～		

立案の背景 （ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会や会合における食べ残しを減らすため、「残さず食べよう！30・10運動」を知ってもらうとともに、実践を促す。 ・家庭での食品ロスを減らすため、感受性の豊かな子どもたちの意識変化や家庭での取組みを促す。 ・飲食店等の食品ロス削減のため、飲食店等（料理を提供する側）と事業所（料理をいただく側）の意識高揚や取組の促進を図る。 ・食品ロスの現状や市民の意識について把握する。
内容	1 周知・啓発 (1) 啓発品の作成及び配布 「残さず食べよう！30・10運動」を多くの方に知ってもらうため、ポケットティッシュ、コースター、ポスターなどを作成し、飲食店やイベント、30・10運動を実践していただく方などに配布


	<p>(2) パネル展示 各種イベントや市庁舎においてパネルを展示</p> <p>(3) 街頭キャンペーン 忘新年会などの宴会の多くなる時季を「残さず食べよう！ 30・10運動」重点推進期間として駅などで啓発品を配布</p> <p>(4) 家庭版「残さず食べよう！ 30・10運動」 毎月30日 冷蔵庫クリーンアップデー 毎月10日 もったいないクッキングデー</p> <p>2 園児を対象とした参加型環境教育</p> <p>(1) 対象 年長児童</p> <p>(2) テーマ 「ごみの分別と食べ残し」</p> <p>(3) 時間 30分程度</p> <p>(4) 内容 ア パワーポイントを使ったクイズと説明 「捨てたものはどうなる？」 「食べ残したものはどうなる？」 イ 実際に分別してみよう ウ 踊ってみよう</p> <p>(5) 講師 松本市環境政策課職員</p> <p>(6) 実施日 毎年6月から12月の間で、園の都合の良い日を数日教えてもらったうえで担当課で調整。その後連絡を取り合い、担当課職員が園に訪問して講座を実施。</p> <p>(7) その他 ア 子ども用エコバッグの配付 環境教育終了後、リサイクルと食べ物の大切さを身近に捉えてもらうため、年長児のご家庭に、ペットボトルをリサイクルして作られた子ども用エコバッグを配付。(H29は啓発品が変更になる可能性あり) イ アンケート調査 環境教育実施後、1～2か月後に、年長児の世帯を対象にアンケート調査を実施 ウ 実施にあたって、可能な場合は保護者の参加をお願いしている。(保育参観日に実施するなど。) エ 環境教育に必要なスクリーン、プロジェクター、パソコン等の器材は担当課職員が持参</p> <p>3 小学生を対象とした環境教育</p> <p>(1) 対象 小学3年生(H27のモデル事業で効果が高かったため)</p> <p>(2) テーマ 「食べものを捨ててしまうなんて“もったいない”」</p> <p>(3) 時間 1時限(45分) 学年毎実施</p> <p>(4) 内容 ア パワーポイントを使ったクイズや説明(約30分) イ 感想やできることなどを記入(約10分) ウ 発表(約5分)</p> <p>(5) 講師 松本市環境政策課職員</p> <p>(6) 実施日 学校の都合の良い日を聞き取り調整</p> <p>(7) その他</p>
--	---

	<p>ア 冊子配布 講座の振り返りと家庭への周知を図るため冊子を配布</p> <p>イ アンケート調査 環境教育実施後１～２か月後にアンケート調査を実施</p> <p>ウ 器材 環境教育に必要なスクリーン、プロジェクター、パソコン等の器材は担当課職員が持参</p> <p>4 食品ロス調査</p> <p>(1) 組成調査</p> <p>ア 実施時期 平成２５年９月～１０月(４日間)、１２月(３日間)の２回</p> <p>イ 実施対象 個別回収：３０戸(公募、アンケート調査も併せて実施) ごみステーション回収：７０戸(郊外農村型、郊外住宅型、市街地住宅型の３地区から回収)</p> <p>ウ 調査項目 ①調理くず(不可食部、過剰除去の割合)、②食べ残し、③手付かず食品(消費期限、賞味期限等の割合、程度)、④食品外の生ごみ の各重量及び生ごみに占める割合 等</p> <p>(2) 意識変化調査</p> <p>ア 対象 無作為抽出した２０歳以上１，０００人にアンケート調査</p> <p>イ 方法 (ア) アンケートと一緒にパンフレット及び啓発グッズを送付 (イ) パンフレットを読まないとは回答できない設問にすることで、食品ロス削減に係る動機付けを実施 (ウ) ２回目のアンケートを配布</p> <p>5 「残さず食べよう！」推進店・事業所認定制度</p> <p>(1) 登録要件(次のいずれかに協力)</p> <p>ア 「残さず食べよう！」推進店(料理を提供する側) (ア) 残さず食べよう！３０・１０運動の周知又は啓発 (イ) プラチナメニューの提供 (ウ) 食べ残しの持ち帰りへの対応 (エ) 小盛りメニューの提供 (オ) その他食品ロス削減に資する取組み</p> <p>イ 「残さず食べよう！」推進事業所(料理をいただく側) (ア) 残さず食べよう！３０・１０運動の実践 (イ) 残さず食べよう！３０・１０運動又は食品ロスに関することについての事業所内における周知又は啓発 (ウ) 残さず食べよう！３０・１０運動の実践又は食品ロス削減に関する取組みについての事業所外への広報 (エ) その他食品ロス削減に資する取組み</p> <p>(2) 周知方法 ホームページ、広報、商工会議所会報など</p>
成果指標や目標とその確認方法	<p>食品ロスの量的な指標の設定は難しい。</p> <p>園児(小学生)を対象とした環境教育においては、アンケート調査により、子どもや保護者に意識等変化があったかを測っている。</p>

	「残さず食べよう！」推進店・事業所認定制度については、H28年度から開始したが、アンケート等により進捗管理をしていく予定。
施策のポイント	<p>環境教育では、職員が主体的に行い、現場の園や学校になるべく手間をかけない。</p> <p>食品ロスに対して共感してくれる方は多いので、いかに行動につなげるかが重要だと感じている。</p>
効果や成果	<p>周知啓発が主な事業であるため効果や成果が見えにくい。</p> <p>環境教育の実施に伴い、子どもや保護者の意識変化等はある。</p>
関連ホームページ	http://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/syokuhin_loss/syokuhin_loss.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 89

施策・事業名称	「残さず食べよう！３０・１０運動」		
自治体名	長野県　上田市		
本件問合せ先	担当課	生活環境部生活環境課	
	電　話	0268-23-5120	メー ル seikan@city.ueda.nagano.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	1　住民啓発	2　キャンペーン・イベント	
	3　食品ロスの実態調査	4　子供への啓発・教育	
	5　協力店舗等の登録	6　事業者への働きかけ	
	7　消費者団体または住民団 体との連携	8　食材使いきり、リメイク料理	
	9　その他		
事業実施期間	平成 28 年 7 月～		

立案の背景 (ねらい)	・可燃ごみ（生ごみ）の削減、食品ロスの削減
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減を周知するため「残さず食べよう！30・10運動」のポスター、チラシ等の啓発グッズを市内の大学と連携し作成している。 ・市の広報誌や、インターネット動画配信を用いて周知・啓発活動を行っている。
成果指標や目標とその確認方法	・特になし（本施策だけによる削減効果を図る指標設定が難しい。）
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスの量が多いという事を知ってもらうこと。 ・「残さず食べよう！30・10運動」そのものを知ってもらうこと。 ・取組そのものが簡単に出来ることを知ってもらうこと。
効果や成果	・「残さず食べよう！30・10運動」の浸透が進んできている。
関連ホームページ	<p>①上田市ホームページ「食品ロス削減について」 http://www.city.ueda.nagano.jp/junkan/3010.html</p> <p>②上田市行政チャンネル「『おいしい食べきり』全国キャンペーン」</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>https://youtu.be/o-69EJ8LAZY</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 90

施策・事業名称	広報紙へ啓発記事の掲載			
自治体名	長野県 軽井沢町			
本件問合せ先	担当課	環境課 衛生係		
	電 話	0267-45-8556	メール	kankyo@town.karuizawa.nagano.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成22年度より			

立案の背景 (ねらい)	・家庭の食品ロスを減らすため、広報紙を通じて問題と改善策について周知する。
内容	当町の広報紙である広報かるいざわにおいて、夏場の繁忙期や宴会シーズンを中心に長野県の「食べ残しを減らそう県民運動～e プロジェクト～」や「30・10運動」に関する記事を掲載し、食品ロス削減について、住民へ啓発を行っている。
成果指標や目標とその確認方法	住民ひとりひとりが食品ロス削減に関心を持っていただき、削減への取組を促進し、各家庭で取組を行っていただくことで、ごみの減量化対策へも繋げる。
施策のポイント	食品ロスが身近な問題であることを町民に実感してもらい、何ができるかを考えていただく、きっかけに繋がるような内容の記事を掲載する。
効果や成果	食品ロスに関する問題を知ってもらい、食べ残しや食材の買い過ぎを減らそうという意識が町民の間で浸透してきたこと。
関連ホームページ	http://www.town.karuizawa.lg.jp/www/contents/1489454723859/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 9 1

施策・事業名称	飲食店への食品ロス啓発活動			
自治体名	長野県 軽井沢町			
本件問合せ先	担当課	環境課 衛生係		
	電 話	0267-45-8556	メール	kankyo@town.karuizawa.nagano.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成22年度より			

立案の背景 (ねらい)	飲食店に食品ロス対策の重要性を理解してもらい、排出される残食や消費期限切れの食材の削減など食品ロスの削減を推進する。
内容	食品衛生協会の会合や食品衛生講習会、飲食店組合の会合などに出向き、啓発チラシを配布し、食品ロス対策の取組について、協力店舗への登録について説明を行っている。
成果指標や目標とその確認方法	食品・飲食関連事業所より排出される可燃ごみの減量、協力店の登録店舗数の増加を目標とし、ごみの排出量、登録店舗数にて確認を行う。
施策のポイント	食品ロスの重要性を事業者に実感してもらい、食品ロス対策に取り組んでもらうことで、メリットが多いことを説明する。
効果や成果	事業所も、食品ロス対策が重要であることが浸透してきており、説明を会合でしてもらいたい旨の申出を受けるようになった。
関連ホームページ	http://www.town.karuizawa.lg.jp/www/contents/1489454723859/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 92

施策・事業名称	3・3プロジェクト　3キリと3Rクッキングで生ごみを減らそう			
自治体名	岐阜県　岐阜市			
本件問合せ先	担当課	循環型社会推進課		
	電　話	058(214)2178	メール	junkan@city.gifu.gifu.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1　住民啓発 3　食品ロスの実態調査 5　協力店舗等の登録 7　消費者団体または住民団 体との連携 9　その他		2　キャンペーン・イベント 4　子供への啓発・教育 6　事業者への働きかけ 8　食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年4月～（プロジェクトとして開始した時期）			

立案の背景 (ねらい)	家庭から排出される生ごみの削減、宴会時の料理の食べ残し削減
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3Rクッキングの推奨 ・3キリ行動（使いキリ、食べキリ、水キリ）の推進 ・どうしても残ってしまった生ごみの、ダンボールコンポストを使った堆肥化の推進 ・上記の行動の啓発パンフレット作成と、市内全世帯への配布

2 限目 柴田先生のベジブロスって知ってる? 講座

ベジブロスとは…
Vegetable (野菜) + Broth (ダシ)
つまり、野菜のダシのこと。
普段は捨ててしまう野菜のヘタや種、皮などの野菜くず100～200gを1Lの水で
鍋へ～中火で30分程度煮込みます。
皮や葉の部分は、味や香り、栄養がたっぷり。
安全・安心な野菜を選び、れんごを使いましょう。

ベジブロスの効果

- ① 野菜を丸ごと使うことができます。
- ② 野菜の栄養分をスープとしてとることができます。
- ③ 野菜類のくずなどたちも、無駄なく栄養分を取ることができます。
- ④ ベジブロスを使用することにより、野菜のうまみを感じることができ、塩分が少なく済みます。

どうしても残ってしまったものはコンポストへ。安価で手軽に始めることができます。

3・3プロジェクト 番外編 ダンボールコンポスト
3ヵ月分の生ごみ食べちゃった!!

ニオイも
少ないよ
臭も
聞えないよ

ダンボールコンポストって
どんな仕組みになっているのかな?

★防水加工のしていないダンボール箱を使うことで、
生ごみの余分な水分が自然に蒸発していくよ!
★微生物の働きで生ごみが分解されて堆肥になるよ!

岐阜市では、「ダンボールコンポスト講座」を開催しています。
初回は、テキスト1冊とダンボールコンポストセット1セットを、無料で貸し出し!
詳しくは、毎月1日号の広報ぎふにてご案内しています。参加希望の場合は、申し込みが必要です!
お問い合わせ先: 岐阜市役所 自然共生部 循環型社会推進課 (岐阜市神田町1-11)
電話: (058) 214-2178 (直通) E-mail: junkan@city.gifu.gifu.jp

平成28年3月 初版

食べ物を生ごみにしたくない3・3プロジェクト始めるぞよ!!

**3キリと3Rクッキングで
生ごみを減らそう!**

生ごみ減量の
キーワード **3キリ** ってなあに?

生ごみを減らす3つのワザのことじゃ!

食材は **使いキリ** 出された料理は **食べキリ** 生ごみを出すときは **水キリ**

なぜ、「使いキリ」、「食べキリ」なの?

岐阜市は、ごみ焼却量を1/3以上削減する
「ごみ1/3減量大作戦市民運動」に取り組んでいます。

平成26年度 家庭系系ごみ
総排出量 40,597トン

市内の家庭系系ごみの約27%は
生ごみとして捨てられています。
そのうち、約4割は、食べ残しなどの
「食品ロス」だと推計しています。

「使いキリ」「食べキリ」で食品ロスを減らせば、ごみ焼却量を減らすことができます。

食品ロスとは食べずに捨てられる食品
日本では、年間約1,700万トンの食品廃棄物が排出され、
このうち、食べずに捨てられている食品ロス量は約900万
トン＝800万トンと推計されています。
これは、米の年間収穫量に匹敵する量です。
(農林水産省資料より)

食品ロスの半分は家庭から出ている
【食品ロス】の内、約半分は、家
庭から出ている。
これは、一人一日当たり100g程
削減すると、ごみ減量に大きく
貢献します。
※消費額1kgあたり150グラムと推定
※排出量削減率10%と推定

なぜ、「水キリ」なの?

台所から出る生ごみには、水分が約80%含まれています。水分が多いと焼却する時に時間や費用が多く
かかります。生ごみを出す前に「ギュッとひとしぼり（水キリ）」するだけで、約10%の減量ができます。
市内の全世帯が水キリすると、毎年約2,000トンの減量になります。



成果指標や目標とその確認方法	3 R クッキング講座、ダンボールコンポスト講座の参加者数やそのアンケートからの意見
施策のポイント	より多くの市民に生ごみの減量に関心を持ってもらうため、ごみの減量に効果的で、手軽に取り組むことのできる手法を紹介する。
効果や成果	講座参加者が増加。 参加者アンケート等から、取り組みやすい、継続していきたい等肯定的な意見が多く寄せられている。
関連ホームページ	http://www.city.gifu.lg.jp/28052.htm http://www.city.gifu.lg.jp/14548.htm http://www.city.gifu.lg.jp/14274.htm

食品ロス削減のための「施策バンク」 9 3

施策・事業名称	3・3プロジェクト 岐阜市食べキリ協力店			
自治体名	岐阜県 岐阜市			
本件問合せ先	担当課	循環型社会推進課		
	電 話	058(214)2178	メール	junkan@city.gifu.gifu.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年2月15日～（募集を開始した時期）			

立案の背景 (ねらい)	飲食店等で出される料理の食べ残し削減により、事業所から排出される生ごみの減量を進める。
内容	<p>・料理の食べ残し削減に取り組む飲食店等を募集・登録し、紹介することにより、市民の皆さんが率先して登録店を利用することでごみの減量を進める。</p> <p>・登録店にはポスター、登録証を渡し、店内への掲示を依頼する。</p> <div data-bbox="635 1366 1145 2085" data-label="Image"> </div>

ポスター

成果指標や目標 とその確認方法	今後４年間で１５０店舗の登録を目指す。減量の確認方法は未定。
施策のポイント	事業所のごみ減量意識を高めるとともに、市民の皆さんの食べ残しの削減意識の高揚につなげる。
効果や成果	市が料理の食べ残し削減に取り組む飲食店を登録してＰＲすることで、市民の皆さんが率先して登録店を利用しようとする基準として捉えられるようになる。
関連ホームページ	http://www.city.gifu.lg.jp/28827.htm

食品ロス削減のための「施策バンク」 94

施策・事業名称	ふじのくに食べきりプロジェクト			
自治体名	静岡県			
本件問合せ先	担当課	くらし・環境部環境局廃棄物リサイクル課		
	電 話	054-221-3349（直通）	メー ル	hai@pref.shizuoka.lg.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年度から			

立案の背景 (ねらい)	第3次静岡県循環型社会形成計画では、衣・食・住の分野でのごみ削減に重点的に取り組んでいるが、まずは県民が日常的に関わる「食」に着目し、県民の食品ロスに関する意識の高揚を図り、食品廃棄物の削減を進める。		
内容	<平成29年度の実施内容> ○ふじのくに食べきりやったね！キャンペーン		
	事業区分	キャンペーン（H28 から継続）	
	ターゲット	外食店を利用する県民	
	実施項目	食べきり割	ごちそうさま！ フォトコンテスト
	期間	7/17～1/31	夏期（7/17～8/31） 冬期（12/1～1/31）
	内容	①協力店（居酒屋）で食べきりを宣言 ②食べきったら、協力店独自のサービス（割引など）付与	①協力店（全店）で食べきり ②食べきった写真の特設サイトに投稿 ③抽選でプレゼント
	協力店数	100 店舗（9/20 時点）	382 店舗（9/20 時点）
	広報・PR	・各種広報誌（市町広報誌、地域情報誌、業界団体広報誌など） ・facebook 専用ページの開設と facebook 広告 ・電子広告 ・オープニングイベントの実施	

	<p>○ふじのくに食べきりやったね！チャレンジ</p> <table border="1"> <tr> <td>事業区分</td><td>チャレンジ (H29 新規)</td></tr> <tr> <td>ターゲット</td><td>家庭（県内全小学生及び保護者）</td></tr> <tr> <td>実施項目</td><td>食べきりやったね！チャレンジ</td></tr> <tr> <td>期間</td><td>夏休み</td></tr> <tr> <td>内容</td><td> ①県内全児童に啓発教材を配布 ②家庭を巻き込んだ食べきりの実践 ③実施結果の送付 ④抽選でプレゼント </td></tr> <tr> <td>備考</td><td> ・モデル講座の実施 ・優良取組事例の奨励 </td></tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <p>キャンペーンチラシ</p> <p>チャレンジ冊子</p> </div>	事業区分	チャレンジ (H29 新規)	ターゲット	家庭（県内全小学生及び保護者）	実施項目	食べきりやったね！チャレンジ	期間	夏休み	内容	①県内全児童に啓発教材を配布 ②家庭を巻き込んだ食べきりの実践 ③実施結果の送付 ④抽選でプレゼント	備考	・モデル講座の実施 ・優良取組事例の奨励
事業区分	チャレンジ (H29 新規)												
ターゲット	家庭（県内全小学生及び保護者）												
実施項目	食べきりやったね！チャレンジ												
期間	夏休み												
内容	①県内全児童に啓発教材を配布 ②家庭を巻き込んだ食べきりの実践 ③実施結果の送付 ④抽選でプレゼント												
備考	・モデル講座の実施 ・優良取組事例の奨励												
<p>成果指標や目標とその確認方法</p>	<p><第3次静岡県循環型社会形成計画の目標></p> <p>一般廃棄物の1人1日当たり排出量</p> <p>平成25年度（実績）917g／人日→平成32年度815g／人日</p>												
<p>施策のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店の中から協力店を募り、「食べきり」に特典を付与してもらい、食べきり行動へのインセンティブをつける。「食べきり」の必要性和協力店の特典内容等をPRして、「食べきり」意識と食べきり行動を全県に広め、食べ残しや食品ロスに対する理解を深める。 ・食品ロス（まだ食べられるのに捨てられている食品）の半数は家庭から発生するため、家庭への影響力が大きい子供に対する啓発事業実施により、家庭・親を巻き込んで食品ロスに対する意識を向上させ、家庭由来の食品ロス削減を図る。 												

効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の食べきり意識の高揚による「もったいない行動」（食品ロスの削減や環境行動への取組）」の誘発 ・ 食品ロスの削減
関連ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> * キャンペーン専用サイト https://machipo.jp/tabekiri * 静岡県廃棄物リサイクル課ホームページ http://www.pref.shizuoka.jp/kankyou/ka-040/tabekiri/torikumi.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 95

施策・事業名称	食品ロス啓発事業			
自治体名	静岡県 静岡市			
本件問合せ先	担当課	ごみ減量推進課		
	電 話	054-221-1361	メー ル	gomigenryou@city.shizuoka.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年 6 月～			

立案の背景 (ねらい)	・市民の食品ロス削減意識を向上させ、ごみ減量への一助とする。
内容	・食品ロスについての啓発チラシを作成し、市民向けに組回覧で周知を図った。 ・30・10 運動の啓発チラシを作成し、事業所に啓發文書を送付した。 ・プレミアムフライデーのイベント時に 30・10 運動の啓発品を配布した。 ・市職員向けに 30・10 運動実施を呼びかけた。
成果指標や目標 とその確認方法	平成 29 年 10 月のごみ減量イベントにおいて、来場者に食品ロス削減に関する意識調査を実施予定。(なお、食品ロスに係るアンケートは初実施となるので、今後継続的に調査し、推移を確認していく予定。)
施策のポイント	食品という生活に身近な問題でもあるので、関連性のあるイベントや講座開催時等に、啓発チラシや啓発品を配布することにより、食品ロスへの認知度が向上すると考えている。まずは、問題を知ってもらい、意識を持つという第一歩としての施策を実施している。
効果や成果	今後のアンケート調査などを通して、効果を図っていきたい。
関連ホームページ	www.city.shizuoka.jp/790_000087.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 96


施策・事業名称	かけがわ食べきり運動 「我が社の健康・食べきり宣言 in 掛川」 「我が家の健康・食べきり宣言 in 掛川」			
自治体名	静岡県 掛川市			
本件問合せ先	担当課	環境政策課		
	電 話	0537-21-1145	メー ル	kankyo@city.kakegawa.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年 4 月～			

立案の背景 (ねらい)	宴会時や、家庭で食品を食べきりという習慣をつけることで、食品 ロスを減らします。 また、買いすぎを抑制し、ごみの減量を図ります。
内容	(1) 事業所版 (a)事業所より「我が社の食べきり宣言」をしてもらう。 ①市ホームページで事業所を募集する。 ②事業所は市へ宣言書を提出する。 宣言は、掛川市独自の目標 4 項目、事業所で掲げた目標 1 項目で構成する。 ③登録事務所を市ホームページで紹介する。 (b)各事業所の宴会幹事は、宴会の始まりに宣言書を読み、宴会出 席者に呼びかける。 (2) 家庭版 「我が家の食べきり宣言」を広く普及する。 (3) 食べきり宣言証を配り、周知と啓発を行う。
成果指標や目標 とその確認方法	現在の登録事業所が 13 件であり、 本年度の目標登録数を 50 件、 今後 1 年度ごとの目標登録増加数を 50 件とします。

施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所、家庭への食べきり宣言の周知 ・ 事業所による宴会での実施
効果や成果	掛川食べきり運動により食品ロスに対する意識付けをし、生ごみの減量を図ります。
関連ホームページ	http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/life/kankyou/gomigenryo/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 97

施策・事業名称	「減らそう！ 食品ロス」 啓発		
自治体名	静岡県 藤枝市		
本件問合せ先	担当課	環境政策課	
	電 話	054-643-3183	メール kankyoseisaku@city.fujieda.shizuoka.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	<div>1 住民啓発</div> <div>3 食品ロスの実態調査</div> <div>5 協力店舗等の登録</div> <div>7 消費者団体または住民団体との連携</div> <div>9 その他</div>		<div>2 キャンペーン・イベント</div> <div>4 子供への啓発・教育</div> <div>6 事業者への働きかけ</div> <div>8 食材使いきり、リメイク料理</div>
事業実施期間	H29.10.5～		

立案の背景 (ねらい)	<p>「食品ロス」について、まずは市民に知ってもらうことにより、識を高め、身近な環境問題として日常生活で削減に取り組んでもらうことで、食品ロスを含む「燃やすごみ」の減量化を図る。</p>		
内容	<p>○チラシ・ポスターを作製し、全世帯にチラシを回覧するとともに、環境問題に取り組む企業等にポスター掲出を依頼する。食育関連のイベントでポスター等によりPRを行う。</p> <div>  </div> <p>＜チラシ＞</p> <p>○小中学生向けのクリアファイルを作成し、小学5年生・中学1年生に配布する。栄養教諭による給食指導等で利用し、給食の「食べきり」への意識を高める。また、児童生徒の保護者にも、「食べきり」を意識した環境行動の浸透を図る。</p>		

	<p>○「“もったいない” 市民のつどい」において、食品ロスを題材とした展示や、映画「0円キッチン」の上映、フードドライブ等を実施する。</p> <p>○環境にかかる人材育成を目的とした事業において、エコ・クッキング教室を実施する。</p>
成果指標や目標とその確認方法	今後検討する。
施策のポイント	チラシ・ポスター、クリアファイルの作成から、啓発グッズの配布、イベントの実施等を10月（3R推進月間）から12月（「藤枝市もったいない運動推進月間」まで）にかけて集中して行う。
効果や成果	今後検証する。
関連ホームページ	http://www.city.fujieda.shizuoka.jp .

食品ロス削減のための「施策バンク」 98

施策・事業名称	フードドライブ及び啓発活動			
自治体名	愛知県 名古屋市			
本件問合せ先	担当課	環境局ごみ減量部資源化推進室		
	電 話	052-972-2390	メー ル	a2297@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント		
	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育		
事業実施期間	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ		
	7 消費者団体または住民団 体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理		
	9 その他			
事業実施期間	「環境デーなごや中央行事」平成28年9月17日			
	「なごや生物多様性センターまつり」平成28年10月30日			

立案の背景 (ねらい)	家庭で消費されない食品をそのまま廃棄するのではなく、食品を必要としている人へ届け、食品ロスを削減する
内容	<p>家庭で消費しない食品を持ち寄っていただき、集まった物を「フードバンク」に届け、「フードバンク」から食品を必要としている地域の福祉団体や施設、生活に困っている人に届ける。</p> <p>※フードドライブには、フードバンク活動をしている NPO 法人も一緒に実施</p> <p>併せて、当ブースで食品ロスの啓発活動及びアンケートを実施。 啓発ちらしの裏面を活用して「食べ物を大切にします宣言」を実施。</p>
成果指標や目標とその確認方法	
施策のポイント	捨てられてしまう食品を、食品を必要としている人に届ける、「もったいない」を「ありがとう」に変える取り組み。また、フードドライブ活動を通じてフードドライブ及びフードバンクの周知を図る。
効果や成果	<p>「環境デーなごや中央行事」421品（104.3kg）</p> <p>「なごや生物多様性センターまつり」99品（59.79kg）</p>
関連ホームページ	http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000085351.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 99

施策・事業名称	食品ロス削減ソング「食品ロスない NAI NAI NAI」及びダンス			
自治体名	愛知県 名古屋市			
本件問合せ先	担当課	環境局ごみ減量部資源化推進室		
	電 話	052-972-2390	メー ル	a2297@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年9月17日～			

立案の背景 (ねらい)	園児から大人まで幅広い世代に食品ロス削減の取り組みを「もったいない」をキーワードとし、一緒に歌って踊って楽しく食品ロスについて関心を持つ機会とする
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減に向けてできる取り組みなどを歌詞に盛り込み、歌って踊って楽しく学ぶ。 ・名古屋市公式ウェブサイトで動画配信 ・イベント時に市内の保育園児がステージでダンスを披露 ・小学校の出前講座や普及啓発活動で活用
成果指標や目標とその確認方法	・今後、名古屋市の保育園・幼稚園（なごやエコキッズ）に展開を検討
施策のポイント	園児から大人までが一緒になって家庭などで、歌って踊って楽しく「食品ロス」を感じられるよう、歌詞・曲調・ダンスを考案した。
効果や成果	
関連ホームページ	http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000085351.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 100

施策・事業名称	食品ロス削減啓発ポスター			
自治体名	愛知県 名古屋市			
本件問合せ先	担当課	環境局ごみ減量部資源化推進室		
	電 話	052-972-2390	メール	a2297@kankyokyoku.city.nagoy a.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	募集期間：平成28年6月6日～8月12日 表彰式：平成28年9月17日 啓発活用：平成28年9月17日～			

立案の背景 (ねらい)	<p>市民・事業者の食品ロス削減意識の高揚を図るポスターを市内の児童・生徒から募集し、優秀な作品を展示することにより、広く市民の食品ロス削減への関心を高めるため。</p> <p>また、子どもたちが作品の作成を通して、食べ物大切さに考える機会とするため。</p>
内容	<p>・名古屋市内の小中学生からキャッチコピーの入った「食品ロス削減啓発ポスター」を募集</p> <p>・平成28年9月17日に開催した、環境デーなごや中央行事のメインステージで表彰式を実施</p> <p>【表彰内容】最優秀賞1点、優秀賞3点（小学生低学年・小学生高学年・中学生）、佳作3点（小学生低学年・小学生高学年・中学生）</p> <p>・最優秀賞の作品を啓発品に添付して食品ロス削減の啓発活動実施</p> <p>【啓発物品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30・10運動のポスター ・30・10運動のティッシュ ・30・10運動ののぼり ・食品ロス削減啓発ちらし ・29年度の食育関連のロゴマーク

成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	子ども達が一生懸命に書いた絵をポスター等に活用することにより、市民・事業者の目にとまりやすくし、食品ロス削減に向けより効果的な啓発を行う
効果や成果	応募点数：65点 子どもポスターを啓発物品に活用することにより、多くの方に関心を持ってもらえた。
関連ホームページ	http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000085351.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 101

施策・事業名称	親子でエコ・クッキング			
自治体名	愛知県 一宮市			
本件問合せ先	担当課	環境部清掃対策課		
	電 話	0586-45-7004	メール	seiso@city.ichinomiya.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	年 1 回 10 月			

立案の背景 (ねらい)	環境のことを考えた買物や料理・片付けの仕方を親子で学び、家庭で実践してもらう。
内容	食品ロス削減の部分抜粋 <ul style="list-style-type: none"> ・食材を残さず使う。(皮も含め) ・献立を考えた食材の購入。(食材を余らせない) ・残さず食べる。(残飯を作らない)
成果指標や目標 とその確認方法	開催後、アンケートを行い、いただいた意見を来年開催時に生かしていく。
施策のポイント	継続して開催すること。
効果や成果	参加人数 平成 25 年度 23 名 平成 26 年度 23 名 平成 27 年度 22 名 平成 28 年度 22 名
関連ホームページ	http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/kurashi/gomi/1010025/1014734.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 102

施策・事業名称	環境かわら版への記事掲載			
自治体名	愛知県 一宮市			
本件問合せ先	担当課	環境部清掃対策課		
	電 話	0586-45-7004	メール	seiso@city.ichinomiya.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	H29 年 7 月発行の環境かわら版へ掲載			

立案の背景 (ねらい)	市内全町内会で回覧する環境かわら版へ食品ロスに関する記事を掲載することにより住民啓発をはかる。
内容	<p>町内会で回覧する環境かわら版へ食品ロスに関する記事を掲載する。</p> <p><主な内容></p> <p>① 必要な分だけ買いましょう</p> <p>② 在庫管理をしっかりと行いましょう</p> <p>③ 正しく保存しましょう</p>
成果指標や目標 とその確認方法	住民啓発を目的としており、具体的な成果指標や目標は定めておりません。
施策のポイント	内容を簡潔にし、伝えたいことをわかりやすくすること。
効果や成果	市内全町内会で回覧することにより住民啓発をはかることができた。
関連ホームページ	http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/kurashi/gomi/1010025/1014734.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 103

施策・事業名称	環境フェア等イベントにおける「もったいない市」の開催		
自治体名	三重県		
本件問合せ先	担当課	三重県 環境生活部 廃棄物対策局 廃棄物・リサイクル課	
	電 話	059-224-3310	メール haikik@pref.mie.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他	2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年8月～		

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるイベントにおいて「もったいない市」として食品の製造、流通、販売に関わる事業者が規格外品等を販売することで、事業者から出る食品ロスを削減するとともに、各事業者の様々な食品ロス削減の取組を来場者へ紹介し、事業者・来場者の食品ロスに関する意識の向上を図る。 ・環境フェア後にも参加事業者等に声がけし、事業者独自や他のイベントでも規格外品販売等の食品ロス削減の取組が継続されるよう働きかけ、他事業者等への取組の拡大を図る。 ・全県的な取組に発展させ、県民や事業者の食品ロス削減に関する意識の向上を図る。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開場内で規格外品等の廉価販売を行う区画を設け、各事業者の食品ロス削減の取組等をPRする。 ・通常では規格外品等の販売を行っていない事業者についても食品ロス削減の重要性を説明し、イベントに参加してもらうことでイベント後にも食品ロス削減の取組が継続されるよう促す。 ・規格外品等の販売においては、マイバッグの利用を促し、販売方法を工夫することで食品ロス以外のごみについても削減を進める。
成果指標や目標 とその確認方法	<p>事業者等による食品ロス削減のための販売等の取組促進と県民の当該製品の消費喚起を目的とする。</p> <p>県内で行われる様々なイベントでもったいない市を開催し、継続して参加する事業者及び来場者を増加させることを目標とする。</p>

施策のポイント	みえ環境フェアにおいて、県がモデル的にもったいない市を開催し、それを市町等が実施する環境イベントにも広がるよう呼びかけを行うことで、もったいない市を全県的な取組として広げていく。
効果や成果	みえ環境フェアへブースの出展を行う事業者は、8事業者となっている。
関連ホームページ	準備中

食品ロス削減のための「施策バンク」 104


施策・事業名称	滋賀県「食品ロス削減レシピ」			
自治体名	滋賀県			
本件問合せ先	担当課	琵琶湖環境部循環社会推進課		
	電 話	077-528-3477	メール	df00@pref.shiga.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	4 子供への啓発・教育	6 事業者への働きかけ
	3 食品ロスの実態調査			
	5 協力店舗等の登録			
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成 28 年 8 月～			

立案の背景 (ねらい)	家庭から発生する食品ロスの削減に向けて、余った食材や料理を捨てずに有効に使う工夫、できるだけ調理くずを出さない工夫などが盛り込まれた食品ロス削減につながる料理のレシピについて県民に対して情報提供する。
内容	<p>余った食材や料理を捨てずに有効に使う工夫、できるだけ調理くずを出さない工夫などが盛り込まれた「食品ロス削減レシピ」を広く募集し、県ホームページ「ごみゼロしが」において周知している。</p> <p>また、平成 29 年 3 月にテレビ放送「テレビ滋賀プラスワン」の番組内において、応募されたレシピの実演を行った。</p> <p>平成 29 年度は、「食品ロス削減レシピ」をはじめとする食品ロスの削減につながるアイデア等を掲載した「食品ロス削減アイデア集」を作成し、県民等へ配布するほか、上記の「ごみゼロしが」上で公開する予定。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	目標は設定していない。
施策のポイント	<p>募集にあたって、様々な媒体を通じて広報している。例えば、消費者団体のメールマガジン、滋賀県公式 Twitter・Facebook、滋賀県の行政情報メールサービス（しらせる滋賀情報サービス）など。</p> <p>また、応募があったレシピについて、県ホームページ、テレビ放送、啓発冊子等で周知し、県民による「食品ロス削減レシピ」の活用を促している。</p>

効果や成果	食品ロス削減レシピ：41 件（平成 29 年 9 月末現在）
関連ホームページ	http://www.pref.shiga.lg.jp/d/haikibutsu/gomizero/home/reduce/foodlossless.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 105

施策・事業名称	「三方よしフードエコ推奨店」制度			
自治体名	滋賀県			
本件問合せ先	担当課	琵琶湖環境部循環社会推進課		
	電 話	077-528-3477	メー ル	df00@pref.shiga.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年 8 月～			

立案の背景 (ねらい)	食品ロス削減に取り組む県内の飲食店・宿泊施設、食料品小売店を「三方よしフードエコ推奨店」として登録するとともに、県ホームページ等で推奨店の取組を周知することにより、事業者による取組推進と推奨店利用をはじめとする県民による取組推進を図る。		
内容	○対象事業者 滋賀県内の飲食店・宿泊施設、食料品小売店 ○登録要件 次の取組項目のうち、必須項目（■）に加えて、選択項目（□）を1項目以上実施すること。		
	飲食店・宿泊施設部門 ■食品ロス削減の呼びかけ <input type="checkbox"/> 食べ残しを少なくするメニュー設定・量の調節等 <input type="checkbox"/> 無駄のない食材の確保・食材の使い切り <input type="checkbox"/> 完食した来店者に対する独自サービス <input type="checkbox"/> 上記以外の食品廃棄物の削減につながる取組	食料品小売店部門 ■食品ロス削減の呼びかけ <input type="checkbox"/> ばら売り、量り売り、割引販売等による販売 <input type="checkbox"/> 賞味期限表示・消費期限表示に係る啓発 <input type="checkbox"/> 食品ロス削減レシピの情報提供 <input type="checkbox"/> 上記以外の食品廃棄物の削減につながる取組	
	 推奨店ステッカー ※登録事業者へ交付。		

成果指標や目標 とその確認方法	現状、目標は設定していない。
施策のポイント	当制度の制定にあたっては、平成 29 年 8 月に設置した「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」等において、食品関連事業者や団体、行政等による意見交換を行い、関係者の意見を反映している。
効果や成果	平成 29 年 8 月から開始しているため現状として成果は上がっていないが、業界団体を通じた会員企業への周知や各種広報媒体による周知を通じて、食品ロス削減に係る事業者や県民の機運醸成を期待している。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 106

施策・事業名称	料理との一期一会（15・18）運動		
自治体名	滋賀県 近江八幡市		
本件問合せ先	担当課	環境課	
	電 話	0748-36-5509	メール 010602@city.omihachiman.lg.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理
事業実施期間	平成29年3月から		

立案の背景 (ねらい)	宴会での食べ残しや家庭からの食品ロスを減らすため、市民や事業者に対して、市ホームページやチラシ等での啓発活動を行い、食品ロス削減、ごみ減量削減を図っていく。
内容	<p>家庭における取り組みとして、調理くずや副菜などの再調理（リメイク）の推進など自宅での調理時の実践内容、必要なものを必要な分だけ購入するなど買い物時の実施内容、家庭に合わせた適量の注文など外食時の実践内容等を広く市民に周知し、日常生活に浸透するように啓発している。</p> <p>また、外食事業者に対しては、来店者への適量注文の呼びかけ、大盛り早食いを過度に煽るようなメニューの自粛、“小盛り”等のメニューの追加等の協力要請のほか、多人数の集客可能なホテル等へは、前述の協力要請内容に加えて「料理との一期一会（15・18）運動」への積極的な取り組みと顧客への呼びかけについても協力を求めている。</p> <p>「料理との一期一会（15・18）運動」とは、宴会時の食べ残しをなくするため、適量注文や幹事からの声かけのほか、宴会開始後15分、宴会開始後18分（15～20分）を出された料理を自席でしっかり食べる時間とする。</p> <p>〈宴会時のお約束〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事さんは、出席者の性別、年齢層等を店に伝え、適量注文を！ ・「料理との一期一会（15・18）運動」を必ず実施！ ・料理がたくさん残るテーブルから、少ないテーブルへ無駄なくシェアを！ ・宴会中も幹事さんや司会者は、食べ残しはダメよ、のアナウンスを！

	<div data-bbox="461 114 1442 589" data-label="Complex-Block"> <div> <div>【家庭編】</div> <div>【宴会・会食編】</div> <div>【一期一会（15・18）】</div> </div> <div> <div> <p>今日からみんなで始めよう！ おうみはちまん食品ロス撲滅作戦</p> <p>食品ロスの現状</p> <p>食品ロスの原因</p> <p>食品ロス撲滅の心得</p> <p>買い物</p> <p>調理</p> </div> <div> <p>今日からみんなで始めよう！ おうみはちまん食品ロス撲滅作戦</p> <p>準備時の幹事さんの心得</p> <p>宴会・会食時の心得</p> <p>「料理との一期一会（15・18）運動」を必ず実践！</p> <p>お楽しみ会の15・20分間は、「料理との一期一会タイム」</p> <p>「ひととひとの一期一会タイム」の時間</p> <p>お楽しみ会の15・20分間は、再び「料理との一期一会タイム」</p> <p>◆ 料理を提供される皆さまへお願い</p> </div> <div> <p>さあ、食べ残しゼロのまちへ・・・</p> <p>料理との一期一会（15・18）運動</p> <p>実践方法</p> <p>宴会時のお約束</p> <p>宴会以外の食事でも・・・</p> </div> </div> </div>
成果指標や目標とその確認方法	<p>食品関連事業者や家庭への周知、啓発により、1人1日当たり15gの食品ロスを低減する。（平成43年度まで438tを低減）</p> <p>排出抑制・再資源化の取り組みによるごみ総排出量及び処理量より確認。</p>
施策のポイント	<p>本運動は“食べ残しゼロ”に向けた取り組みであり、各々が自分たちの食生活を顧みて、我が国における食品ロス問題の深刻さを認識していただいたうえで、家庭で、職場で、お店で、食べ残しゼロの実践してもらう。</p>
効果や成果	<p>周知が主な事業なので効果や成果は見えにくいですが、市職員は宴会時に「料理との一期一会（15・18）運動」を実施しており、宴会の食べ残しが減っている。</p>
関連ホームページ	<p>【おうみはちまん食品ロス撲滅作戦】</p> <p>http://www.city.omihachiman.shiga.jp/contents_detail.php?co=kak&frmId=12486</p> <p>【食べ残しゼロのまちへ】</p> <p>http://www.city.omihachiman.shiga.jp/contents_detail.php?co=kak&frmId=12493</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 107

施策・事業名称	3 0 1 0 運動+（プラス）の取り組み			
自治体名	滋賀県 草津市			
本件問合せ先	担当課	環境経済部 ごみ減量推進課		
	電 話	077-561-2346	メール	genryo@city.kusatsu.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年度から本格実施			

立案の背景 (ねらい)	家庭や飲食店などの食品ロス削減と本市が進める健幸（生きがいをもち健やかで幸せであること）都市づくりを目指す。
内容	<p>全国で取り組まれている3010運動に、食品ロス削減と健康づくり（例：宴会時に野菜から食べることや空腹状態での多量飲酒を避けることで健康へ寄与すること）をプラスした『3010運動+』を推進する。</p> <p><手法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙等で市民に向けて周知と啓発を行なう。 ・ごみの減量や地域美化に取り組む市民団体の「ごみ問題を考える草津市民会議」と連携し、地域のイベントや団体の広報紙等で市民に向けて啓発する。 ・各家庭への生ごみの減量につながるレシピの提供と減量意識の啓発を進めるため、「ごみ問題を考える草津市民会議」と連携し、エコレシピコンテストを開催する。 ・企業や飲食店を訪問し、周知と啓発を行なう。
成果指標や目標とその確認方法	生ごみを含む焼却ごみのクリーンセンターへの搬入量の減少
施策のポイント	食品ロス削減と同時に健幸都市づくりを推進すること。
効果や成果	平成29年度から本格実施の事業のため、現在のところは不明。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 108


施策・事業名称	京都府食品ロス削減府民会議			
自治体名	京都府			
本件問合せ先	担当課	農林水産部 食の安心・安全推進課		
	電 話	075-414-5652	メール	shokuanzen@pref.kyoto.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成28年7月～平成30年3月			

立案の背景 (ねらい)	食品ロス削減を府民運動化させ、府内で食品ロスの削減に向けた取組を進めていく必要があるため。
内容	<p>生産から流通・消費と各分野が行うべき食品ロス削減に向けた取組等について議論するため、平成28年度に設置。</p> <p>○委員 学識経験者、農林業、食品製造、流通、小売、飲食、消費者団体、福祉団体、フードバンク、行政機関などを中心に組織。平成29年7月現在、委員23名。テーマが多岐にわたるため、テーマ毎にオブザーバー参加を募り、幅広く議論を実施。</p> <p>○内容</p> <p>第1回(平成28年7月28日) 議題：食品ロスの現状、主な発生原因、削減策など</p> <p>第2回(平成28年9月6日) 議題：賞味期限に係る食品ロス削減、流通過程・外食産業における食品ロス削減など</p> <p>第3回(平成28年11月2日) 議題：家庭向け食品ロス削減の対策、余剰食品の有効利用など</p> <p>第4回(平成29年2月3日) 議題：余剰食品の有効利用、1/3(2/3 残し)ルールの緩和、小容量・ばら売りなど</p> <p>第5回(平成29年6月14日) 議題：農産物規格外品の有効利用、需要予測精度向上など</p>

成果指標や 目標 とその確認 方法	事業の成果目標としては、京都府内で食品ロス削減のための施策の実施につなげることである。
施策の ポイント	食品ロス問題は、様々な要因、段階に関わっており、特定の分野のみの対策では不十分であるため、様々な分野・業界の方々に委員として参加していただき、幅広い御意見をいただいている。
効果や成果	食品ロス削減の施策の実施について、いただいた様々な御提案・御意見をもとに、来年度以降の取組の実施に向けて進めている。
関連ホーム ページ	http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/documents/shokuhinlosssakugenuminkaigi.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 109




施策・事業名称	京都府「食べ残しゼロ推進店舗」			
自治体名	京都府			
本件問合せ先	担当課	農林水産部 食の安心・安全推進課		
	電 話	075-414-5652	メール	shokuanzen@pref.kyoto.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成29年7月～			

立案の背景 (ねらい)	京都市が平成26年12月に創設した、食品ロス削減等の取組を実践する飲食店等を「食べ残しゼロ推進店舗」と認定する制度を京都市外にも拡大することで、府内全体で食品ロスの削減に向けた取組を推進する。
内容	<p>○対象事業者 京都府内（京都市を除く）で営業する飲食店及び料理を提供する宿泊施設料理の提供形態は、出前・宅配を含む</p> <p>○認定条件 次の取組内容（1）～（8）のうち、2項目以上を実践していること</p> <p>（1）食材を使い切る工夫 （2）食べ残しを出さない工夫 （3）宴会、冠婚葬祭での食事等における工夫 （4）食べ残しの持ち帰りができる工夫 （5）ごみ排出時の水キリ等の工夫 （6）使い捨て商品の使用を抑える工夫 （7）食べ残しゼロに向けた啓発活動 （8）上記以外の食べ残しを減らすための工夫</p> <p>※認定店舗には、認定証及びステッカー等を交付する。</p> <div data-bbox="1157 1451 1417 1697"> <p>京 都 府 食 べ 残 し ゼ ロ  京 推 進 店 舗</p> </div> <p>ロゴマーク</p>
成果指標や 目標 とその確認 方法	本年度は特に目標を設定していない。

<p>施策のポイント</p>	<p>平成２８年度に開催した京都府食品ロス削減府民会議において、京都市が平成２６年１２月に創設した「食べ残しゼロ推進店舗」認定制度を府内全域に広めるようにとの意見があり、京都市の協力を得ながら府での制度創設に取り組んだ。</p> <p>府内で統一した取組とするため、認定要件は京都市と同じとした。また、ロゴマークについても、京都市が使用しているマークの「市」を「府」に置き換えただけで、同じデザインのロゴマークとした。</p>
<p>効果や成果</p>	<p>平成２９年７月から募集を開始したため、効果や成果はまだ上がっていないが、事業者はもちろん、府内の市町村や報道機関からも多数問合せがあり、関心の高さを感じた。</p>
<p>関連ホームページ</p>	<p>http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/documents/tabenokoshizero.html</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 110

施策・事業名称	実践型食育講演会「もったいない！ みんなで減らそう 食品ロス」			
自治体名	京都府			
本件問合せ先	担当課	農林水産部 食の安心・安全推進課		
	電 話	075-414-5652	メー ル	shokuanzen@pref.kyoto.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年6月25日（日） 14時～16時			

立案の背景 (ねらい)	府民一人ひとりが「食品ロス」について考え、削減の方法を学ぶきっかけを作るため。
内容	<p>○講演会 南極料理人・西村淳氏から「ごはんにしよう！」と題し、南極観測隊に調理担当として参加した経験を踏まえて、食べ物を無駄にしないことや食を通じたコミュニケーションの大切さを講演いただいた。</p> <p>○料理教室 西村氏が南極で実際に調理したレシピを、食生活改善推進員の指導のもと調理・試食した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">  <div> <p><余ったから揚げをリメイク></p> <p>酢豚風酢鶏</p> <p>酸辣湯（サンラータン）</p> <p>炊き込みピラフ</p> </div> </div>

成果指標や 目標 とその確認 方法	参加者アンケート結果（５点満点）で評価
施策の ポイント	「食品ロス」だけでなく、「もったいない」、「食の大切さ」等の食育の観点も含めた講演会とした。
効果や成果	<p>参加者から、「食の楽しみ、大切さを考えさせられた」、「食材が余ったら捨てるのではなく、工夫して使っていきたい」などの意見があり、食品ロスについて考えるきっかけとなった。</p> <p>○参加者アンケート結果（５点満点）</p> <p>講演会 ４．６点、料理教室 ４．２点</p>
関連ホームページ	http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/documents/shokuhinlosskenshu.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 1 1

施策・事業名称	食育エコッキング事業			
自治体名	大阪府 豊中市			
本件問合せ先	担当課	環境部減量計画課		
	電 話	06-6858-2279	メール	genryou@city.toyonaka.osaka.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 23 年度～平成 28 年度			

立案の背景 (ねらい)	主に調理時の可食部分の廃棄や食べ残しを減らすことに着目した調理実習講座を行うことで、食品ロス削減の推進を行う。
内容	<p>食材を出来る限り利用したレシピや、余った食材をリメイクするレシピで調理する実習講座。</p> <p>夏休みは、小学生とその保護者向けに講座、その他の時期では、一般向けに実施。</p> <p>講師は、栄養士、豊中エコショップ認定店、エコレシピコンテスト最優秀賞受賞者等。</p>
成果指標や目標とその確認方法	講座開催数を目標に設定し、開催数の増加を成果とした。
施策のポイント	手軽に家庭で実践できる調理方法の提案に努めた。
効果や成果	参加した小学生が自由研究で発表するなど、食品ロス削減への関心が高まっている。
関連ホームページ	https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/ecorecipe.html (エコレシピの紹介 1) https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/ecorecipe2.html (エコレシピの紹介 2)

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 1 2

施策・事業名称	豊中エコレシピコンテスト			
自治体名	大阪府 豊中市			
本件問合せ先	担当課	環境部減量計画課		
	電 話	06-6858-2279	メール	genryou@city.toyonaka.osaka.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 27 年度（単年度事業）			

立案の背景 (ねらい)	食品ロス削減のための情報発信及び講座に加え、広く市民からアイデア募集することで、主体的に食品ロスに関心を持ってもらい、併せて、本取組みの周知を通して、食品ロスに対する市民意識の高揚を図る。
内容	<p>応募資格:豊中市在住・在勤・在学の個人・グループ。</p> <p>募集内容:食品ごみ減量につながるレシピで、次の(1)(2)(3)全ての条件を満たすもの。</p> <p>(1)準備を含め 60 分以内に完成するもの。</p> <p>(2)2 人分で概ね 1,000 円程度のもの。</p> <p>(3)試食審査で再現が可能なもの。</p> <p>審査方法:担当課職員による書類審査で、8 作品を選考し、審査員による試食審査。</p> <p>表彰式:とよなか食品ロス・ゼロフォーラムにて表彰。</p> <p>その他:最優秀作品応募者には、翌年度に開催した、夏休みの親子向けエコクッキング講座にて講師を担当してもらった。</p>
成果指標や目標とその確認方法	設定なし
施策のポイント	市民からアイデアを募集したことで、より身近な食品ロス削減のPR が図れた。
効果や成果	応募件数が 111 件で、関心の高さが伺えた。
関連ホームページ	https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/ekoreshipiboshuu.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 1 3

施策・事業名称	フードドライブ			
自治体名	大阪府 豊中市			
本件問合せ先	担当課	環境部減量計画課		
	電 話	06-6858-2279	メール	genryou@city.toyonaka.osaka.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成 28 年 11 月 12 日(土)試行実施、平成 29 年度から本格実施			

立案の背景 (ねらい)	<p>食品ロス削減の取組みとして、これまで「エコクッキング」事業を推進してきたが、他部局や事業者、団体等で実施が多くみられ、行政としての普及促進は終えたと考えられることから、平成 29 年度から「フードドライブ」の支援を行う。</p> <p>食品ロスを効果的に削減するためには、フードドライブを通じて、まだ十分に食べられる食品を、必要としている人々へつなぐ架け橋となること。また、この活動を通じて食品の提供者(市民・事業者)が食品を買い過ぎない、作り過ぎないなどの行動につながるにより、可燃ごみに多く含まれる手つかず食品の減量に寄与するもの。</p>
内容	<p>家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。</p> <p>※フードバンクとは、まだ食べられるのに、外箱の壊れ、ラベル印字ミス、売れ残った、形が悪い、食べきれない等の理由で、食べることができのにも関わらず廃棄されている食品を、企業や個人の方から、無償で受け取り、それらを必要とする人達のもとへ届けること。</p>
成果指標や目標とその確認方法	<p>食品ロスの削減や手つかずの食品の有効利用を目的としているため目標は設定していないが、持ち寄っていただいた人数や数量は把握している。</p>
施策のポイント	<p>食品ロスを削減することが目的であるため、フードドライブをより多くの方に知っていただくための策を練ることが重要である。</p>

<p>効果や成果</p>	<p>家庭から排出されるごみの組成分析調査を行った結果、可燃ごみの約 4 割が生ごみとなっている。また、その内の 3～4 割が食品ロスと推定され、さらにそのうちの約 1 割が手を付けられず廃棄されていることがわかった。</p> <p>本来ごみとなり捨てられていたものが、食品を必要としている困窮者へ繋げられることや、可燃ごみの減量に寄与することなどにより、ごみの焼却処理量及び焼却灰の埋立量も減る事によりコスト削減にも寄与される。</p>
<p>関連ホームページ</p>	<p>減らそう！食品ロス</p> <p>http://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/syokuhinnrosu.html</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 1 4

施策・事業名称	とよなか食品ロス・ゼロハンドブック vol.2 の発行			
自治体名	大阪府 豊中市			
本件問合せ先	担当課	環境部減量計画課		
	電 話	06-6858-2279	メール	genryou@city.toyonaka.osaka.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 26 年度～			

立案の背景 (ねらい)	子育て世代を中心とした大人向けに、食品ロスに対する基礎知識や取り組んでもらいたいこと、市の取組みを掲載し、市民の「もったいない」の意識を高めるための周知を行う。
内容	<初版の内容> 市長インタビュー・おすすめレシピ、食品ロスってなあに、今すぐできる食品ロス削減、賞味期限・消費期限、お店の食品ロスを減らす取組みなど。 <改定版(vol.2)の内容> 食品ロスってなに、賞味期限・消費期限、フードドライブの紹介、地域のこども食堂の紹介、豊中エコレシピコンテスト・親子でわくわくエコクッキングなど。 <配布> 市内こども園等の年長児を対象に絵本「きょうのきゅうしょくなあ～にかな」を配布するのに合わせて、その保護者向けに「とよなか食品ロス・ゼロハンドブック」を配布。そのほか環境イベントで配布。
成果指標や目標とその確認方法	設定なし

<p>施策のポイント</p>	<p>食品ロスを削減するために、食品ロスの実態や基礎知識、家庭で身近にできることを分かり易く解説することで、実践行動に移してもらいやすくした。</p>
<p>効果や成果</p>	<p>直接的に、数値で効果を評価することは難しいが、食品ロス削減に対する周知を通して、実践に移すことを期待している。</p>
<p>関連ホームページ</p>	<p>http://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/syokuhinnrosu.html（減らそう食品ロス）</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 115

施策・事業名称	絵本「きょうのきゅうしょくな～にかな」の発行			
自治体名	大阪府 豊中市			
本件問合せ先	担当課	環境部減量計画課		
	電 話	06-6858-2279	メール	genryou@city.toyonaka.osaka.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 26 年度～			

立案の背景 (ねらい)	小学校給食の食べ残しを減らし、食品ロス削減につなげる。
内容	<p>小学校給食の食べ残しを減らし、食べ物を大切にしたいという願いを込め、市職員がイラスト及びセリフを作成して、発行。</p> <p>なぜ、食べ物を残すとダメなのかについて、感情移入しやすいよう、身近な野菜や子ども達を登場させたり、言葉は全てひらがなを使用することで、理解しやすい内容とした。</p> <p>配布は、就学前の市内こども園等の年長児全員を対象。</p> <p>こども園等で実施する環境学習にも絵本を用いて、読み聞かせを行っている。</p>
成果指標や目標とその確認方法	設定なし
施策のポイント	子ども達へ「食べ物を大切にしよう。」という気持ちを持ってもらい、最終的に食品ロス削減につながることを期待。
効果や成果	絵本の配布後及び、環境学習を行った日は、いつもよりこども園の給食の食べ残しがいつもより減ったという感想が寄せられている。
関連ホームページ	http://www.city.toyonaka.osaka.jp/kurashi/gomi_risaikuru_bika/genryou_recycle/syokuhinnrosu.html (減らそう食品ロス)

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 1 6

施策・事業名称	「30・10（さんまるいちまる）運動」「食べきり運動」で食品ロスの削減を!!			
自治体名	大阪府 摂津市			
本件問合せ先	担当課	環境部環境業務課		
	電 話	072-634-0210	メール	kankyou-gyoumu@city.settsu.osaka.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年 5 月より			

立案の背景 (ねらい)	まずは食品ロスについて知ってもらう
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会の会議で食品ロスの削減や「30・10 運動」について紹介、機関誌にも掲載。 ・ 「30・10 運動」「食べきり運動」についての回覧を全自治会・町会で実施。 ・ 11 月開催の環境フェスティバルでも「30・10 運動」「食べきり運動」についてのチラシを配布予定。
成果指標や目標 とその確認方法	市民や事業者から問い合わせや提案があれば対応、情報共有し協働して食品ロスを削減していく。
施策のポイント	様々な機会や場所で啓発活動を行う。
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 117

施策・事業名称	市内の多量排出事業所に食品ロスについてのアンケートを実施			
自治体名	大阪府 摂津市			
本件問合せ先	担当課	環境部環境業務課		
	電 話	072-634-0210	メール	kankyou-gyoumu@city.settsu.osaka.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 <div>3 食品ロスの実態調査</div> 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 <div>6 事業者への働きかけ</div> 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間				

立案の背景 (ねらい)	事業所から発生する食品ロスの実態調査。
内容	多量排出事業所（15 事業所）に食品ロスの削減に向けた取り組みについてのアンケートを実施。
成果指標や目標とその確認方法	実態を把握し対策を考える。
施策のポイント	
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 118

施策・事業名称	食品ロス削減調査・事業化計画検討業務			
自治体名	兵庫県 神戸市			
本件問合せ先	担当課	環境局環境政策部資源循環政策課		
	電 話	078-322-5299	メール	3r@office.city.kobe.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成 28 年度～			

立案の背景 (ねらい)	<p>平成 28 年 3 月に策定した「第 5 次神戸市一般廃棄物処理基本計画」で掲げる食品ロス削減の実現に向けて、食品ロスの発生要因の把握と削減のためのアクションリストを検討し、それによる廃棄物の減量効果及び二酸化炭素削減効果の実証・効果分析と、その取組を進めるための実現可能性調査（F／S）及び同調査を踏まえた事業化計画の策定を目的に実施。</p>
内容	<p>1. 食品ロスの実態調査 (冬季：平成 28 年 11 月 28～12 月 25 日 夏季：平成 29 年 6 月 26 日～7 月 23 日) 家庭での食品ロスの詳細な実態調査として、市民モニターを公募して日記形式による食品ロス調査（冬季・夏季）を行いました。</p> <p>2. フードドライブのモデル実施（実証実験） (平成 29 年 6 月～10 月) 小売店（生活協同組合コープこうべ、株式会社ダイエー）やフードバンク関西と連携し、小売店舗でのフードドライブモデル実施を行っています。</p> <p>3. 食品ロス削減につながるライフスタイルの普及啓発効果（実証実験） 食品ロス実態調査（夏季）に併せて、食品ロス削減につながる具体的取り組み（冷蔵庫の整理・野菜の保存方法）の取り入れ方に関する情報をインプットしたうえで、「1 食品ロス調査（夏季）」と同時期に調査を実施しました。</p> <p>4. 小売店での情報発信効果（実証実験） (平成 29 年 10 月～11 月)</p>

	<p>廃棄件数の約 4 割を占めている生鮮野菜の保存方法の工夫を小売店舗で啓発することにより、家庭での食品ロス削減効果を検証する事業を行っています。</p> <p>5. 食品ロス削減ワークショップ (平成 29 年 2 月 11 日)</p> <p>食品ロス調査結果をもとに調査に参加いただいたモニターや一般公募による市民、事業者によるワークショップを行い、家庭で食品ロスがよく発生する要因と、市民、事業者、行政が取り組めるメニューのアイデア出しを行いました。(平成 29 年度も実施予定)</p> <p>6. 食品ロス削減に向けた行動メニューの検討</p> <p>食品ロス実態調査や実証実験の結果、食品ロス削減ワークショップで出た意見などを踏まえ、市民、事業者、学識経験者などで構成するステークホルダーミーティングにて各主体別の行動計画の検討を行っています。</p>
成果指標や目標とその確認方法	<p>目標</p> <p>第 5 次一般廃棄物処理基本計画（目標年次：平成 37 年度）における目標の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭系ごみ…1 人 1 日当たり排出量 10%削減（資源物を除く）（平成 25 年度比）→食品ロス 17 g 削減が目安 ・事業系ごみ…ごみの排出量 10%削減（平成 25 年度比） <p>主に資源紙、厨芥類について、減量・資源化を促進</p>
施策のポイント	<p>実態調査や実証実験等を行うことで、市民の実態に合い、市民・事業者が取り組みやすい事業になるよう取り組んでいます。また、市民団体や事業者との連携や、環境面だけでなく食育など市内他部局とも連携して取り組む必要があると考えています。</p>
効果や成果	別添参照
関連ホームページ	<p>http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/waketon/shirumanabu/namagomi/index.html</p> <p>http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/waketon/shirumanabu/namagomi/fooddrive.html</p>

平成 28 年度実施 食品ロス調査(冬季)等 結果概要

1. 食品ロス調査(冬季)

- ◆ 参加者：302 世帯
- ◆ 期 間：平成 28 年 11 月 28 日～12 月 25 日（4 週間）
- ◆ 目 的：実際に家庭で廃棄される食品の種類や理由の把握
- ◆ 方 法：期間中に家庭で手付かず食品と食べ残しを廃棄するたびに、廃棄した食品の種類や量、廃棄理由、保存方法などを日記形式で記録

◆ 結 果：

○ 手付かず食品について

- ・ 廃棄量 約 16 g / 人・日
（上記期間中廃棄件数 1,954 件、約 6.5 件 / 世帯）
- ・ 最も廃棄が多い世帯は、子育て世帯（子どもあり、高齢者なし）



1 人暮らし
（単身の高齢者・非高齢者）

1. 1 件/週



大家族
（2 人以上の家族で高齢者と子どもがいる）

1. 3 件/週



高齢夫婦
（2 人以上の世帯で高齢者あり・子どもなし）

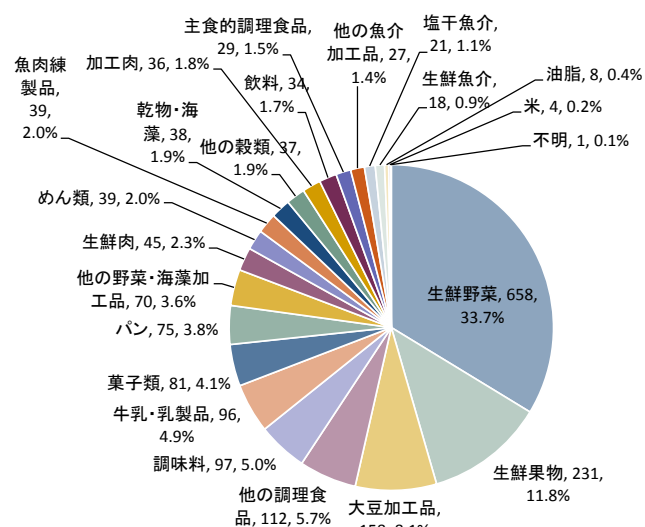
1. 8 件/週



若夫婦と子ども
（2 人以上の家族で高齢者なし・子どもあり）

1. 9 件/週

- ・ 廃棄された食品は、野菜、果物、大豆加工品の順に多い



- ・ 買い物前に在庫確認をする世帯は、確認しない世帯と比較すると廃棄件数が 3 割少ない

- ・生鮮野菜の食品を長持ちさせる工夫を行っている世帯は、何もしていない世帯と比較すると廃棄件数が3割少ない

○ 食べ残しについて

- ・廃棄量 約5g / 人・日

(上記期間中廃棄件数 1,581 件、約 5.2 件 / 世帯)

- ・最も廃棄が多い世帯は、単身世帯(子育て世帯の約2倍)であり、特に単身の高齢者が14.0g / 人・日と多い



大家族

(2人以上の家族で高齢者と子どもがいる)

1.4g / 人・日



高齢夫婦

(2人以上の世帯で高齢者あり・子どもなし)

6.4g / 人・日



若夫婦と子ども

(2人以上の家族で高齢者なし・子どもあり)

6.6g / 人・日

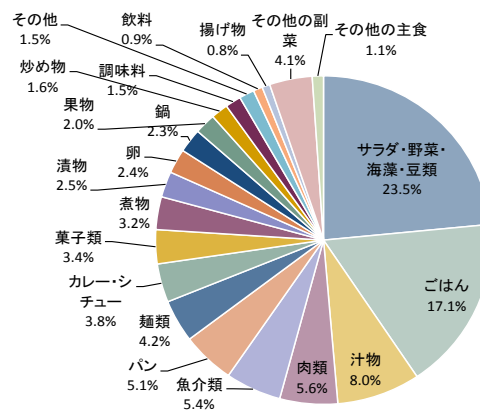


1人暮らし

(単身の高齢者・非高齢者)

11.9g / 人・日

- ・廃棄される食品は、野菜類、ごはんの順に多い



- ・子育て世帯(子どもあり、高齢者なし)では廃棄理由の約4割が「子どもの食べ残し」

2. ワークショップ

- ◆ 参加者：41人(市民：36人、事業者：4人、学識経験者：1人)
- ◆ 開催日：平成29年2月11日
- ◆ 目的：主に家庭から発生する食品ロス削減のための、市民・事業者・行政が協働で取り組む行動メニューの検討
- ◆ まとめ：

○ 食品ロスが発生する主な理由

- ・「まとめ売り・安売りで買いすぎて余らせてしまう」
- ・「冷蔵庫の整理ができず、忘れてしまう」

・「もらい物を断れない」

○ 主体別行動メニュー案

市 民：在庫確認を行う（日を決める、在庫確認アプリ）、フードドライブの利用

事業者：保存方法やレシピの発信、ばら売りを増やす、フードドライブの窓口



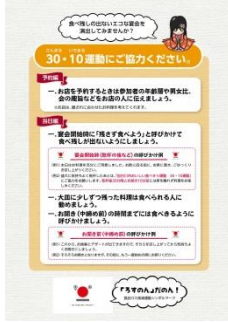

行 政：食品ロスの取組の発信、フードドライブの窓口、食育

3. 行動メニューの素案

	発生要因	対象	行動
手 付 か ず 食 品	冷蔵庫等の整理・在庫確認ができない	共通	冷蔵庫等の整理・在庫確認ができる工夫を取り入れる（市民）
	期限をこまめに確認していない	特に牛乳・乳製品、大豆加工品、調味料等共通	期限をこまめに確認できる工夫を取り入れる（市民）
	適切な保存方法を実践していない	特に生鮮野菜	野菜が長持ちする保存方法を取り入れる（市民）
	複数のレシピ、残った食材を使い切るレシピを知らない	特に生鮮野菜、加工肉	レシピのレパートリーを増やして余った食材を使い切る（市民）
	安いために衝動的に購入してしまう	特に生鮮肉、めん類、魚肉練製品	計画的な買い物で衝動買いを防ぐ（市民） 特売品にレシピをつける（事業者）
	量が多い、好みでないもらい物を消費しきれない	特に生鮮果物、菓子類	フードドライブに協力する（市民） フードドライブ窓口を設ける（事業者）
	販売量が多い	生鮮野菜、生鮮肉、加工肉、大豆加工品等	少量販売を導入する（事業者）
食 べ 残 し	食べ切れる量よりも作りすぎてしまう	単身世帯（特に単身高齢世帯）	単身世帯は作り過ぎない（市民）
	子どもが食べ残す	若い親と子どもの世帯	子育て世代は子どもが食べ切れる量をつくる（市民）

食品ロス削減のための「施策バンク」 119

施策・事業名称	加古川市おいしい食べきり運動（家庭向け啓発）			
自治体名	兵庫県 加古川市			
本件問合せ先	担当課	ごみ減量推進課		
	電 話	079-426-5440	メール	genryou@city.kakogawa.lg.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年 12 月から			




立案の背景 (ねらい)	市民が家庭で出来る食品ロス削減に向けた取り組みを紹介・周知する。
内容	<p>○パンフレットの作成 家庭における食品ロスの現状と取組を紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスの現状、発生例 ・家庭で出来る取り組み 「買い過ぎず」「使い切る」「食べ切る」 賞味期限と消費期限の違い エコ・クッキングサイトの利用 ・3010運動への協力依頼 <div>     </div> <p>○広報紙（広報かこがわ）への掲載 ○ごみ減量情報紙の発行（回覧） ○出前講座での周知</p>

成果指標や目標 とその確認方法	設定なし
施策のポイント	食品ロスについてわかりやすく説明し、具体的な取り組みを紹介した。
効果や成果	他の減量施策も行っているため、単体での効果測定は難しいが、知っていただくことで実践・減量につながっていると考えている。
関連ホームページ	http://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyobu/genryo/gomigenryokashisaku/1480379547756.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 120

施策・事業名称	加古川市おいしい食べきり運動（協力店募集）			
自治体名	兵庫県 加古川市			
本件問合せ先	担当課	ごみ減量推進課		
	電 話	079-426-5440	メー ル	genryou@city.kakogawa.lg.jp
分野 （当てはまるもの すべてに○を付けて ください）	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年 12 月から			

立案の背景 (ねらい)	飲食店や小売店から排出される生ごみの削減を推進するため、食べ残し等の削減に取り組む飲食店等を「協力店」として登録し、その取組を広く紹介する事で意識啓発を図ることを目的とする。
内容	<p>以下の取組項目のうち 1 つ以上実践していただける店舗を「加古川市おいしい食べきり運動協力店」として登録し、市ホームページに掲載するとともに、ステッカー・のぼりなどの啓発物資を配布する。</p> <p>取組項目</p> <p>①小盛り、ハーフサイズの設定など、利用者の要望に沿った量での提供</p> <p>②食べ残した料理について、持ち帰りの要望があった場合の状況に応じた対応</p> <p>③食料品の量り売りやばら売りの実施、規格外品（形の良くない商品等）の安売りや有効利用、賞味期限間近な食料品の割引販売</p> <p>④宴会等における食べきりの呼びかけ、ポスター等の掲示による、食べ残し削減に向けた啓発活動の実施</p> <p>⑤その他、食べきりの促進へつながる取組</p>

	<p>配布物品</p> <div><p>ステッカー</p><p>のぼり (小)</p><p>のぼり (大)</p><p>卓上 POP</p></div>																
成果指標や目標とその確認方法	成果指標、目標の設定はしていないが、定期的に登録店舗を対象としたアンケート調査を実施予定。																
施策のポイント	事業所のごみ減量意識を高めるとともに、お客さんとして来店する市民の食べ残しに対する削減意識の高揚につなげる。																
効果や成果	<p>登録状況 (件)</p> <table><tr><td></td><td>H28</td><td>H29(8月末現在)</td><td>計</td></tr><tr><td>飲食店</td><td>37</td><td>33</td><td>70</td></tr><tr><td>小売店</td><td>1</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>計</td><td>38</td><td>56</td><td>94</td></tr></table>		H28	H29(8月末現在)	計	飲食店	37	33	70	小売店	1	23	24	計	38	56	94
	H28	H29(8月末現在)	計														
飲食店	37	33	70														
小売店	1	23	24														
計	38	56	94														
関連ホームページ	http://www.city.kakogawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kankyobu/genryo/gomigenryokashisaku/1480379547756.html																

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 2 1

施策・事業名称	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業			
自治体名	鳥取県			
本件問合せ先	担当課	循環型社会推進課		
	電 話	0857-26-7198	メール	junkanshakai@pref.tottori.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	9 その他			
	・「とっとり食べきり協力店」(平成 26 年度～) ・ 4 R 実践活動によるごみ減量効果等の推計調査 (平成 27 年度) ・「おいしい! とっとり 30・10 食べきり運動」(平成 28 年度～) ・ 幼児を対象とした意識啓発活動事業 (平成 29 年度) ・ 事業者向け食品ロス削減研修会・フードバンク意見交換会 (平成 29 年度)			

立案の背景 (ねらい)	鳥取県廃棄物処理計画の基本理念「ごみゼロ社会を目指した 4 R 実践の地域づくり」の実現に向け、可燃ごみの約 2 割を占める「食品ロス」の削減を重点として、ごみ減量の県民運動を進める。		
内容	<p>(1) 「とっとり食べきり協力店」</p> <p>家庭や事業所から排出される食べ残し等を減らすために協力していただく飲食店等を「とっとり食べきり協力店」として登録。(29 年度から小売店を追加)</p> <p>登録店舗の情報は、県のホームページのほか、フリーペーパー(生活情報誌)を活用して P R。</p> <div style="text-align: right;">(ステッカー)</div>		
	対象店舗	県内で営業する飲食店、宿泊施設、食品を取り扱う小売店等	
	取組項目	<p>次のうち、1 つ以上を実践する店舗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小盛りメニュー等の導入 ・食べ残しを減らすための呼びかけ実践 ・必要な量を購入できる販売方法の導入 ・割引販売等による商品廃棄量の削減 ・ポスター等の掲示による食品ロス削減に向けた啓発活動の実施 ・食品廃棄物のリサイクルの実施 ・上記以外の食品ロスを減らすための工夫 	



(2) 4 R実践活動によるごみ減量効果等の推計調査

ア 家庭系生ごみ等の組成調査

ごみステーションに排出された可燃ごみ中の生ごみについて、詳細な組成調査を実施。

イ 4 R実践活動によるごみ減量効果等の推計調査

アの調査結果等を用いて、家庭における4 R実践活動による各種効果を推計し、リーフレットやパネルを作成。出前講座やイベント等での啓発に活用。



(3) 「おいしい！とっとり30・10食べきり運動」

忘新年会や歓送迎会などの宴会シーズンに合わせて、宴会での食べ残しの削減を図る啓発活動を実施。

商工会議所連合会等に対して、企業での取組に協力要請を行うとともに、食べきり協力店等の店頭でポスターやチラシ、卓上ポップにより啓発。



(商工会議所への要請活動)

(歓送迎会向けポスター・チラシ)

(4) 幼児を対象とした意識啓発活動事業

子ども（特に幼児）を対象として、ペープサートや紙芝居、歌などを用いて、食べ物大切さやごみの減量のためにできることを分かりやすく伝える啓発活動を実施（委託事業：企画提案型で受託者を公募）。

(5) 事業者向けの食品ロス削減研修会・意見交換会

ア 食品ロス削減に向けた研修会

食品流通事業者を対象に、経営の視点から流通過程で発生する食品ロスの削減を有効に進めるための手法を学ぶ研修会を実施。

イ フードバンク活動に関する意見交換会

フードバンク等の食料支援団体や食品流通事業者等が一堂に会し、活動状況や余剰食品の状況などについて情報交換を行うとともに、余剰食品の有効利用（マッチング）を模索。

成果指標や目標 とその確認方法	鳥取県廃棄物処理計画（計画期間：H27 年度～H30 年度） 一般廃棄物排出量 H27 年度（実績） 2 0 7 千トン H30 年度（目標） 1 9 3 千トン
施策のポイント	食品ロスの発生実態や食品ロス削減の取組による効果を具体的な数値で示すことにより、取組の必要性を明確にするとともに取組の実践につなげる。
効果や成果	食べきり協力店登録数：6 1 店舗（平成 29 年 8 月末時点）
関連ホームページ	http://www.pref.tottori.lg.jp/tabekiri/

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 2 2

施策・事業名称	おかやま 30・10 運動 食品ロス削減キャンペーン事業 食品ロス削減・家庭ゴミ削減促進事業			
自治体名	岡山県			
本件問合せ先	担当課	環境文化部循環型社会推進課		
	電 話	086-226-7306	メー ル	junkan@pref.okayama.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成 29 年度～			

立案の背景 (ねらい)	食品ロスの現状について県民に周知し、削減に向けた取組を進める る行動につなげるために各種事業を展開している。
内容	1 おかやま 30・10 運動 ・全県に向けて、「30・10 運動」を P R。 ・副知事、県幹部による飲食店の団体や経済界に対する取組への参加要請、HP、フェイスブック、地元紙への広告の掲載等を行っている。 ○夏のおかやま 30・10 運動 ― のこサマ〜で〜♪ ・取組期間：平成 29 年 7 月 14 日～8 月 31 日 ・岡山弁を交えた呼びかけを実施 ○秋のおかやま 30・10 運動 ― 食べ残し〇（ゼロ・宴）会 ・取組期間：平成 29 年 10 月 25 日～11 月 24 日 ・地域情報誌に趣旨に賛同した飲食店を掲載するとともに、利用者が食べ残しゼロを達成した場合に、特典を提供 ○冬のおかやま 30・10 運動 ― おいしく残さず食べきろう！ ・取組期間：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日 ・全国一斉の「外食時の『おいしい食べきり』全国共同キャンペーン」に合わせて呼びかけを実施

	<p>2 食品ロス削減ヒント集「食品と家計のもったいないを減らそう！」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭で食品ロスを減らすポイントとなる「買いすぎず」「使いきる」「食べきる」の3つの切り口で具体的なアクションを分かりやすく記載した小冊子を作成し、県内市町村や消費者団体等に配布 <p>3 みんなでチェック！わが家のごみー ごみ削減プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月～11月の2か月間、食品ロス削減等を意識し、工夫しながらごみ削減に取り組むことを目的とした県民参加プロジェクトを実施可能 ※現在、取組について集計中 <p>4 その他啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞広告の掲載、啓発資材の作成・配布、県HP等への掲載
成果指標や目標とその確認方法	特になし
施策のポイント	今年度、食品ロス削減に向けた事業をはじめたところなので、まずは多くの人に知っていただくことにポイントを置いている。
効果や成果	少しずつだが、「食品ロス」「30・10運動」という言葉を知っている人が増えてきた。
関連ホームページ	http://www.pref.okayama.jp/page/513196.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 2 3


施策・事業名称	食品ロス啓発 残さず食べよう 3010 運動 ごみ減量講座			
自治体名	岡山県 笠岡市			
本件問合せ先	担当課	市民生活部 環境課		
	電 話	0865-62-3805	メール	Kankyou@city.kasaoka.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	食品ロス啓発…随時 残さず食べよう 3010 運動…H28.12.1～ ごみ減量講座…希望する団体毎随時実施			

立案の背景 (ねらい)	H28 年 7 月，9 月に行った，家庭系可燃ごみのピックアップ組成調査で，約 50%を占める生ごみ，その内の 10%が手つかず食品であった。食品ロスをこれからの忘年会・新年会シーズンに限らず，いろんなシーンで市民や飲食事業者等に呼びかけと周知・啓発を行うことで可燃ごみ（生ごみ）の削減，食品ロスの削減につなげる。
内容	<p>食品ロス啓発</p> <p>市広報誌，HP で随時 PR</p> <p>環境イベント（H29.10.21 開催）で周知・啓発</p> <p>市商工会議所に協力を要請</p> <p>市事業所ごみ連絡会議に協力を要請</p> <p>残さず食べよう 3010 運動</p> <p>市広報誌 12 月号，市 HP，環境イベントなどで PR</p> <p>ごみ減量講座</p> <p>市が行う環境出前講座の中で，「生ごみ減量」について食品ロスに触れ「3 キリ運動」「賞味期限・消費期限」などを紹介しごみ減量へとつなげる。</p>
成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	全戸配布される広報誌と市 HP に掲載することで，年齢層問わず幅広く PR できる。
効果や成果	
関連ホームページ	調整中

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 2 4

施策・事業名称	食べ残しゼロ推進協力店			
自治体名	広島県 広島市			
本件問合せ先	担当課	環境局業務部業務第一課		
	電 話	082-504-2748(直通)	メール	gyomu1-shido@city.hiroshima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年2月～			


立案の背景 (ねらい)	<p>客の要望に沿った量の提供や、宴会等における食べきりの呼びかけ（例：30・10（さんまる・いちまる）運動の実施）などによる食べ残しの発生抑制、食べ残した料理の持ち帰りへの対応など、食品ロス削減に積極的に取り組む飲食店等を「食べ残しゼロ推進協力店」として登録するとともに、市民に広く紹介して、飲食店等から発生する食品ロスの削減を図る。</p>
内容	<p>1 対象事業者</p> <p>広島市内の飲食店等で、広島市暴力団排除条例（平成24年3月27日広島市条例第14号。）第2条第1号に規定する暴力団又は同条第2号に規定する暴力団員等と密接な関係を有するものでないもの。</p> <p>2 登録要件</p> <p>以下の取組項目を3項目以上実践していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大・中・小又は重量単位など、希望する量が選べるメニューの導入 ・ 宴会等における食べ残し削減の呼びかけ ・ ポスターの掲示等による食べ残し削減に向けた啓発の実施 ・ 食べ残しの持ち帰りの対応 ・ 食材を使い切る工夫、食材を余らせない仕入れの工夫等の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使い捨て商品の使用を抑える工夫等の実施 ・ ごみ排出時の水切り等の工夫等の実施 ・ 食べ切った利用者への割引等特典の付与 ・ 上記以外の独自の取組 <div>  <p>スマイル！ひろしま 食べ残しゼロ 推進協力店</p> <p>食品ロス削減国民運動 ロゴマーク「るすのん」</p> <p>協力店ステッカー</p> </div>
成果指標や目標とその確認方法	今後検討する。
施策のポイント	店舗への呼びかけは、飲食店が多く加入している広島県生活衛生同業組合連合会を通じて行うほか、職員が店舗等を個別に訪問する。
効果や成果	今後検証する。
関連ホームページ	http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1485496513383/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 2 5

施策・事業名称	食品ロス削減協力店			
自治体名	広島県 広島市			
本件問合せ先	担当課	環境局業務部業務第一課		
	電 話	082-504-2748(直通)	メール	gyomul-shido@city.hiroshima.lg.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭</div>		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5 協力店舗等の登録</div> 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6 事業者への働きかけ</div> 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年2月～			

立案の背景 (ねらい)	量り売りや小分け売りなどの食品ロス削減の取組を行っている小売店を「食品ロス削減協力店」として登録するとともに、広く市民に紹介して、小売店から発生する食品ロスの削減を図る。
内容	<p>1 対象事業者</p> <p>広島市内の食品小売店で、広島市暴力団排除条例（平成24年3月27日広島市条例第14号。）第2条第1号に規定する暴力団又は同条第2号に規定する暴力団員等と密接な関係を有するものでないもの。</p> <p>2 登録要件</p> <p>以下の取組項目を、3項目以上（（10）～（12）を1項目以上含む。）を実践していること。</p> <p>（1）包装の簡素化、適正化の推進</p> <p>（2）レジ袋の削減のための、レジ袋の有料化</p> <p>（3）再生品の販売</p> <p>（4）食品トレイ、ペットボトル、缶、ダンボール、牛乳パック 廃食用油など4品目以上の店頭回収の実施</p> <p>（5）製品の修理・補修の実施</p> <p>（6）ポスターの掲示等によるごみの減量・リサイクルに向けた啓発の実施</p> <p>（7）不用品交換会、集団回収等を実施する地域の団体等に対し、自ら管理する土地の使用を認める等の支援の実施</p>

	<p>(8) ごみの減量・リサイクルを進めるための内部組織を設置する等推進体制の整備</p> <p>(9) その他、各店舗の創意工夫によるごみの減量・リサイクルの取組</p> <p>(10) 食品の、量り売り、小分け売りの実施</p> <p>(11) 食品廃棄物の、食品リサイクル施設でのリサイクル処分の実施</p> <p>(12) 寄附等による、売れ残り・規格外商品等の有効活用</p>	
成果指標や目標とその確認方法	今後検討する。	協力店ステッカー
施策のポイント	<p>店舗への呼びかけは、市民団体、事業者及び本市で構成する「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」に加入している事業者を通して行うほか、職員が店舗等を個別に訪問する。</p>	
効果や成果	今後検証する。	
関連ホームページ	http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1485496551851/index.html	

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 2 6

施策・事業名称	啓発チラシ「週に一度は冷蔵庫の整理・整頓」の各戸配付			
自治体名	広島県 広島市			
本件問合せ先	担当課	環境局業務部業務第一課		
	電 話	082-504-2748(直通)	メール	gyomul-shido@city.hiroshima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
事業実施期間	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			

立案の背景 (ねらい)	週に一度の冷蔵庫の整理・整頓によって家庭からの食品ロスの主な発生源である冷蔵庫の整理・整頓を広く市民に呼びかけることにより、食品の食べ忘れなどによる食品ロスを削減する。
内容	<p>毎年度、家庭ごみ収集日程表に併せて各戸配付している減量・資源化のチラシを平成29年度（平成28年度末に配付）は、「週に一度は冷蔵庫の整理・整頓」というタイトルで、食べ忘れを防いだり、食材を長持ちさせたりする方法を掲載したものとした。</p> 

A3 チラシ外面

食品ロス削減のための「施策バンク」 127

施策・事業名称	フードドライブの実施			
自治体名	広島県 広島市			
本件問合せ先	担当課	環境局業務部業務第一課		
	電 話	082-504-2748(直通)	メー ル	gyomu1-shido@city.hiroshima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間				

立案の背景 (ねらい)	家庭で余っている缶詰や食品等を持ち寄ってもらい、福祉団体等に寄付するフードドライブを実施することで、家庭における食品ロスの削減を図る。
内容	<p>家庭で余っている缶詰やレトルト食品等を持ち寄ってもらい、フードバンクを通じて福祉団体等に寄付するフードドライブを、環境イベントへの出展ブースで実施する。</p> <p>○食品の条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞味期限が1か月以上あるもの ・未開封であるもの ・常温で保存が可能なもの ・包装や外装が破損していないもの ・包装や外装を他のものに移し替えていないもの（ただし、お米は除く）
成果指標や目標 とその確認方法	今後検討する。
施策のポイント	より定量的な効果が上がる事業とするため、フードドライブの常設の可能性について、関係団体と協議を重ねている。
効果や成果	今後検証する。
関連ホームページ	http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1492490073836/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 128

施策・事業名称	ごみ減らそうデーの実施		
自治体名	広島県 広島市		
本件問合せ先	担当課	環境局業務部業務第一課	
	電 話	082-504-2748(直通)	メール gyomul-shido@city.hiroshima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ
事業実施期間	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他		

立案の背景 (ねらい)	食材の調達場所であるスーパーマーケットの店頭で、来店者に対し、食材を買い過ぎない、食材を使い切るなど、食品ロスを削減するためのポイントを広く呼びかける。
内容	<p>毎月1日を「ごみ減らそうデー」として、スーパーマーケットの店頭で、パネルの展示、アンケートの実施、啓発物の配布を行うなど、買い物客を対象とした啓発活動を実施する。</p> <p><啓発活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの減量に関するアンケートの実施 ・ アンケート協力者には、ガラポン抽選くじを引いてもらい、水切りネットなどのエコグッズを提供。 ・ マイバック持参者をカウントし、買い物袋持参率をチェック。 ・ パネル等の展示。
成果指標や目標 とその確認方法	今後検討する。
施策のポイント	広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会を構成するスーパーマーケット各社の持ち回りにより、毎年約8店舗（6・7・8・10・11・12・2月）で実施。
効果や成果	今後検証する。
関連ホームページ	http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1000000000309/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 129

施策・事業名称	エコクッキング教室の実施			
自治体名	広島県 広島市			
本件問合せ先	担当課	環境局業務部業務第一課		
	電 話	082-504-2748(直通)	メー ル	gyomu1-shido@city.hiroshima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間				

立案の背景 (ねらい)	普段は廃棄しがちな食材の部位や、余った食材などを活用するエコクッキングレシピを参加者に実践していただく講習会を実施することで、家庭での食品ロスの削減の意識の向上を図る。
内容	広島県栄養士会の方に講師をしていただき、市民を対象に、余った食材などを活用するエコクッキングレシピを参加者に実践してもらうため、公民館との共催で講習会を実施する。
成果指標や目標 とその確認方法	今後検討する。
施策のポイント	
効果や成果	今後検討する。
関連ホームページ	http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1492490096005/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 130



施策・事業名称	生ごみリサイクル講習会			
自治体名	広島県 広島市			
本件問合せ先	担当課	環境局業務部業務第一課		
	電 話	082-504-2748(直通)	メー ル	gyomu1-shido@city.hiroshima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント		
	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育		
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ		
	7 消費者団体または住民団 体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理		
	9 その他			
事業実施期間				

立案の背景 (ねらい)	家庭系可燃ごみのうち約4割を占める生ごみを削減するために、家庭での生ごみのたい肥化方法を学ぶ講習会を開催する。
内容	ミミズ、EM菌、ダンボールの活用により、家庭で生ごみを堆肥に再生する方法を、それぞれの専門家が参加者に説明する講習会を公民館との共催で実施するとともに、講習内容の動画を市ホームページに掲載する。
成果指標や目標 とその確認方法	今後検討する。
施策のポイント	
効果や成果	今後検証する。
関連ホームページ	http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1492490124053/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 3 1



施策・事業名称	食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」の実施			
自治体名	広島県 広島市			
本件問合せ先	担当課	環境局業務部業務第一課		
	電 話	082-504-2748(直通)	メー ル	gyomu1-shido@city.hiroshima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成29年2月1日開始			

立案の背景 (ねらい)	市民と事業者が一体となって食品ロス削減に取り組む環境を整備するとともに、取組の機運を醸成するため、食品ロス削減のための諸事業をとりまとめて食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」として展開する。
内容	<p>食品ロス削減のため、市民団体、事業者及び本市で構成する広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会において、平成29年2月1日から、食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」を開始。家庭における食品ロス削減対策として、食べ忘れを防いだり、食材を長持ちさせる方法を掲載したチラシ「週に一度は冷蔵庫の整理・整頓」を町内会等を通じて各戸に配布し、啓発をするとともに、飲食店やホテル・旅館等における料理の食べきりや持ち帰りを推進する「食べ残しゼロ推進協力店」と食品を主に扱う小売店における食品ロスの削減を推進する「食品ロス削減協力店」の登録・PRを行うほか、エコクッキング教室等の既存の啓発事業についても、キャンペーンの一環として展開する。</p> <p>《キャンペーンを構成する事業》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 食べ残しゼロ推進協力店 ② 食品ロス削減協力店 ③ 啓発チラシ「週に一度は冷蔵庫の整理・整頓」の各戸配付 ④ フードドライブの実施 ⑤ 「ごみ減らそうデー」の実施 ⑥ エコクッキング教室の実施 ⑦ 生ごみリサイクル講習会の実施

	《キャンペーンの名称及びロゴマークについて》	
	名称	ロゴマーク
	<p>食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」</p> <p>このキャンペーンが、①食品ロス削減のために、市民、事業者、行政が一体となった取組を促進するものであること、②その結果として、「もったいない」を取戻し、広島市では、食べ物が捨てられるという状況が解消され、食品ロス削減国民運動ロゴマーク「ろすのん」の涙目の表情が笑顔に変わることを願って、「スマイル！ひろしま」とする。</p> 	 <p>食べものに、もったいないを、もういちど。 食品ロスをなくして、広島に笑顔を広げよう。</p> <p>食品ロス削減国民運動 ロゴマーク「ろすのん」</p> <p>広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会</p>
成果指標や目標とその確認方法	検討中	
施策のポイント	機運醸成のためのシンボルマークやポスター等の作成。	
効果や成果	今後検討する。	
関連ホームページ	http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/1485843634753/index.html	

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 3 2

施策・事業名称	やまぐち食べきり運動 「やまぐち食べきり協力店」の登録			
自治体名	山口県			
本件問合せ先	担当課	廃棄物・リサイクル対策課		
	電 話	083-933-2992	メー ル	a15700@pref.yamaguchi.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成23年度～			

立案の背景 (ねらい)	宴会や外食時の食べ残しを減らすため、食べきりメニューの提示や食材の使い切りなど、飲食店の率先した取組を促進する。
内容	<p>食品ロスの削減に向けた県民運動を展開するため、山口県食品ロス削減推進協議会の指針にある取組を実践する旅館・ホテルや飲食店について、「やまぐち食べきり協力店」として登録する。</p> <p>○ 登録要件</p> <p>以下の取組指針のうち、3項目以上を実践する事業者を協力店として登録する。</p> <p>①情 報 提 供 (食べきりメニューの提示 等)</p> <p>②情 報 収 集 (お客様への聞き取り 等)</p> <p>③仕入・保存・調理 (食材の使いきり 等)</p> <p>④料 理 提 供 (品出し方法の工夫 等)</p> <p>⑤有 効 活 用 (食品廃棄物のリサイクル 等)</p> <p>○ 協力店の主なメリット</p> <p>▽山口県のホームページやフェイスブックで県民に広く紹介</p> <p>▽ポスター、ステッカー、卓上広告 (POP) を協議会が提供</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ステッカー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卓上広告</p> </div> </div>

成果指標や目標 とその確認方法	<p>目標※ 300店舗（H32）</p> <p>※ 山口県循環型社会形成推進基本計画の目標として設定</p>
施策のポイント	<p>10月～1月に「やまぐち食べきりキャンペーン」を実施し、新規登録店が増加するよう、食品関係の団体・事業者に対して、積極的な呼びかけをお願いしている。</p>
効果や成果	<p>取組当初 61店舗（H23.6）</p> <p>現 在 248店舗（H29.9.8現在）</p>
関連ホームページ	<p>http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15700/24shokuhin/24shokuhin.html#shop</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 133

施策・事業名称	J2レノファ山口の選手や地元アイドルからの食品ロス削減啓発メッセージの放送			
自治体名	山口県			
本件問合せ先	担当課	廃棄物・リサイクル対策課		
	電 話	083-933-2992	メール	a15700@pref.yamaguchi.lg.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	4 子供への啓発・教育	
	3 食品ロスの実態調査		6 事業者への働きかけ	
	5 協力店舗等の登録		8 食材使いきり、リメイク料理	
	7 消費者団体または住民団体との連携			
	9 その他			
事業実施期間	平成29年7月～			

立案の背景 (ねらい)	・食べ残しを削減するため、J2レノファ山口FC選手や地元アイドルからの食品ロス削減メッセージ(音声)を県内小中学校等に配布するとともに、関連イベント等を実施する。
内容	<p>○メッセージの構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手の一言(強い身体を作るために食事は大事 等) ・食べ残し削減(もったいないの心で食べ残しを減らそう 等) ・応援のお願い(次はスタジアムで会おう! 応援よろしく! 等) <p>○関連イベント</p> <p>小学校の給食時間に、選手や地元アイドルが訪問し、食べ残し削減を啓発(一緒に給食を食べきり)</p> <p>○ラジオCM</p> <p>メッセージをラジオCMとして、県内に放送</p>
成果指標や目標とその確認方法	特になし
施策のポイント	各小中学校等が、校内放送等で手軽に使用できるよう、1分半程度の短い音声メッセージとした。
効果や成果	・学年ごとに毎日の給食の食べ残しをチェックするなど、メッセージをきっかけとして、各学校の自主的な取組が広がった。
関連ホームページ	なし

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 3 4

施策・事業名称	サバイバルエコツアー			
自治体名	徳島県			
本件問合せ先	担当課	県民環境部 環境首都課 環境創造担当		
	電 話	088-663-5371	メール	ecomirai@mail.pref.tokushima.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年9月23日			

立案の背景 (ねらい)	・食品ロスを削減するためにはどうすればよいのか、実体験を通して学ぶ。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者：小学5・6年生 ・食品ロスについて講義後（バス移動中：20分程度）小学生5人 大人2人、合計7人ずつの4チームに分かれ、キャンプ場でカレーを作る。各チームに渡す材料は全て同じ分量であるが、チーム内の調理方法及び出来上がったカレーの盛り付け方法（均等か、各自で盛り付けかわりするか）により発生する食品ロスの量が変わる。食事後、各チームが食品ロスの発生量等について話し合い、考える。
成果指標や目標とその確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント終了後にアンケート調査を行う。 参考：平成28年度での実施では、参加者全員が食品ロスについてイベント参加前より「よくわかった」又は「同じ」を選択した。
施策のポイント	・同じ人数、同じ分量で調理しても、皮の厚むきや過剰削除、食べ残しなどで発生する食品ロスの量が変わることを実体験で学べる。
効果や成果	・平成28年度に続き実施予定。昨年度の参加者から2年連続で申し込みがあった。
関連ホームページ	「とくしまの環境」 www.pref.tokushima.jp/kankyo/

食品ロス削減のための「施策バンク」 135


施策・事業名称	作って、食べて、食品ロスについて考えよう！			
自治体名	徳島県			
本件問合せ先	担当課	県民環境部 環境首都課 環境創造担当		
	電 話	088-663-5371	メー ル	ecomirai@mail.pref.tokushima.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年8月4日・18日・25日 9月2日			

立案の背景 (ねらい)	・食品ロスを削減するためにはどうすればよいのか、実体験を通して子供が学び、その活動状況を見て家族も学ぶ。
内容	<p>・対象者：小学5・6年生</p> <p>・食品ロスについての講義（30分程度）を聞いた後、3人1組に分かれ、会場内に予め用意した食材から3種類の食材を必ず使用し、インスタントラーメンを作って食べる。野菜の種類や量（1本の人参か、半分の人参か、など）、袋麺の数なども子供たちで相談して決める。食材には値段を書いてあり、料理前に1g当たりの単価を算出、食事後、食べ残しや調理中に出た食品ロスの重さを量り、算出していた単価を掛ける。</p> <p>・活動中の子供の様子（気づいたこと、良い行動など）を写真付きで報告書を作成し、各家庭に送付する。裏面等には家庭でできる食品ロス削減のための取組方法等を記入し、周知する。</p>
成果指標や目標とその確認方法	・座学の講義の後に実践を行うため、参加した子供が実体験として食品ロスについて学べる。イベント終了後に行ったアンケート調査では100%の参加者が、イベント参加前より食品ロスについて「よくわかった」又は「同じ」を選択した。
施策のポイント	<p>・予め自分たちが選んだ食材の1g当たりの単価を算出しているため、チームが出したのがどれほどの重さの食品ロスなのかというもったいなさだけではなく、お金の無駄にも気づかせる。</p> <p>・親元から離れているときの子供の様子を知らせるため、送付する</p>

	<p>報告書はそれなりの期間、捨てられず家庭内にあるのではと思われる。そのため、裏面等で周知する家庭でできる食品ロス削減の取組方法についても、何度か目にして実践されるだろう。</p>
効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント参加者の全てが「楽しかった」を選択した。また、今年6年生の参加者から「来年は中学生対象を行ってほしい」という要望もある。 ・昨年度行った「食品ロス」イベントに5年生時に参加した複数の参加者が、6年生となった今回のイベントにも2年連続で参加申し込みがあった。
関連ホームページ	<p>「とくしまの環境」 www.pref.tokushima.jp/kankyo/</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 136

施策・事業名称	食品ロス削減に向けたパネルの貸出し・展示			
自治体名	徳島県			
本件問合せ先	担当課	県民環境部 環境首都課 環境創造担当		
	電 話	088-663-5371	メー ル	ecomirai@mail.pref.tokushima.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	通年			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・県が所有する食品ロス削減へ向けた啓発パネル6点を県内各市町村へ貸出し、展示し、県民に対して啓発を行う。 ・各環境関連イベント等においてパネルを展示し、啓発を行う。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各市町村に対し、パネル展示の要望調査を行い、依頼に応じてパネル6点の貸出しを行う。貸出し期間等は協議により決定。 ・県内各地で行われる環境関連イベントや大会、学習活動においてパネル展示を行う。 <p>【パネル画像】</p> 
成果指標や目標とその確認方法	
施策のポイント	
効果や成果	
関連ホームページ	

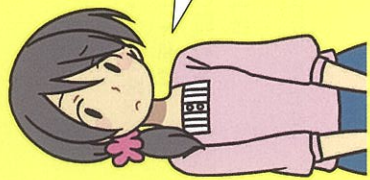
食品ロス削減のための「施策バンク」 137

施策・事業名称	食品廃棄物削減推進事業			
自治体名	香川県			
本件問合せ先	担当課	環境森林部 廃棄物対策課		
	電 話	087－832-3223	メー ル	se7569@pref.kagawa.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年度～			

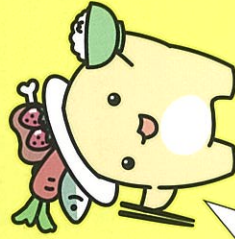
立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの総排出量の抑制を図るうえで、焼却施設で燃やされるごみのうち、3割以上が厨芥類（生ごみ）であることに着目し、これの発生抑制を図る。 ・食品廃棄物のうち、約34%（H26年度）を占めると国で推計されている食品ロスは、本来食べられるものであるため、対策を講じることにより、削減できる余地があると考えられる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の立案にあたり、有識者からなる「香川県食品廃棄物削減推進協議会」に意見を伺うとともに、各委員の協力を得ながら事業を実施 ・食品ロスを減らすライフスタイルは環境・身体・家計にメリットがあることを示し、県民にスマート・フードライフというネーミングで啓発し、食品ロス問題の認知向上と取組みの促進を図る。啓発にあたっては、新たに作成した推進キャラクター（たるる）を活用 スマート・フードライフ啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート・フードライフセミナーの実施（9月11日） ・街頭キャンペーン（11月予定） ・啓発資材作成（冊子・リーフレット等）※別添のとおり その他、関連事業 <ul style="list-style-type: none"> ・30・10運動の実施（予定） ・小盛・ハーフサイズメニュー等の導入要請(予定)
成果指標や目標 とその確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一日あたりのごみ排出量を 895 g (H25 年度)から 815 g (H32 年度)に減らす。

<p>施策のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみ」「削減」といったマイナスイメージを避け、明るく、かつこいいというイメージで、「スマート・フードライフ」というライフスタイルの提案として実施。また、それは環境・身体・家計にメリットがあることを提示 ・スマート・フードライフセミナーにおいては、食品ロス問題を分かりやすく認識してもらうために、農林水産省のタイアップ映画でもある「0円キッチン」を上映 ・新聞等に取り上げてもらいやすくするため、推進キャラクターの名前を公募するとともに、セミナー参加者募集とキャラクター名称募集を1枚のチラシの表裏で同時募集としたことが、街頭等での配布のしやすさにつながった（セミナーの募集として配布するよりは、キャラクター名募集として配る方が受け取ってもらいやすい。）。 ・食品ロス削減の必要性をごみの削減や単なる環境問題と位置付けず、SDGsとしての社会・経済を含めた総合的な観点からの必要性として位置付けた。 ・企業等の協力の支障とならないように、県と市町の連携を密にし、キャンペーン等は統一感をもって行うこととしている。
<p>効果や成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート・フードライフセミナーの来場者アンケートでは、概ね好評を得ている
<p>関連ホームページ</p>	<p>http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/haitai/index.shtml ※HP修正中</p>

だから今、スマート・フードライフ



なぜスマート・フードライフに取り組まなきゃいけないのかしら？



このままの暮らしがずっと成り立つの？



未来のことを考えると、食品ロスは減らさなきゃいけないんだよ。環境・経済・社会を一体的に考え、「持続可能な発展を图らなきゃダメだ！」と、世界の各国が考えるようになり、国連で2030年に向けたSDGs(エスディーズ)という17分野の目標が立てられたんだ。食品廃棄物・食品ロスの削減もこの目標に含まれているんだよ。

それに、香川県の家庭ごみが燃やされている焼却処分場では、処理量の約3割が生ごみなんだ。食品ロスが減れば、ごみの量も処分費もCO₂も減らせるよね。

持続可能な生産・消費を考えなきゃ!!

大量の食品が大変なこと!

※2 日本国内で、1年間に食用として出回った食料の総量

8,294万トン



※2 食用仕向量を指しています。なお、この図は環境省及び農林水産省が公表した「食品廃棄物等の利用状況等(平成26年度推計)(概念図)」を元に簡略化したものです。
(<http://www.env.go.jp/press/files/jp/105509.pdf>)

※3 食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)により、食品関連事業者は食品廃棄物の再生利用等に取り組んでいます。

今日から取り組む スマート・フードライフ

Smart・Food Life

～食に関するライフスタイルの提案～



スマート・フードライフは、環境にかしこく、身体にかしこく、家計にもかしこい。食品ロスを減らすライフスタイルは3つのかしこいとながっています。楽しいスマート・フードライフを県では提案していきます。

かがやけん、かがわけん。

香川県

食品ロスとは

本来、食べられるにもかかわらず捨てられている食品を「食品ロス」といいます。食べ残し、消費期限切れなどで捨てられており、日本では毎日一人当たり約134g（H26年度（そのうち半分程度は家庭から））出しています。“本来、食べられるもの”捨てるのはもったいないですよね。

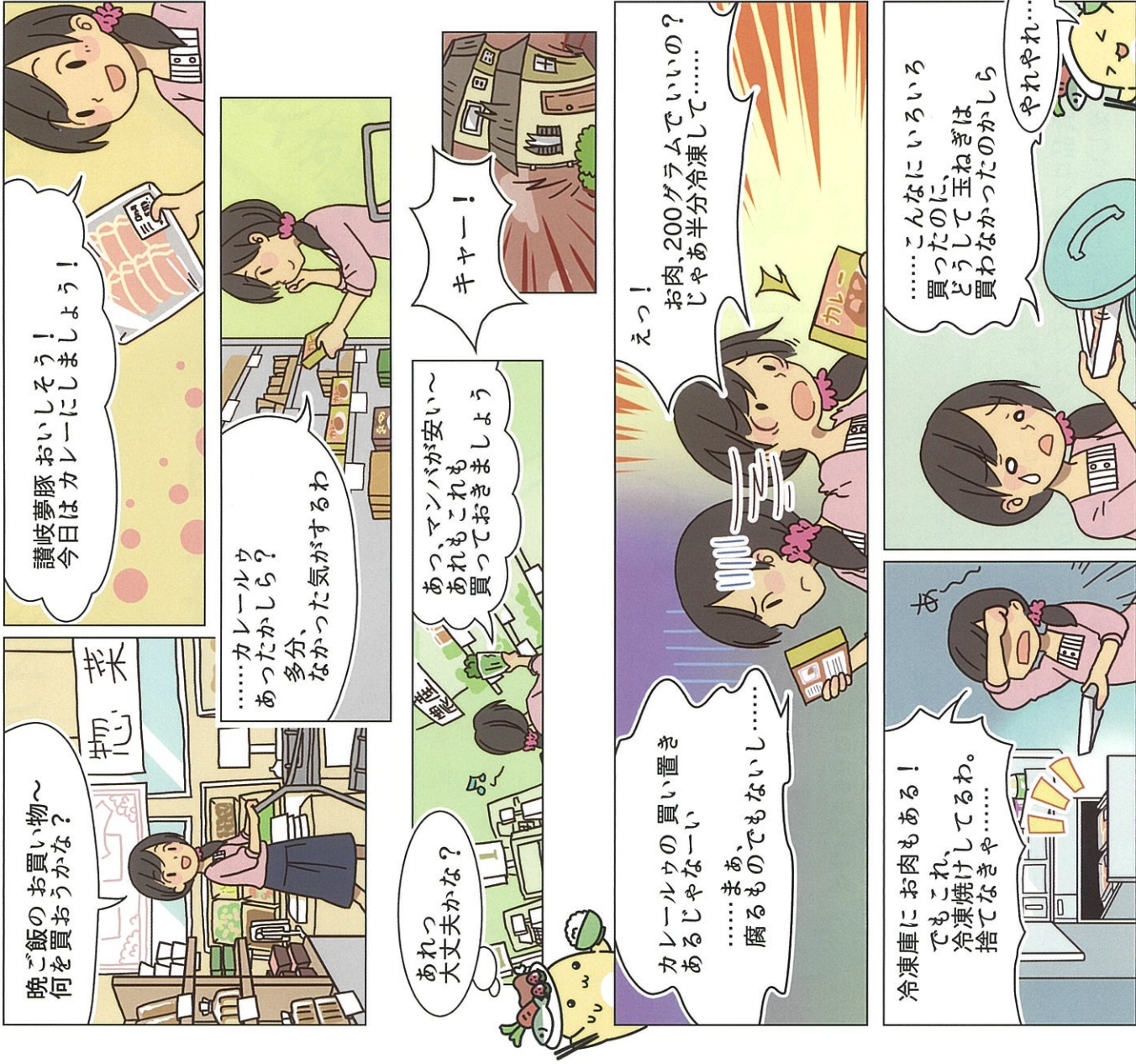
スマート・フードライフとは

環境にかしこい

食品が食卓に上るまでの間に、飼料や肥料、流通（燃料）など、多くの資源・エネルギーが使われています。食品を食べるということは、この資源・エネルギーを無駄にしないだけでなく、食品ロスをごみとして処理したり、飼料・肥料などへリサイクルする際に必要な資源・エネルギーの消費やCO2排出量をゼロにするということです。

A子さん

買い物に行きました。その食品は今、必要？



A子さんとB子さん、違いは、**冷蔵庫の中身を確認すること**、**買い物メモを作ること**ですね。冷蔵庫をあらかじめ確認すれば、消費期限が今日の**買い物メモ**を見つけることもできるようし、メニューのアイデアもひらめきます。

身体にかしこい

生活習慣病の要因の一つでもある食習慣。健康で心豊かな暮らしのためには、食育の視点を持って「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、自分にとつての適量を考え、バランスよく食べることが重要です。作り過ぎると食べ過ぎにつながってしまいます。

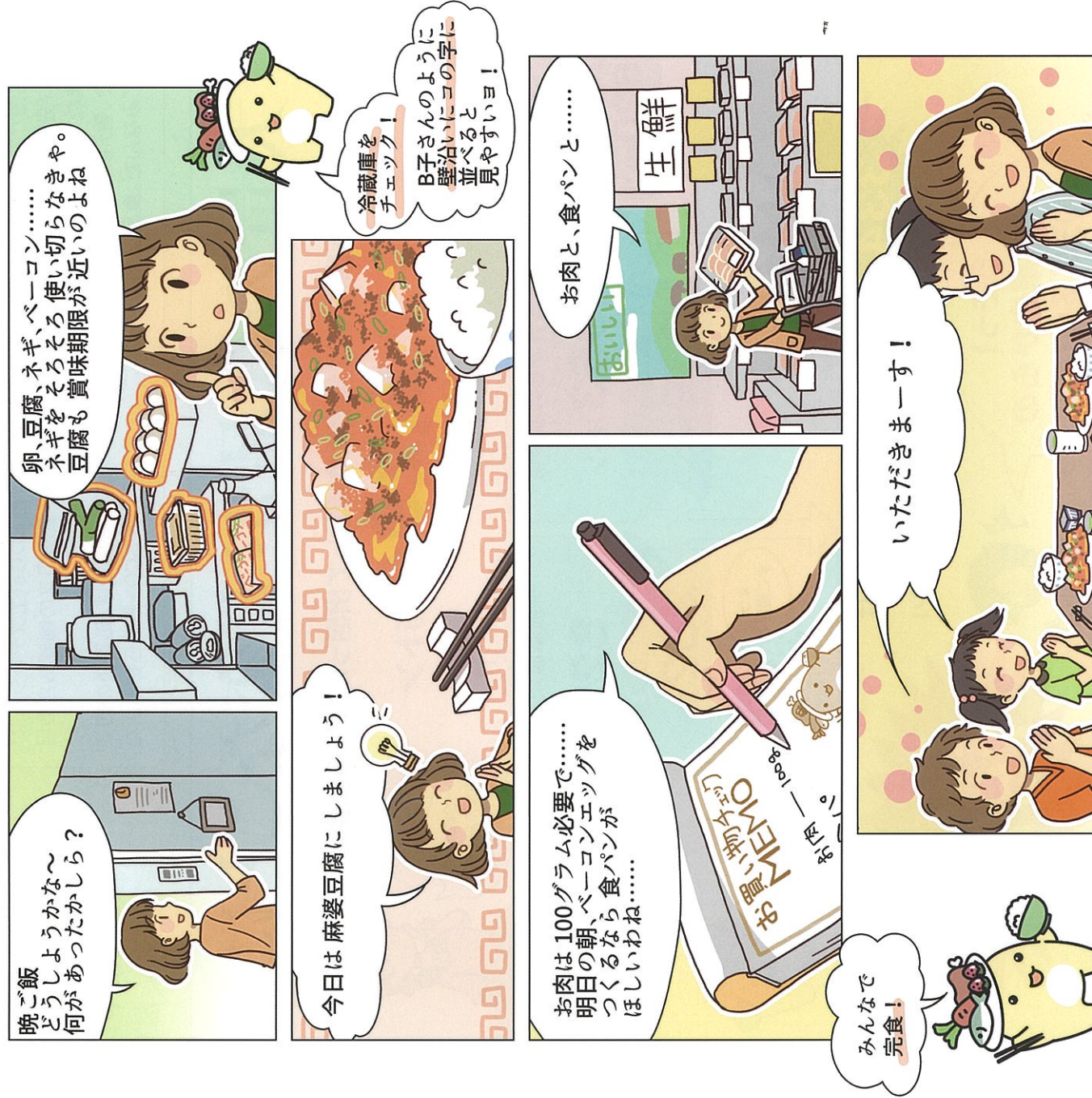
家計にかしこい

食品を捨てる時、その捨てている部分についてもお金を出して買ったものです。ある試算※1では、食べ残しと手付かず食品の無駄は、4人家族で年間約60,000円との結果があります。2か月に1回は、家族で外食できそうな金額ですね。

※1 京都市HP京都市ごみすっきり情報館
(<http://sukkiri-kyoto.com/data/gomidata#gomidata3>) より引用

B子さん

必要な物を必要な量だけ買う。it's smart!



また、買うべきものをメモすることで買い忘れも防げます。そして、メモしたのだけを買うように心がけよう。
今日使うつもりのない食品は明日買った方が新鮮ですよ。

食品ロス削減のための「施策バンク」 138

施策・事業名称	おいしい食べきり運動推進事業 愛媛県食品ロス削減推進協議会			
自治体名	愛媛県			
本件問合せ先	担当課	県民環境部 環境局 循環型社会推進課		
	電 話	089-912-2356	メー ル	junkan-shakai@pref.ehime.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1	住民啓発	2	キャンペーン・イベント
	3	食品ロスの実態調査	4	子供への啓発・教育
	5	協力店舗等の登録	6	事業者への働きかけ
	7	消費者団体または住民 団体との連携	8	食材使いきり、リメイク料理
	9	その他		
事業実施期間	平成 29 年度～			

立案の背景 (ねらい)	食品ロスの削減に向けて、県民総ぐるみで「食べきり県民運動」を推進することにより、食品廃棄物の発生抑制及び減量化を促進し、3Rの推進を図る。
内容	愛媛県食品ロス削減推進協議会（平成 29 年 5 月設置） ・委員：29 名（県内市町、県食品衛生協会、県関係課） ・内容：第 1 回（平成 29 年 6 月 8 日） 議題①食品ロス削減に関する先進地の取組みについて 基調講演「おいしいふくい食べきり運動について」 講師：福井県循環社会推進課 大石主任 議題②食品ロス削減に関する県及び市町等の取組みについて 各自治体等が実施している取組みを発表
成果指標や目標 とその確認方法	県民 1 人 1 日当たりのごみ排出量を 915 g（H27）から 868 g（H32）に減らす。
施策のポイント	食品ロス削減のためには、多くの関係者・団体に参加していただくことが必要だが、まずは「事業系一般廃棄物」の削減を目的に、県内 20 全市町の参加を得て、協議会を設置した。
効果や成果	今年度中に第 2 回会議を開催し、今年度の事業の成果をもとに、来年度以降の事業の実施に向けて検討を行う予定。
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 139

施策・事業名称	おいしい食べきり運動推進事業 おいしい食べきり運動推進店モデル事業			
自治体名	愛媛県			
本件問合せ先	担当課	県民環境部 環境局 循環型社会推進課		
	電 話	089-912-2356	メー ル	junkan-shakai@pref.ehime.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民 団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成 29 年度			

立案の背景 (ねらい)	宴会時や外食時の食べ残しを減らすため、食品ロスを削減するための取組みを実践する飲食店を一定期間「登録店」とし、効果測定を行い、今後の取組みの検討材料とする。
内容	<p>食べ残しを減らす取組みを実践する飲食店、宿泊施設等を「おいしい食べきり運動推進店」として登録し、一定期間、各店舗に応じた取組みを実践する。</p> <p>県HPや生活情報誌等で推進店や取組内容を紹介し、県民の皆さんに広く周知する。</p> <p>キャンペーン終了後、推進店に対しアンケート調査を実施し、キャンペーン中の食品ロスの削減効果や課題等を検証する。</p> <p>食べ残しゼロキャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：平成 29 年 8 月～9 月（2 ヶ月間） ・推進店：県内の飲食店等 56 店舗 ・取組内容： <ul style="list-style-type: none"> ①お客様が食べ残しをしなかった場合の特典（割引や景品等）の提供 ②ハーフサイズや小盛り、量が調整できる等のメニューの設定 ③宴会等で食べ残しを減らすための呼びかけ実践 ④食品廃棄物のリサイクルの実施 ⑤上記以外の独自の食べきりサービスの提供や工夫 ・その他 <p>推進店に啓発用のポスター及びステッカーを掲示してもらうほ</p>

	<p>か、県HPや生活情報誌等で周知を行う。</p> <p>＜ポスター＞</p>  <p>＜ステッカー＞</p> 
成果指標や目標とその確認方法	<p>県民1人1日当たりのごみ排出量を 915 g (H27) から 868 g (H32) に減らす。</p>
施策のポイント	<p>推進店の登録やポスター等の制作・配付は、生活情報誌やランチパスポート等を刊行している民間企業に委託し、様々な分野の飲食店の参加に努めた。</p>
効果や成果	<p>キャンペーン期間が9月末までなので、効果や成果はこれから。</p>
関連ホームページ	<p>https://www.pref.ehime.jp/h15700/29tabekiriundou.html</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 140

施策・事業名称	おいしい食べきり運動推進事業 食品ロス削減アイデアの募集			
自治体名	愛媛県			
本件問合せ先	担当課	県民環境部 環境局 循環型社会推進課		
	電 話	089-912-2356	メール	junkan-shakai@pref.ehime.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
事業実施期間	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民 団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			

立案の背景 (ねらい)	広く県民から食品ロス削減のためのアイデアを募集することで、主体的に食品ロスに対して関心を持ってもらうとともに、県・市町において、応募のあったアイデアの施策化検討を行うほか、HP等での普及啓発を図る。		
内容	<p>【募集内容】</p> <p>家庭、飲食店、小売店、スーパー、食品製造業、職場、学校及び自治体など様々な場所や場面において取り組むことができる、食品ロスの削減に繋がるアイデア</p> <p>【応募資格】</p> <p>愛媛県内に居住する個人</p> <p>【表彰】</p> <p>優秀アイデア賞 3 点（賞金 1 万円）</p> <p>【その他】</p> <p>応募のあったアイデアの一部は、県HP等に掲載</p>		
成果指標や目標 とその確認方法	県民 1 人 1 日当たりのごみ排出量を 915 g（H27）から 868 g（H32）に減らす。		



施策のポイント	自身が実施しているアイデアを募集することで、身近なところからの食品ロス削減のPRを図る。
効果や成果	9月29日を募集期限としているため、効果や成果はこれから。
関連ホームページ	https://www.pref.ehime.jp/h15700/tabekiri/29syokurosusakugenidea.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 4 1

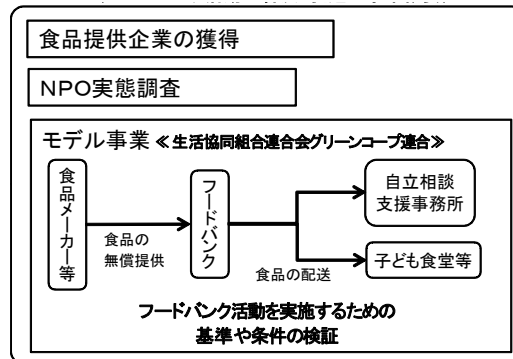
施策・事業名称	食品ロス削減推進事業（福岡県食品ロス削減県民運動）			
自治体名	福岡県			
本件問合せ先	担当課	環境部 循環型社会推進課		
	電 話	092-643-3381	メー ル	recycle@pref.fukuoka.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
	事業実施期間	平成 28 年度～		

立案の背景 (ねらい)	製造・流通・小売・消費の各段階で発生する食品ロスの削減のため、フードチェーン全体の各主体の取組みを促す。
内容	<p>(1)フードバンク活動の普及・促進【製造・流通への取組】</p> <p>食品ロス削減（資源の有効利用）と食に困っている人への支援にもつながるフードバンク活動の普及促進を図る。</p> <p>○県内食品提供企業及び活動の担い手となるNPOの実態把握調査（企業調査）</p> <p>県内の食品メーカー、卸業者を中心にアンケート、聞き取りでフードバンクに関する調査を実施</p> <p>（担い手調査）</p> <p>詳細のフードバンク活動主体の発掘を目指し、県内のNPO等を訪問し、聞き取り調査を実施</p> <p>○食品提供企業の開拓及びネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードバンクへの食品提供について企業を訪問して依頼 ・協力を取り付け、フードバンク活動団体への食品の引渡しに関する具体的な当事者間協議を設定するとともに、他の企業へ情報発信 <p>○フードバンクモデル事業の実施（生活協同組合連合会グリーンコープ連合へ委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品製造企業等から食品の提供を受け、社会福祉施設等に届けるフードバンクのモデル事業を実施し、活動上の課題を検証 ・フードバンク活動への信頼、認知の一層の向上を狙う ・新たな担い手が活動を実践するための備えるべき要件等「ガイ

ドライン」作成

○フードバンク実践事業の実施（平成 29 年度～）

・新しいフードバンク団体に対し、「ガイドライン」及び「企業開拓による食品提供」を通して、安定的・継続的なフードバンク活動の運営基盤の整備を支援



（フードバンク活動普及促進の概要）

(2)食品ロス削減に取り組む店舗「食べもの余らせん隊」の募集・登録【外食・食品販売への取組】

食品ロス削減に取り組む店舗を「食べもの余らせん隊」として募集・登録し、広く県民にPRすることで、食品ロス削減するとともに県民の意識啓発を図る。

○対象：県内飲食店・宿泊施設、食料品販売店

○登録要件：食品ロス削減への取組項目を1つ以上実践していること

○取組項目：料理提供量の調整、食べ残し削減の呼びかけ、店舗でのポスター掲示等による啓発活動、食べ残しの持ち帰りへの対応、食べきりを行ったグループ等への特典付与、ばら売り等による食料品販売、閉店時間間際の割引販売、食品ロス削減につながる独自の取組み

(3)食品ロス削減推進協議会の設置・運営

食品関連事業者団体や消費者団体、学識者、自治体など30組織で構成し、啓発活動をはじめ、フードバンク活動の普及・促進、「食べもの余らせん隊」の展開などに取り組む。



（食べもの余らせん隊ステッカー）




(4)食品ロス削減レシピ・ポスターコンテスト（平成 29 年度～）

県民の意識醸成等を目的として、県内在住・在勤・在学者を対象

	<p>としたレシピコンテスト、県内の児童・生徒を対象としたポスターコンテストを実施</p> <p>○レシピコンテスト入賞作品はレシピカード等で提供予定</p> <p>○ポスターコンテスト入賞作品は県内の大型ショッピングモール店舗等で展示予定</p> <p>(5)食品ロス削減研修会（平成 29 年度～）</p> <p>食品ロス削減の知識や取組みについて普及できる人材の養成を目的として、料理教室の講師等を対象とした食品ロス削減に関する研修会を実施</p> <p>○研修会のうち、一部はNPO法人への外部委託にて実施</p> <p>○研修会では食品ロス削減につながるクッキング演習も実施予定</p> <p>(6)啓発資材（紙芝居）の製作（平成 29 年度～）</p> <p>幼稚園・保育所等に通う年長児を対象とした啓発資材（紙芝居）を製作</p> <p>○啓発資材（紙芝居）は県内の幼稚園・保育所等に配布予定</p>																																
成果指標や目標とその確認方法	平成 28 年度から 30 年度まで、フードバンク活動への食品提供企業数、「食べもの余らせん隊」の登録店舗数、食品ロス削減研修会受講者数に目標を定めている。																																
施策のポイント	各主体へ食品ロス削減につながる取組みを呼びかけると同時に、食品ロス削減推進協議会を通じた情報共有を行うことにより県民運動の推進につなげている。																																
効果や成果	<table><tr><th>成果指標</th><th></th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th></tr><tr><td rowspan="2">食品提供企業の数</td><td>目標</td><td>20</td><td>40</td><td>60</td></tr><tr><td>実績</td><td>26</td><td>36※</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">「食べもの余らせん隊」の登録店舗数</td><td>目標</td><td>400</td><td>700</td><td>1,000</td></tr><tr><td>実績</td><td>456</td><td>576※</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">研修会受講者数</td><td>目標</td><td>—</td><td>120</td><td>120</td></tr><tr><td>実績</td><td>—</td><td>0※</td><td>—</td></tr></table> <p>※H29.9.1 時点</p>	成果指標		H28	H29	H30	食品提供企業の数	目標	20	40	60	実績	26	36※	—	「食べもの余らせん隊」の登録店舗数	目標	400	700	1,000	実績	456	576※	—	研修会受講者数	目標	—	120	120	実績	—	0※	—
成果指標		H28	H29	H30																													
食品提供企業の数	目標	20	40	60																													
	実績	26	36※	—																													
「食べもの余らせん隊」の登録店舗数	目標	400	700	1,000																													
	実績	456	576※	—																													
研修会受講者数	目標	—	120	120																													
	実績	—	0※	—																													
関連ホームページ	<p>○食品ロス削減全体</p> <p>http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/shoku-loss.html</p> <p>○「フードバンク活動」について</p> <p>http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/food-bank.html</p> <p>○「食べもの余らせん隊」について</p> <p>http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/amarasentai.html</p>																																

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 4 2

施策・事業名称	もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動 「福岡エコ運動協力店」の登録，食べ残しゼロの広報啓発 家庭からの食品ロス削減の広報啓発			
自治体名	福岡県 福岡市			
本件問合せ先	担当課	環境局資源循環推進課 事業系ごみ減量推進係		
	電 話	092-711-4039 (直通)	メール	shigenjunkan.EB@city.fukuoka.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付け てください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	食べ残しゼロの啓発 平成27年9月～ 「福岡エコ運動協力店」平成28年度～ 家庭からの食品ロス削減の広報啓発 平成29年度～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業系ごみの更なる削減のために，食品ロスの発生抑制（リデュース）を推進する。 ・宴会や外食の際の食べ残しを減らすため，飲食店から利用者へ呼びかけを行ってもらう。 ・家庭でできる食品ロス削減行動のきっかけを提供することで，家庭での市民の自主的な取組みを促進する。 		
内容	<p>1 食べ残しゼロの啓発（事業系）</p> <p>市のホームページや市政だより，街頭キャンペーン，イベントでの広報，ポスターの掲示などにより市民への啓発を行い食べ残し削減を推進する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>H28年度</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>H29年度</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>啓発ポスター</p> </div> </div>		

	<p>2 福岡エコ運動協力店（事業系）</p> <p>運動に賛同する協力店舗を登録し、ステッカーを掲示してもらうとともに、市のホームページで協力店の周知を行う。</p> <p>○「福岡エコ運動協力店」対象事業所・・・市内飲食店及び宿泊施設</p> <p>登録要件（次のうち1つ以上を実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）適量メニュー等の導入 （2）食べ残し削減の呼びかけ （3）店舗でのポスター等の 掲示による啓発活動 （4）お持ち帰りへの対応 （5）上記以外の独自の取り組み <p>平成 28 年度協力店ステッカー</p>  <p>平成 29 年度協力店ステッカー</p>  <p>平成 29 年度協力店ステッカー</p>
成果指標や目標とその確認方法	<p>平成 28 年度は、協力店登録件数と取り組みの認知度を成果目標に設定。</p> <p>確認方法として市政アンケートによる認知度調査。</p>
施策のポイント	<p>農水省の調査により宴会での食べ残しが一番多いことから、忘新年会シーズンなど宴会が多くおこなわれる時期に集中して啓発を行う。</p> <p>協力店へのよびかけは、衛生協会や料飲店組合などへチラシ配布依頼や広報紙への広告掲載等を実施、飲食店へ訪問を実施。</p>
効果や成果	<p>平成 28 年度末時点における協力店登録数は 266 店舗。</p> <p>平成 28 年 10 月に実施した市政アンケートにおける、市民の運動の認知度は約 24% であった。</p>
関連ホームページ	<p>http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/jigyokeigomi/hp/hukuokaecounndoukyouryokuten.html</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 4 3

施策・事業名称	食品ロス削減に向けた取り組み			
自治体名	福岡県 大野城市			
本件問合せ先	担当課	環境・最終処分場対策課		
	電 話	092-580-1889	メール	recycle@city.onojo.fukuoka.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成 29 年度～			

立案の背景 (ねらい)	家庭系可燃ごみの約 1/4 は食品であることから、市民への啓発を図る。
内容	<p>①PR動画 食品ロス削減を含めたごみ減量全般についてPR動画を職員にて作成予定。市ホームページ、Youtube、ケーブルテレビ等で公開。【H29 実施予定】</p> <p>②ポスター募集 小学4年生を対象に、食品ロス削減に関するポスターを募集し、ごみへの関心・学習を深める。【H30 実施予定】</p> <p>③エコクッキング教室 食育教室と共同でエコクッキング教室を開催する。【H30 実施予定】</p> <p>④3010 運動 飲食店で 3010 運動を展開する。事前に飲食店のごみ組成調査を行い、運動の前後でごみ組成がどのように変化したか調査予定。【H29 プレ調査実施予定～】</p>
成果指標や目標 とその確認方法	
施策のポイント	
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 4 4


施策・事業名称	「エコクッキング教室」開催事業			
自治体名	佐賀県			
本件問合せ先	担当課	循環型社会推進課		
	電 話	0952-25-7078	メール	junkangatasyakai@pref.saga.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 27 年度～			

立案の背景 (ねらい)	「食品ロス」の削減につながる料理メニューの検討及びその料理を実際に作ることで「食品ロス」の削減に向けた意識啓発を図るとともに、更に受講生がその料理を広く紹介することで県民一人一人の「食品ロス」の削減に対する普及啓発を行う。
内容	<p>○「食品ロス」の削減につながる料理教室の実施</p> <p>※佐賀県食生活改善推進協議会会員に受講してもらい、受講した会員にレシピを広く県民に紹介してもらう。</p> <p>※「食品ロス削減」の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ調理くずを出さない方法 ・野菜等の食材を使い切る方法 ・残った料理を新たな食材としてアレンジし別の料理にする方法 等 <p>○実施回数 年度内 10 回以上</p>
成果指標や目標とその確認方法	全会場ではないが、教室開催会場に実際に出向き、実施状況確認している。

<p>施策のポイント</p>	<p>受講生は佐賀県食生活改善推進協議会会員とし、会員が受講後、各市町において地域住民や地域の団体との協働で行う実践活動（食育の推進など従来から行っている活動）の中で、併せて食品ロス削減の普及啓発を行うことで当事業の目的を達成させる。</p>
<p>効果や成果</p>	<p>普及啓発が主な事業なので具体的な効果や成果は見えにくいですが、受講生が受講後どのように地域住民を含む県民へ普及啓発をしているのか、今後詳しく検証していく必要があると考える。</p>
<p>関連ホームページ</p>	<p>—</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 1 4 5

施策・事業名称	九州食べきり協力店事業（九州統一事業）			
自治体名	佐賀県			
本件問合せ先	担当課	循環型社会推進課		
	電 話	0952-25-7078	メール	junkangatasyakai@pref.saga.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成 28 年 11 月～			

立案の背景 (ねらい)	まだ食べられるのに廃棄される「食品ロス」の削減やリサイクルに取り組む店舗を「九州食べきり協力店等」として登録することにより、食品ロスの削減等を促進するとともに、広く県民等に周知し、食品ロスの削減等に向けた意識の啓発・高揚を図る。
内容	<p>食品ロス削減に取り組む店舗を「九州食べきり協力店等」として募集・登録し、ポスターやステッカーを掲示してもらうとともに、県の HP で店舗を紹介することで、県民に向けた意識啓発を図る。</p> <p>○対象：県内飲食店、宿泊施設、小売店</p> <p>○登録要件：食品ロス削減への取組を 1 つ以上実践していること</p> <p>○取組項目：小盛メニュー等の導入、食べ残し削減に向けた啓発活動、食べ残しを減らすための呼びかけ、注文確認の工夫や食べ残しの把握、食品廃棄物のリサイクル、使い切りレシピ等の紹介、ばら売り等の導入・充実、徹底した売りきりの推進、食品廃棄物のリサイクル、その他 食品ロス削減につながる取組</p> <div style="text-align: center;">  <p>(食べきり協力店ステッカー)</p> </div>

成果指標や目標 とその確認方法	平成 29 年度食べきり協力店等登録店舗目標：100 店舗
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ等の広報媒体を活用し、事業者及び消費者に広く周知する。 ・ 九州統一事業として広域的に事業を実施。
効果や成果	<p>平成 28 年度末現在 九州食べきり協力店等登録店舗数：61 店舗</p> <p>平成 29 年度 8 月末現在 登録店舗件数：92 店舗</p>
関連ホームページ	http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314222/index.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 146

施策・事業名称	小城市食べきり運動			
自治体名	佐賀県 小城市			
本件問合せ先	担当課	市民部環境課廃棄物対策係		
	電 話	0952-37-6102	メー ル	kankyou@city.ogi.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 29 年度～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報やHP等に食品ロスを減らし、ごみ減量につなげる。 ・ 飲食店から住民へ呼びかけを行ってもらい、宴会や外食時の食べ残しを削減する。 ・ 食品小売店から住民へ呼びかけを行ってもらい、家庭での食品ロスを減らす。 	
内容	佐賀県と協力し、この運動に協力していただける店舗を「九州食べきり登録店」として登録をする。この活動の佐賀県ホームページ又は小城市食品ロス運動として小城市ホームページに掲載する。また、広報誌への掲載や、イベント時にチラシ等を配り広報をする。	
	協力店	応援店
	飲食店・宿泊施設の取組項目	小売店の取組項目
	小盛メニュー等の導入	食べ残し削減に向けた啓発活動
	食べ残し削減に向けた啓発活動	使い切りレシピ等の紹介
	食べ残しを減らすための呼びかけ	ばら売り等の導入・充実
	注文確認の工夫や食べ残しの把握	徹底した売り切りの推進
	食品廃棄物のリサイクル	食品廃棄物のリサイクル
	その他、食品ロス削減につながる取組	その他、食品ロス削減につながる取組
成果指標や目標 とその確認方法	平成 29 年度から、登録店舗の達成状況を確認しHP等で広報する。	

施策のポイント	佐賀県と協力し、協力店・応援店であることを示すステッカーや啓発用のポスター等を交付し、利用客に対する食べきりの呼びかけや取組のPRをし、広くこの活動を住民の方に知ってもらう。
効果や成果	
関連ホームページ	

食品ロス削減のための「施策バンク」 147

施策・事業名称	九州食べきり協力店事業（九州統一事業）			
自治体名	長崎県			
本件問合せ先	担当課	廃棄物対策課 循環型社会推進班		
	電 話	095-895-2373	メー ル	s09030@pref.nagasaki.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育
	5 <u>協力店舗等の登録</u>	6 <u>事業者への働きかけ</u>	7 消費者団体または住民団 体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理
	9 その他			
事業実施期間	平成 28 年 10 月～			

立案の背景 (ねらい)	年間約 632 万トンにもものぼると推計される「食品ロス」の削減やリサイクルを進めるため、小盛メニューの設定や利用客への食べきりの呼びかけなど、食品ロス削減のための取組を行う店舗「九州食べきり協力店」を募集する。
内容	<p>食品ロス削減に向けた取組を 1 つ以上実践している店舗(飲食店・宿泊施設・小売店)に「九州食べきり協力店」として登録していただき、ポスター・ステッカー等の資材を掲示してもらうとともに、県のHPや広報誌等により店舗を紹介し、県民に向けた啓発活動を行う。</p> <p>【飲食店・宿泊施設での取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小盛り、ハーフサイズ、食べきりサイズなどのメニュー設定 ・ポスターやメニュー表示における食べきり・食品ロス削減の啓発 ・宴会等での食べきりの呼びかけ ・食べ残しの持ち帰り希望者への対応 (衛生上の注意事項を十分に説明した上で実施すること) <p>【小売店での取組事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材使いきりレシピや残り物アレンジレシピの紹介 ・ばら売り、量り売り、少量パックによる販売 ・割引販売等の実施による売りきり推進

成果指標や目標 とその確認方法	「食べきり協力店」登録店舗数の目標を設定。
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店・小売店を起点として、食品ロスに対する意識啓発をはかり、県民運動として家庭にも活動の輪を拡大させていく。 ・ 九州統一事業として広域的に事業を実施。
効果や成果	今後、検証予定。
関連ホームページ	http://www.pref.nagasaki.jp/object/shikaku-shiken-bosyu/boshu/260236.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 148

施策・事業名称	エコ＆ヘルシーながさき推進事業		
自治体名	長崎県		
本件問合せ先	担当課	廃棄物対策課	
	電 話	095-895-2373	メー ル s09030@pref.nagasaki.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭	外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他	2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年度～		

立案の背景 (ねらい)	事業者、県民、関係団体及び行政で構成する協議会や食品ロス削減のための取組を行う店舗の募集登録等を行い、食品廃棄物の発生抑制・減量化を促す。
内容	<p>(1) 食品ロス削減推進協議会の設置・運営</p> <p>事業者、県民、関係団体及び行政等で構成し、食品廃棄物の排出抑制・減量化を進めるため、啓発活動をはじめ、フードバンク活動の普及・促進、「九州食べきり協力店」の募集などに取り組む。</p> <p>(2) エコ&ヘルシーながさき推進ホームページ作成</p> <p>県内から排出される食品ロスの削減を進めるため、県及びフードバンク事業者等の取組み事例や、食べきり協力店の紹介・募集など様々な情報について発信するためのホームページの作成に取り組む。</p> <p>(3) 企業訪問の実施</p> <p>食品ロスを削減するため、県内の事業者からの食品ロスの発生量や食品ロス削減に向けた取組み、食品ロスに対する関心がどの程度あるのか等把握すべく個別に企業訪問を実施する。</p>
成果指標や目標とその確認方法	「九州食べきり協力店」の登録店舗数を成果指標としている。

施策のポイント	各主体へ食品ロス削減につながる取組みを呼びかけると同時に、食品ロス削減推進協議会を通じた情報共有を行うことにより食品廃棄物の発生抑制・減量化につなげている。
効果や成果	協議会については設置準備中、ホームページについては作成中、企業訪問については、10月～11月に実施予定のため今後、年明け以降に検証予定。
関連ホームページ	https://www.pref.nagasaki.jp/object/shikaku-shiken-bosyu/boshu/260236.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 149

施策・事業名称	くまもと食べ残しゼロキャンペーン			
自治体名	熊本県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課		
	電 話	096-333-2278	メー ル	junkanshakai@pref.kumamoto.lg.jp
分野 (当てはまるものすべてに○を付けてください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成27年12月 1 日～平成28年 1 月31日まで（平成28年度は休止）			

立案の背景 (ねらい)	<p>熊本県は平成 23、24 年度における県民1人1日当たりのごみ排出量は、2年連続で「全国一少ない県」となりました。</p> <p>これからも全国トップクラスを維持するために、家庭ごみの約4割を占める「食品廃棄物」の減量化に向けた意識啓発運動を県民、飲食店、行政が一体となって展開します。</p>
内容	<p>企画名：平成27年くまもと食べ残しゼロキャンペーン</p> <p>概 要：「くまもと食べ残しゼロキャンペーン協力店制度実施要項」を制定し、協力飲食店を募集、登録のうえ、ポスター、卓上ポップを提供する。併せて、県のHP，民間情報誌へ掲載することでキャンペーンの周知等を行う。</p> <p>成果物：ポスター、POP、記事（別添のとおり。）</p>
成果指標や目標とその確認方法	キャンペーン協力店登録予定店舗数 100 店舗
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報媒体を使った啓発 情報誌3誌に掲載（ナッセ、くまもと宴会ナビ、ホットペッパー） ミニコミ誌2誌に掲載（スパイス、リビング熊本） ・ ゆるキャラを活用した広報 知名度の高いくまモンをポスターのメインに据え広報しました。
効果や成果	平成27年度キャンペーン協力店登録店舗数 73
関連ホームページ	なし

くまもと食べ残しゼロキャンペーン

くまもと530運動 実施中!

平成27年12月1日～平成28年1月31日

熊本県の平成23、24年度の県民1人1日当たりのごみ排出量は、2年連続で「全国一少ない県」になりましたが、平成25年度は、全国第3位に……。

熊本県のごみをもっと少なくするため、県民の皆さん、飲食店の皆さん、行政が一体となって、まずは、

宴会のときの食べ残しゼロを始めましょう!



©2010 熊本県くまモン

今日から実践!食べ残しゼロ!!

実践1 乾杯後と終宴前の15分程度の間は、料理を楽しみましょう。



実践3 苦手な料理は、食べられる人に譲りましょう。



実践2 お皿に料理が一つ残る「肥後のいっちょ残し」はしない。



実践4 心をこめて料理を作った人に感謝の気持ちを感じて。



●食べる量は十人十色。体調や体質等にあわせてご協力ください。完食は強制ではありません。 ●料理のお持ち帰りを希望される際は、お店の人に相談してください。

お問合せ

共催：熊本県ごみゼロ推進県民会議 熊本県
熊本県環境生活部環境局廃棄物対策課(熊本県ごみゼロ推進県民会議事務局)
電話 ☎ 096-333-2277 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

詳しくは
くまもと食べ残しゼロ

検索



平成27年度

くまもと食べ残しゼロキャンペーン




キャンペーン協力店名	住 所	電話番号	キャンペーンに向けたPR
十徳や 別処 新市街店	熊本市中央区新市街9-1 ハローレディビルB1	096-322-9299	お客様が喜んで食べていただけるような、料理の内容、提供方法、サービス、雰囲気づくりに努めていきます。
鮎さかな市場十徳や 新大江店	熊本市中央区新大江1-14-1	096-375-8060	
十徳や 水前寺店	熊本市中央区水前寺公園7-45	096-386-2345	
十徳や 健軍本店	熊本市東区健軍本町10-27	096-214-0377	
十徳や 新外店	熊本市東区尾ノ上4-11-45	096-331-1388	
十徳や 田崎市場通店	熊本市西区春日7-19-34	096-312-1455	
十徳や 近見店	熊本市南区日吉2-1-45	096-320-3555	
鮎さかな市場十徳や けやき通店	熊本市南区馬渡2-13-8	096-334-9377	
十徳や 八代北の丸店	八代市北の丸町1-39	0965-39-8655	
十徳や 菊池店	菊池市隈府869-1	0968-26-5055	
十徳や 松橋店	宇城市松橋町久具311-2	0964-25-2505	
徳や十兵衛 堀川店	熊本市北区飛田4-4-110	096-341-3955	
徳や十兵衛 玉名店	玉名市築地418-1	0968-57-9543	
徳や十兵衛 小川店	宇城市小川町河江1-1	0964-43-5566	
徳や十兵衛 大津店	菊池郡大津町室字新田401-10	096-294-3391	
徳や十兵衛 益城店	上益城郡益城町惣領1429-6	096-286-1101	
さかな市場 熊本総本店	熊本市中央区手取本町4-17 山小屋ビル1F	096-324-5911	美味しい料理で、完飲完食を目指します。
とっぺん 国府店	熊本市中央区国府1-11-31 1F	096-211-5770	
かごめ家	熊本市中央区安政町2-29 セントラルビル2F	096-326-6505	
居酒屋 麦うさぎ 安政町店	熊本市中央区安政町6-4-2 ルナ1ビル1F	096-326-8766	
居酒屋 うまか五右衛門 下通店	熊本市中央区下通1-7-3 プレイタウン司ビル1F	096-354-2266	
居酒屋 こもれび家	熊本市中央区下通1-9-4 SHIGEOKA01ビル1F	096-355-0430	
居酒屋 ひゃくしょう茶屋 下通店	熊本市中央区下通1-4-9 ニコニコビル2・3F	096-322-8423	
前川水軍	熊本市中央区花畑町12-11 グリーンホテル1F	096-326-5577	
焼肉・焼鳥平蔵 西銀座通店	熊本市中央区下通1-11-25 丁半ビル2F	096-211-1155	
焼肉平蔵 健軍店	熊本市東区若葉1-38-18 中原ビル1F	096-369-6877	
前川珈琲店	熊本市東区戸島西2-4-30	096-237-6570	
元祖居酒屋 一番星 健軍店	熊本市東区若葉1-3-6	096-367-1567	
元祖居酒屋 一番星 武蔵ヶ丘店	熊本市北区武蔵ヶ丘8-1-30	096-339-2500	
桜咲く	菊池市北宮327-1	0968-24-2077	
居酒屋 花ぼたる 合志店	合志市幾久富1656-31	096-248-0606	
焼肉・焼鳥平蔵 合志店	合志市幾久富1758-285	096-247-3188	ご飯の量が調整できます。
やきとり居酒屋 伊達祭	菊池郡大津町室533-1	096-349-3667	
居酒屋 村一番 大津店	菊池郡大津町大字室255-1	096-294-6477	
居酒屋 村一番 光の森店	菊池郡菊陽町光の森7-7	096-233-3222	
ヘルシーキッチン開 光の森店	菊池郡菊陽町光の森6-18	096-233-0068	
銀水楼	宇城市松橋町きらら3-2-16	0964-33-3916	
マリーグレイス	熊本市中央区出水8-572-1	096-370-7001	
マリーゴールド	熊本市東区佐土原2-5-135	096-360-3331	
アンジュールハウス	熊本市北区龍田町弓削953-1	096-337-2270	
和食 七福神	熊本市中央区下通1-7-7 スマイルビル2F	096-327-5767	
熊本味処 鹽	熊本市中央区下通1-6-21 下通センタービル105	096-212-5424	
さつまキング	熊本市中央区下通2-2-30	096-319-2611	
BISTRO A VIN PREMIER(ビストロ アヴァン プルミエ)	熊本市中央区草場町4-1 コアスクエア上乃裏1F	096-288-0215	
並木坂の居酒屋 晴レル家	熊本市中央区南坪井町5-4 DOLLARhouseビル1F 左	096-325-7225	
ホテル熊本テルサ 1Fレストラン NORIつち山	熊本市中央区水前寺公園28-51	096-387-8005	お客様のご希望にあわせて、お料理の量を調整いたします。
食否処 鶴重	熊本市中央区坪井4-3-1	096-343-1992	
喫茶「四季の森」	熊本市中央区水前寺6-18-1	096-333-2075	
食堂「食彩館」	熊本市中央区水前寺6-18-1	096-333-2075	
かぶき	熊本市中央区安政町6-1 ロウカス三年坂ビルBF	096-352-1100	
酒奏 総本店	熊本市中央区新市街4-18 松下ビル3F	096-352-7117	
酒奏 本店	熊本市中央区新市街4-18 松下ビル2F	096-352-7117	
酒奏 農人	熊本市中央区新市街4-18 松下ビル1F	096-352-7117	
酒奏 叶家	熊本市中央区新市街4-18 松下ビル4F	096-352-7117	
天草水産研究所	熊本市中央区下通1-9-26	096-352-7117	
炭焼ポール	熊本市中央区中央街2-3 ライズ下通EXE1F	096-326-8151	
ワイン食堂Les Clos (レ クロ)	熊本市中央区中央街2-3 ライズ下通EXE1F	096-326-2303	
おいしや鉄平	熊本市中央区花畑町13-26 第一銀杏ビルBF	096-355-5680	
スペイン料理 トレス	熊本市中央区上通町5-40 長安寺イーストンビル3F	096-356-3909	
たけや インター店	熊本市東区御領7-1-1 コア21インター店内	096-389-5612	美味しく料理で食べ残しを減らします。
たけや 戸島店	熊本市東区戸島西5-1-1	096-284-3110	
居酒屋 竹ちゃん	熊本市中央区神水1-3-13 中尾ビル1F	096-382-8019	
酒楽MAKO店	熊本市中央区神水1-3-11 共栄ビル1F	096-383-1516	
ふれあい喫茶「りんどう」	熊本市中央区水前寺6-18-1	096-333-2761	
ろばた焼 魚魚	球磨郡あさぎり町免田東1982	0966-45-1010	

今日から実践!食べ残しゼロ!!


無理せず、楽しく。ぜひ、心がけてみてください。

実践1



乾杯後と終宴前の
15分程度の間は、
料理を楽しみましょう。

実践2



お皿に料理が一つ残る
**「肥後のいっちょ残し」は
しない。**

実践3

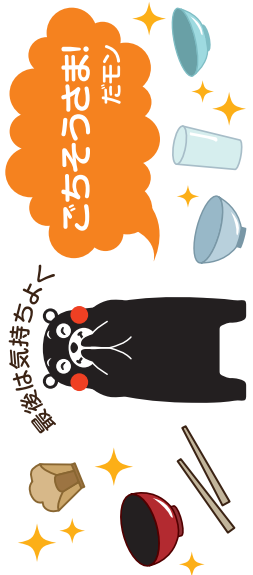


苦手の料理は、
**食べられる人に
譲りましょう。**

実践4



心をこめて料理を
**作った人に感謝の
気持ちを。**



ごちそうさま!
だもん

- 食べる量は十人十色。体調や体質等にあわせてご協力ください。完食は強制ではありません。
- 料理のお持ち帰りを希望される際は、お店の人に相談してください。

県ホームページに、キャンパーン協力店、食べ残しを減らす宴会のシナリオ・案内文なども紹介中。

くまもと食べ残しゼロ

検索

※ このポップはお持ち帰りできます。
※ お店の人に一言伝えて、どうぞお持ち帰りください。
※ 職場やご家庭でも食べ残しゼロを目指しましょう。

平成27年度

くまもと「食べ残しゼロ」

キャンパーン 実施中!

平成27年12月1日～平成28年1月31日

熊本県の平成23、24年度の県民1人1日当たりのごみ排出量は、2年連続で「全国一少ない県」になりましたが、平成25年度は、全国第3位に……。

熊本県のごみをもっと少なくするため、県民の皆さん、飲食店の皆さん、行政が一体となって、まずは、
宴会のときの食べ残しゼロを始めましょう!



くまもと食べ残しゼロ キャンパーン

©2010 熊本県くまモン

くまもと食べ残しゼロ

共催 熊本県ごみゼロ推進県民会議 熊本県
熊本県環境生活部環境局廃棄物対策課 (熊本県ごみゼロ推進県民会議事務局)
お問い合わせ 096-333-2277 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

県ホームページに、キャンパーン協力店、食べ残しを減らす宴会のシナリオ・案内文なども紹介中。

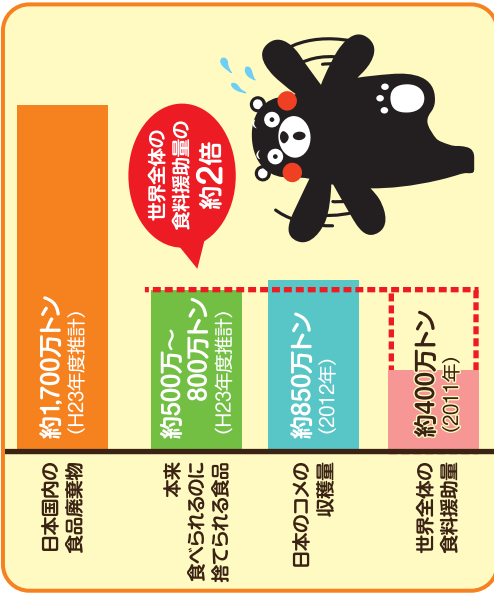
くまもと食べ残しゼロ

検索

※ このポップはお持ち帰りできます。
※ お店の人に一言伝えて、どうぞお持ち帰りください。
※ 職場やご家庭でも食べ残しゼロを目指しましょう。

こんなに残して大丈夫? 日本のもったいない事情。

本来食べられるのに捨てられる食品の量は、
日本のコメ収獲量に匹敵。
世界全体の食料援助量の約2倍となります。



○「食品ロス削減」において (H26年12月) (豊林水産省) (http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/index.html) をもとに熊本県作成

家庭の食事だけでも
一人あたりの本来食べられるのに
捨てられる食品 (食品ロス) の量は、
1年間で約15キログラム

この量は、
ごはん茶碗 (約250グラム)
約60杯分に相当します。

○国の「食品ロス削減関係省庁等連絡会議資料」から

世界では**8人に1人が栄養不足**
◎世界食糧機構 (FAO) の報告書(2013)

県ホームページに、キャンパーン協力店、食べ残しを減らす宴会のシナリオ・案内文なども紹介中。

くまもと食べ残しゼロ

検索

※ このポップはお持ち帰りできません。
※ お店の人に一言伝えて、どうぞお持ち帰りください。
※ 職場やご家庭でも食べ残しゼロを目指しましょう。



北区龍田陳内 4・21・20
(アースフーズ内)
☎096(339)1616
FAX096(339)1691
日曜祝日も24時間受け付け中!
(予約受付担当・森川)

最近あまり見かけなくな
った「もちつき」。日本の伝統
文化を今の子どもに伝えたい
との思いからスタートした
アース企画の「出張もちつ
き」は子どもだけでなく年配
の方にも懐かしいと大好評!
電話で予算・日時・人数・場
所を伝えるだけで、臼や杵、も
ち米、おしぼり、紙皿、お箸、持
ち帰りパックなど、もちつき
に必要な材料・道具一式を届
けてくれる手軽さも魅力です。
準備や手順の指導、後片付け
の手伝いまでしてくれますよ。
道具のみの貸し出し
にも応相談。申し込
みは先着順です。道
具の数に限りがある
のでお早め。



として、人気のTOTO「
「ビュアレストQ」(パ
ナソニック製温水洗浄便
座付き・ノズルはステン
レス仕様) 17万776
8円を、撤去・処分・取
り付け費込みで8万20
00円で販売中。TOT
また、全戸動おそじ
トイレ、パナソニックア
ラウー」は、20万
5200円が1万800
0円(11月末まで)。見積
もり時にさらに値引きも
(条件あり)。床クッシ
ョンフロアマット張替8
640円。和式からの
工事、住宅リフォームも
可。カード払いOK。価
格は全て税込みです。在
庫状況などお気軽にお問
い合わせを。

祝日(電話受付は無休)
▼東区石原1・2・62
(9時〜17時) (休) 曜
・

すばいす クーポン
入会金3500円が
無料
「マージナルアーツ・マスターズ」
H28.1.30まで有効
291号

プロが教える理想の“開脚”
マージナルアーツ・マスターズ ☎096(3
マージナルアーツ・マスターズ 開脚教室 (検索)

中央区水前寺4・20・21・1階
(例)11時〜23時(日曜定休)

初心者も大歓迎! コースは、
週3回(月謝9000円) 週
2回(7500円) 週1回(5
600円)を用意。お好きな曜
日を選んでます。まずはお試
し体験(10800円)見学
も無料で随時受付中です。

年末年始のおもてなしに役立つ、紅茶や花のしつらえを学ぶ

Afternoon teaを楽しむ講座

[日 時] 11月28日(土)〜2月27日(土) 14:00〜15:30
(11/28、12/26、1/30、2/27)

[講 師] 大橋 薫
(紅茶コーディネーター、日本園芸協会
認定 ハーブコーディネーター)

[受講料] 12,000円(お茶代・お菓子代込み)

[会 場] びふれす熊日会館6階
(熊本市中央区上通町2・32) ※毎回、講師がセレクトした紅茶と
ティーフードをお楽しみ頂きます。



古今東西、お茶を飲む習慣はたしなみの
文化へ昇華されるようです。イギリス発祥
のアフタヌーン・ティーにも、紅茶の楽しみ
方のエッセンスがいっぱい詰まっています。
その術を知る事、おいしくいただく事は、人
生をより豊かにします。日常の中に新たな
至福の時を持つために…一緒にどうぞ

熊日生涯学習プラザ ☎096(327)3125/FAX096(327)3159

平成27年度くまもと食べ残しゼロキャンペーン
ごみゼロ
くまもと530運動
実施期間：平成27年12月1日〜平成28年1月31日

熊本県の平成23、24年度の県民1人1日当たりのごみ排出量は、2年連続で
「全国一少ない県」でしたが、平成25年度は、全国第3位に…。
熊本県のごみを、もっと少なくするために県民の皆さん、飲食店の皆さん、
行政が一体となって、まずは、宴会のときの食べ残しゼロを始めましょう!

今日から実践! 食べ残しゼロ!!
乾杯後と
終宴前の15分間程度は
料理を楽しみましょう!
苦手な料理は、
食べられる人に
譲りましょう!
お皿に料理が一つ残る
「お後のいっちょ残し」はしない!
心をこめて
料理を作った人に
感謝の気持ちを感じて!
※食べる量は十人十色。体調や体質
等ににあわせてご協力ください。
完食は強制ではありません。
※料理のお持ち帰りを希望される
際は、お店の人に相談して
ください。

「くまもと食べ残しゼロキャンペーン」協力店

十徳や 別処 新市街店 館さかな市場十徳や 新大江店 十徳や 水前寺店 十徳や 健軍本町店 十徳や 新外店 十徳や 田崎市場通店 十徳や 近見店 館さかな市場十徳や けやき通店 十徳や 八代北の丸店 十徳や 菊池店 十徳や 松橋店 徳や十兵衛 堀川店 徳や十兵衛 五名店 徳や十兵衛 小川店 徳や十兵衛 大津店 徳や十兵衛 益城店 さかな市場 熊本総本店	とつべん 国府店 かごめ家 居酒屋 妻うさぎ 安政町店 居酒屋 うまか 五右衛門下通店 居酒屋 こもれび家 居酒屋 ひゃくしょう茶屋 下通店 前川水車 焼肉・焼鳥平蔵 西銀座通店 焼肉平蔵 健軍店 前川珈琲店 元祖居酒屋 一番星 健軍店 元祖居酒屋 一番星 武蔵ヶ丘店 桜咲く 居酒屋 花ほたる 合志店 焼肉・焼鳥平蔵 合志店 やきとり居酒屋 伊達祭 居酒屋 村一番 大津店	居酒屋 村一番 光の森店 ヘルシーキッチン 開光の森店 銀水楼 マリーグレイス マリーゴールド アンジュールハウス 和食 七福神 熊本味処 鹽 さつまキング BISTRO A VIN PREMIER(シロアガリ) 並木坂の居酒屋 晴レル家 お料理本舗 1F ストラン NORI 7号店 食吾処 鶴重 喫茶「四季の森」 食堂「食彩館」 かぶき 酒漬 総本家	酒漬 本店 酒漬 農人 酒漬 叶家 天草水産研究所 炭焼ボール ワイン食堂 Les Clos(レクロ) おいしいや鉄平 スペイン料理 トレス たけや インター店 たけや 戸島店 居酒屋 竹ちゃん 酒楽MAKO店 ふれあい喫茶「りんどう」 ろばた焼 魚魚 ビアホール 火縁
---	---	---	---

11月11日現在

●県ホームページでは、キャンペーン協力店のくわしい情報、食べ残しを減らす宴会シナリオや案内文も紹介中。
熊本県ごみゼロ推進県民会議 熊本県
TEL096-333-2277(熊本県環境生活部環境同僚業務対策課内) くまもと食べ残しゼロ 検索



住まいの見学会

合志市 全2棟

合志市須屋 BLANCO 合志市

●住所:合志市須屋字宿ノ山14番1 ●マップコード:29 673 783 ●住所:合志市野々

会場にてアンケートにお答えいただいた方に、QU

Sk-HOME.COM エスケーホーム 0120-44

宴会料理、おいしく食べて “食べ残しゼロ”に!



仲間が集まり、わいわい飲んで食べて…。宴会は楽しいものですね。しかし、つい会話盛り上がり、せっかくの料理が残ってしまうことも。「おいしく食べて楽しんで、“食べ残しゼロ”の素敵な宴会」を、熊本県ごみゼロ推進県民会議と熊本県が提案します。

お店も、お客も、双方良しの“食べ残しゼロ”に

食べる量が人それぞれなら、満足する基準も人それぞれ。一律に料理が出てくる宴会料理で食べ残しを減らすことは難しい点もあるでしょうが、お客さまの要望に応える「食べきりコース」提供などのお店工夫。それに応えて「残さず食べよう」と思う良い循環が生ま

料理を提供するお店からすれば、食べ残されると「せっかく心を込めて作ったのに」という残念さがある一方、ある程度ボリュームがないと「お客さまにご満足いただけられないのでは?」というジレンマがあるでしょう。

熊本県は、食品廃棄物の減量化に向けた運動「くまもと食べ残しゼロキャンペーン」を実施します(期間:12月1日～2016年1月31日)。県民の皆さん、飲食店の皆さん、行政が一体となって、人も地球も健やかになれるよう「食べ残しゼロ」を推進しましょう!

「くまもと食べ残しゼロキャンペーン」を実施します。

れば、お店も、お客も双方良し! 互いに気持ちよい完食を目指したいものです。

「肥後のいっちょ残し」していませんか?

宴会でよく見かけるのが、大皿に一つぼつんと残っている、いわゆる「肥後のいっちょ残し」。新しい料理が来ると、すぐ箸が出るものの、残り少なくなってくると、なんとなく遠慮する…。譲り合う日本人らしい気質かもしれませんが、それはそのままごみになつてしまいます。家庭では、残ったものを翌朝のおかずにして、お弁当の一品として、よみがえらせたりできますが、

お店は料理を捨てるしかありません。実は、この飲食店で食べ残しがごみ減量において、一つの大きな課題です。



くまもと食べ残しゼロキャンペーン

協力店募集中!!

申込締切
~12/28

右の取組方針の〈取組項目〉を1つ以上、実践してください。実践できる取組項目を選んで申し込みいただくと、キャンペーン協力店に登録いたします。

協力店の皆さまには、登録証、啓発用ポスター・チラシ、卓上ポップをお送りするほか、県ホームページ等で店名を広く紹介していきます。

★詳しい情報、申込書の記入例は

くまもと食べ残しゼロ

検索

取組方針

取組項目	取組内容
情報提供	食べきりメニューの提示。キャンペーン協力店のPR
情報収集	食事前のお客さまへの希望メニューの聞き取り
仕入れ、保存、調理	無駄のない食材の確保。食材の使い切り
料理提供	希望量に応じた食事の提供や品出し方法の工夫
有効活用	食品廃棄物のリサイクル
その他	その他独自の食品廃棄物減量化への取組など

熊本県ごみゼロ推進県民会議 熊本県

TEL 096-333-2277 FAX 096-383-7680(熊本県環境生活部環境局廃棄物対策課内)

食品ロス削減のための「施策バンク」 150

施策・事業名称	E級（ECO）グルメコンテストの実施			
自治体名	大分県			
本件問合せ先	担当課	大分県生活環境部うつくし作戦推進課		
	電 話	097-506-3123	メール	
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			
事業実施期間	平成28年11月21日～平成29年3月24日 (平成24年度から毎年実施)			

立案の背景 (ねらい)	食材を無駄なく使い、光熱水等のエネルギー消費を抑えた環境に優しい料理のレシピの募集・表彰を行うことにより、家庭で簡単にできるエコ料理を広く普及させ、食品ロスの削減にもつなげる。
内容	<p>①以下の内容に基づいたレシピを募集</p> <p>ア 「家庭の夕食」を対象とする2品以上のエコ料理とする。</p> <p>イ 材料の取扱い（食材の有効活用）や調理方法（エネルギー消費）等に工夫のあるオリジナルで未発表のレシピとする。</p> <p>ウ 材料費（米、調味料を除く）は4人分で、1,200円以内とする。</p> <p>エ 1時間以内に調理、盛り付けが完了するレシピとする。</p> <p>オ 誰でも作ることができる普及可能なレシピとする。（電子レンジ・オーブンの使用可）</p> <p>②審査（最優秀賞、優秀賞、特別賞）の選定</p> <p>③表彰（レシピの試食会も同時開催）</p> <p>④エコレシピ集の発行</p>
成果指標や目標 とその確認方法	より多くの人にエコ料理に関心をもってもらい、コンテストへ応募してもらうため、100点以上の応募点数を目標にした。確認方法は実際の応募点数。
施策のポイント	身近な3Rの取組としてエコクッキングを実践してもらえるように、簡単にできるエコな調理方法や工夫を広く周知する。

<p>効果や成果</p>	<p>毎年１００点を超える多くの応募があった。コンテストの優秀作品をまとめたエコレシピ集を作成して県内市町村や学校等に配布し、広く周知を図った。</p> <p>【平成２８年度実績】</p> <p>応 募 数：１７２件</p> <p>エコレシピ配布数：約５０００部</p>
<p>関連ホームページ</p>	<p>http://www.pref.oita.jp/soshiki/13060/ecoryori-h28kekka.html</p>

食品ロス削減のための「施策バンク」 151



施策・事業名称	宴会食べきり！おおいた３０・１０運動			
自治体名	大分県　大分市			
本件問合せ先	担当課	清掃管理課　ごみ減量・リサイクル推進担当班		
	電　話	097-537-5687(直通)	メー ル	seisokanri2@city.oita.oita.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1　住民啓発 3　食品ロスの実態調査 5　協力店舗等の登録 7　消費者団体または住民団 体との連携 9　その他		2　キャンペーン・イベント 4　子供への啓発・教育 6　事業者への働きかけ 8　食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成 28 年 11 月～			

立案の背景 (ねらい)	宴会等での食べ残しを減らすため、参加者である住民と飲食店の双方に運動の趣旨を理解してもらい、一人でも多くの方に“もったいない”という気持ちを持って運動を実践してもらうよう周知啓発を行う。		
内容	<p>・住民向け 全戸配布の広報紙で運動の広報、飲食店情報雑誌での広告、支所・駅前・商店街等でのモニター広告、パンフレットの作成</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>広報紙リサイクルおおいた</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>雑誌広告</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パンフレット</p> </div> </div> <p>・事業者向け、飲食店向け 商工会議所の所報に掲載、ポスター掲示依頼</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>所報掲載</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ポスター</p> </div> </div>		

成果指標や目標 とその確認方法	未定 アンケートの実施について検討中
施策のポイント	今年度は啓発が主となっている。 飲食店や事業所等に向け、運動の趣旨と協力をお願い・ポスターの掲 示について、郵送・訪問等により依頼。
効果や成果	ポスター掲示依頼の際、飲食店の反応はよく、運動の趣旨についてご 理解をいただきやすいと感じている。今後は連携して取組ができるよ うな施策として展開できればと思っている。
関連ホームページ	http://www.city.oita.oita.jp/www/contents/1477885657171/index.ht ml

食品ロス削減のための「施策バンク」 152

施策・事業名称	みやざき食べきり宣言プロジェクト			
自治体名	宮崎県			
本件問合せ先	担当課	循環社会推進課 企画・リサイクル担当		
	電 話	0985－26－7081	メー ル	junkansuishin@pref.miyazaki.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民団 体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成28年度～			

立案の背景 (ねらい)	① 食品販売店や飲食店に協力いただき、県民の食べきり活動をサポートする。 ② 各種啓発活動を通じて、県民や事業者に食品ロスの問題を知っていただき、取組への協力を呼びかける。 ③ 食品ロスの現状を伝えることにより、県民の食品ロスに対する意識の向上を図る。 ④ 「食品ロス削減対策協議会」を設立し、食品関連事業者や消費者団体等との連携を図る。
内容	① 「食べきり協力店」の募集・登録 取組にご協力いただける店舗を登録し、ポスターやステッカーを掲示してもらう。登録店舗は、県のホームページ等で公表する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> ② 各種啓発活動の実施 ・「食べきりフォトコンテスト」 最後まで美味しく食べることが食品ロス削減に繋がるため、「美味しい顔」を募集し、県民の食品ロス削減意識を高める。

	<p>・「食べきり宣言フォーラム」</p> <p>平成30年1月にフォーラムを開催する。平野レミ氏による講演や「食べきりフォトコンテスト」の表彰等を行う。</p> <p>・「食べきり宣言キャラバン」</p> <p>平成30年2月～3月にかけて、「食べきり協力店」店頭でイベントを実施。県のシンボルキャラクター「みやざき犬」のダンスショー、ちらしや啓発グッズの配布を行う。</p> <div data-bbox="467 660 880 909" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="880 519 1444 909" data-label="Image"> </div> <p>(平成28年度キャラバン) (両面ちらし)</p> <p>・各種広報活動</p> <p>CM放映（オリジナルソング作成）、パブリシティ、ラジオ放送、新聞広告、図書館等でのパネル展示等を行う。</p> <p>③ 食品ロス削減対策協議会</p> <p>消費者の食生活と密接な関わりを持つ食品関係事業者や消費者団体、学識経験者などで構成される協議会を設立。</p> <p>各分野が連携・協働して、発生抑制や発生した食品ロスの循環対策について検討を行う。（平成29年8月に第1回会議を開催）</p>
成果指標や目標とその確認方法	県民、事業者、行政が一体となって、食品ロスの削減に取り組む。
施策のポイント	<p>様々な広報媒体を活用することにより、「食品ロス」の現状や取組について、県民への周知徹底を図る。</p> <p>また、食品ロス削減対策協議会を通じて、家庭だけでなく事業系食品ロスの削減対策についても検討を進める。</p>
効果や成果	平成28年度から事業を開始したが、啓発ちらしの提供や出前講座の実施依頼等、消費者団体を始めとして、食品ロス問題に対する関心が徐々に高まっている。
関連ホームページ	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/junkansuishin/kurashi/shizen/20160729155545.html

食品ロス削減のための「施策バンク」 153

施策・事業名称	3 0 1 0 運動			
自治体名	宮城県 都城市			
本件問合せ先	担当課	環境森林部 環境業務課		
	電 話	2 4 － 5 5 6 0	メール	kankyo530@city.miyakonojo .miyazaki.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発 3 食品ロスの実態調査 5 協力店舗等の登録 7 消費者団体または住民 団体との連携 9 その他		2 キャンペーン・イベント 4 子供への啓発・教育 6 事業者への働きかけ 8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	平成29年 5月 1日～終期末定			

立案の背景 (ねらい)	<p>食品ロスは、家庭や食品メーカー、食品卸しや小売、飲食店等、食品を扱う様々な場所で発生している。</p> <p>当市ではこの中でも、主に会食や宴会で発生する食品ロスに着目。市内で開催される宴会等では、乾杯と同時に自席に戻らず出された料理に手をつけないまま、食品ロスを発生させる行為も目にすることから、先進地の取り組みを参考に、飲食店や飲食客に分かりやすく運動の意義と取り組みの要点を訴え、食品ロスの抑制に取り組む。</p>
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当市広報誌に特集を掲載する。 ・ 市ホームページで情報を提供する。 ・ 啓発グッズを、各団体を通じてホテルや飲食店に配付し、啓発の協力を依頼する。 ・ 市内で配付されるフリーペーパー発行業者に対して運動への協力を依頼する。 ・ 地元商工会を通じて事業者へ協力を依頼する。 ・ 忘新年会シーズン前に、ラジオ等を通じて広く市民へ取り組みを呼びかける。
成果指標や目標とその確認方法	各協力店への聞き取り調査を実施予定

施策のポイント	様々な団体に取り組みを呼びかけるとともに、市自らが率先して取り組んでいく。
効果や成果	会食や宴会で発生する食品ロスの削減に取り組むことで、市民の意識高揚を図り、ごみの減量化につなげたい。
関連ホームページ	http://cms.city.miyakonojo.miyazaki.jp/display.php?clist=1233

食品ロス削減のための「施策バンク」 154

施策・事業名称	「30・10（さんまる・いちまる）運動」			
自治体名	宮崎県 日向市			
本件問合せ先	担当課	市民環境部 環境政策課 適正処理推進係		
	電 話	0982-53-2256	メー ル	kankyo@hyugacity.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発	2 キャンペーン・イベント		
	3 食品ロスの実態調査	4 子供への啓発・教育		
	5 協力店舗等の登録	6 事業者への働きかけ		
	7 消費者団体または住民団体との連携	8 食材使いきり、リメイク料理		
	9 その他			
事業実施期間	「30・10（さんまる・いちまる）運動」 平成28年7月～			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会時に食べ残しを減らすため、まずは、職員から食品ロスの削減について認識してもらう。 ・HPに掲載することで市民にも認識してもらう。 ・事業所へチラシを配布して、宴会時の食品ロスの削減に取り組んでもらう
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「30・10（さんまる・いちまる）運動」のチラシを作製し、部課長会で取組内容を紹介し、職員へ啓発を図る 平成28年7月～ ・市HPに「30・10（さんまる・いちまる）運動」を掲載 平成28年11月～ ・忘年会シーズン前に商工会議所を通して、登録事業所へ「30・10（さんまる・いちまる）運動」を紹介するため、チラシを配布 平成28年11月
成果指標や目標 とその確認方法	前年度同月のごみの重量で比較
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所職員に対しては、部課長会を通して啓発してもらいチラシを回覧 ・市内事業所に対しては、商工会議所へ協力依頼をした上で、登録事業所へチラシを配布
効果や成果	
関連ホームページ	http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/display.php?cont=161115185430



食品ロス削減のための「施策バンク」 155

施策・事業名称	燃やせるごみ・燃やせないごみ組成調査			
自治体名	宮崎県 日向市			
本件問合せ先	担当課	市民環境部 環境政策課 適正処理推進係		
	電 話	0982-53-2256	メール	kankyo@hyugacity.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団 体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
事業実施期間	9 その他			
	燃やせるごみ組成調査		平成 25 年度～	
	燃やせないごみ組成調査		平成 26 年度～	

立案の背景 (ねらい)	・市民が排出するごみの組成調査を行い、生ごみの中の未開封食品の占める割合を調査し、結果をHPに掲載することにより食品ロスの削減に役立たせるもの		
内容	・燃やせるごみの組成調査（HPに掲載） 毎年同じ時期に同じ集積所に出されるごみの内容物を調査して、ごみ減量化ができる品目を検証。また、生ごみの中の未開封食品を確認する 平成 25 年度～ ・燃やせないごみの組成調査（未掲載） 集積所に出されているごみの中で未開封食品が占める割合の調査を行う 平成 26 年度～		
成果指標や目標 とその確認方法	組成調査の結果をもとに確認		
施策のポイント	・燃やせるごみの組成調査 同じごみ集積所のごみを回収 ・燃やせないごみの組成調査 複数の自治区のごみを回収		
効果や成果	燃やせるごみ（平成 28 年度については未掲載）		
	年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	生ごみ	50.26%	55.55%
	うち未開封食品	8.05%	0.85%
	平成 27 年度	平成 28 年度	
燃やせるごみ	年度	平成 26 年度	平成 27 年度
	未開封食品	0.21%	0.06%
	平成 28 年度	平成 29 年度	
関連ホームページ	http://www.city.hyuga.miyazaki.jp/display.php?cont=130828162228 （平成 27 年度 燃やせるごみ組成調査）		

食品ロス削減のための「施策バンク」 156

施策・事業名称	食品ロス削減に向けた啓発HPの開設 「九州食べきり協力店」の登録			
自治体名	鹿児島県			
本件問合せ先	担当課	環境林務部廃棄物・リサイクル対策課		
	電 話	099-286-2594	メール	recycle@pref.kagoshima.lg.jp
分野 (当てはまるもの すべてに○を付けて ください)	家庭		外食・宴会	
	1 住民啓発		2 キャンペーン・イベント	
	3 食品ロスの実態調査		4 子供への啓発・教育	
事業実施期間	5 協力店舗等の登録		6 事業者への働きかけ	
	7 消費者団体または住民団体との連携		8 食材使いきり、リメイク料理	
	9 その他			

立案の背景 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・「鹿児島県廃棄物処理計画」(H28.3 策定)において、県の施策として、食品ロスの削減等に向けた普及啓発に努める旨記載。 ・九州地方知事会政策連合「ごみ減量化に向けた啓発活動の連携」の取組の一環として、食品ロス削減のための新規事業を平成 28 年度から開始することについて九州 7 県で合意。 ・食品流通の川下の事業者の取組を促進するとともに、利用する消費者の意識啓発を図り、各主体が協力して取り組む関係を築く。
内容	<p>1 県ホームページにおいて、食品ロス削減に向けた啓発のためのページを次の 4 部 (ページ) 構成で開設。</p> <p>(1) 「食品ロス」の削減に向けて</p> <p>(2) 「食品ロス」の削減に向けて～消費者にできること</p> <p>(3) 「食品ロス」の削減に向けて～事業者ができること</p> <p>(4) 「九州食べきり協力店」の募集と利用について</p> <p>2 登録店舗に啓発物 (ポスター・ステッカー) を掲示してもらうとともに、県ではホームページやその他広報媒体により周知を行う。</p> <p style="text-align: center;">ステッカー ポスター</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

	<p>【登録要件】（次のうち1つ以上の取組の実践）</p> <p>（１）飲食店・宿泊施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小盛メニューの導入 ・食べ残し削減に向けた啓発活動 ・食べ残しを減らすための呼びかけ ・注文確認の工夫や食べ残しの把握 ・食品廃棄物のリサイクル ・その他，食品ロス削減につながる取組 <p>（２）食料品小売店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ残し削減に向けた啓発活動 ・使い切りレシピ等の紹介 ・バラ売り等の導入・充実 ・徹底した売り切りの推進 ・食品廃棄物のリサイクル ・その他，食品ロス削減につながる取組
成果指標や目標とその確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・登録店舗数については，九州地方知事会政策連合（九州ごみ減量化推進協議会）において，各県の状況を年数回確認して情報を共有。数値的な目標については，今後，状況に応じて検討。
施策のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページについては，県民等の理解が進み，納得のうえで取り組めるよう，ある程度詳細な情報を4部構成で掲載。協力店事業についても，店舗の参考となるよう詳細な取組事例を掲載。 ・九州内の複数県で店舗展開する事業所等については，代表する事業所等の所在する県に一括して申込が可能（申込情報を各県で連携）。
効果や成果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の登録店舗数は，H28年10月21日の募集開始からH29年8月末までで183店舗。 ・H29年度以降，店舗に対するアンケート調査等を検討。
関連ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「食品ロス」の削減に向けて http://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/recycle/shokuhinrosu.html ・「食品ロス」の削減に向けて～消費者にできること http://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/recycle/shokuhinrosushouhisha.html ・「食品ロス」の削減に向けて～事業者にできること http://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/recycle/shokuhinrosujigyousha.html ・「九州食べきり協力店」の募集と利用について http://www.pref.kagoshima.jp/ad03/kurashi-kankyo/recycle/recycle/tabekirikyouryokuten.html